# 基本計画書

					基			本			計			画			
事					項			記			入		欄			備	考
計	画			区	分			定員に係									
フ 設		リ ガ ナ ガッコウホウ 置 者 学校法人九州ルーテル					キュウ	ショ	ウルー	- テル	ガク	イン					
フ		IJ		ij	ナ					ウシュ	ウル・	ーテルカ	i クイ	ンダイ	ガク		
大	学 学			名 ) 位	称 置					hu Luthe		11ege)					
	子	本 部	. 0	) 1丛	<u>[Ē.</u>	キリ	スト教の	)精神を碁	甚盤にし		恩奉仕」	の学風の					
大	学	2 O	1	Ħ	的	む全人 成する	、的な人間 ことを目	引性を涵着 目的とする	奏し、も <sup>、</sup> る。	って広くネ	冨祉と礼	施し、併せ 社会・文化	の向上に	資する人	、材を育		
新	本学人文学部における近年の入学志願者の動向及び進路実績、免許・資格のニーズ等を踏まえ、本学の強みである英語能力を活かした人材、学校教諭・保育士及び心理・福祉職の養成を、特色である「少人数教育」の下、学修者本位の教育の実現を目指して、再編を行う。 再編により、心理臨床学科の入学定員を65人から50人に減員し、収容定員を260人から200人に変更する。一方、人文学科において、こども専攻(入学定員50人・収容定員200人)を保育・幼児教育専攻(入学定員30人・収容定員120人)、児童教育専攻(入学定員35人・収容定員140人)の2専攻とする。既存のキャリア・イングリッシュ専攻(入学定員35人・収容定員140人)は定員の変更を行わず、人文学科全体の入学定員は85人から100人に増員し、収容定員は340人から400人に変更する。本変更に伴う大学全体の収容定員の変更はない。																
	新彭	学音	羽 4	等 の	名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員		学位:		開設時期及び開設年後		所 在	地		
άr						年	人	年次人	人			年 月 第 年次					
新設	人文章	学部						, , , ,				<b>为</b> 干队	•				
学部	人2	文学科				4	100 (85)	_	400 (340)								
等の		保育・幼児	-		攻	4 4	$\begin{bmatrix} 30 \\ 35 \end{bmatrix}$	_	120 140	学士 (人 学)	(人文 2023年4月1日 熊本県熊本市中央区黒 髪3-12-16						
概要		見童教育		义			(50)	_	(200)	17-)	2023年4月1日						
	心理	里臨床学	2科			4	50 (65)	_	200 (260)		2	2023年4月1	日				
			計														
		者内に‡ 移行, 名				該当無	L										
教育		新設学	部等	の名	称	===	<b>葬</b> 義	開設す 演習		·目の総数 実験・実習		計	卒美	業要件単位	立数		
課程			_			D#	科目		科目			科目			単位		
			学	部	等 0	) 名	称		教授	准教授	専行講師	E教員等 助教	計	助手	兼 任 教員等		
教					e. 1 em 1 e				人	人	,	<u>۸</u>	人	人	人		
員	新	人文学	部人	文学	料保育	• 幼児羲 	故育専攻		2 (2)	3 (3)	1 (1)	(0)	6 (6)	()	()		
	設	人文学	部人	文学	科保育	・児童教	效育専攻		6 (6)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	12 (12)	()	()		
組	, , ,	心理臨	床学	2科					4 (4)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	11		()		
織	分				Ī	<del></del>					, ,		(11)	()			
Ø.		ب کندر مراب ر	tr 1	小学さ			∠H11?	/_ 古光	()	()	()	()	7	()	()		
	既				(2)	(3)	(2)	(0)	(7)	()	()						
概	設分				()	()	()	()	()	()	()						
要	N				Ī	<del> </del>			()	()	()	()	()	()	()		
				合		計			()	()	()	()	()	()	()		
401				Ą	哉	種			専	任	$\sqrt{}$	兼任	:	計			
教員		事		務		職		員		19		0		19	)		
以外		 技		術		職		 員		0	+	(0)	$-\parallel$	(19			
<i>の</i>				NI3		7HV				(0)		(0)		(0)	)		

職		図	書	館		門	職	員		2	ſ		0			0	
員の						11				(2)			(0)		-	0	
概要		そ	の	ft.	<u>t</u>	の	職	員		(0)			(0)			(0)	
					計					()			()			()	
校		Σ	ζ	分			専	用	共	用			用する 校等の			計	
			舎	敷	地			6, 300 m²			$0\mathrm{m}^2$			0 m		6, 300 m²	
地		運 動 小	<b>場</b>	用	地 計			6, 700 m <sup>2</sup>			731 m² 731 m²			0 m	-	68, 431 m <sup>2</sup> 74, 731 m <sup>2</sup>	
ArAr		<u>小</u> そ	の		他	+		15, 835 m²		01,	0 m <sup>2</sup>			0 m	<b>I</b>	15, 835 m <sup>2</sup>	
等.		合			計		:	28, 835 m²		61,	731 m²			0 m	2	90, 566 m²	
							専	用	共	用			用する 校等の			計	
		校	É	舎				10, 570 m²			0 m²			0 m	ll .	10, 570 m²	
			:#	義室	,	_	(10, 演習	570㎡) 宏	宇藤	実習宝	0 m²)	信却		0㎡) <sup>全</sup> 習施設	ш	[10, 570㎡) 学習施設	
教室	≦等		門	我主		_	快日		大物	· 大日 :	$\overline{}$	IH FIX	, XE14E.7	室	_	室	
		_				室		室		_	室	(補	助職員		(補助)	職員(人)	
専	任	教	員	研	究 室	:  -		新設学部	等の名称	•				室	数	<u> </u>	
				T		図書			雑誌		ļ		扫瞄管	学次 料	繊・器具	標本	
図	新設	学部等	学の名 き	称	〔う	ち外国	国書〕 冊	〔うちタ	<b>卜</b> 国書〕 種		ジャー ち外国		175041015	点点	点	原本点	
書・				$\overline{}$							-J/1 🔤						
設備	_	_			(		1)				<u>-</u>	1)	سك				
VH3		計		-		<del></del>					بك ن	<del></del>					
	-	1.24.64		_ <b> </b> -			面積			閲:	覧座席	数		収;	<u>/</u> 納 可 能	册 数	
	<u> </u>	書館				_			m²			_					
	包	育館		-			面積		m²		体育的	官以外	・のスス	ドーツ施	設の概要		
				区	分	開	設前年度	第1年	_	年次	第3	年次	第4	年次 5	第5年次	第6年次	
	経	貝			研究費	_		300千円		千円	300=		300		_	_	
経費 見積	のり積	見典図	書	研 9 購	究 費 入	等	,630千円	3,000千 4,630千	円 3,00						_	_	
及び持方	維	設	備	購	入		, 209千円								_	_	
の概	atti	学生 1	人当り	-	第	1年》		第2年次		3年次		第4年	F次	第 5 年		第6年次	
		納付		4114	外の維持		26千円	926千	·円	926千	·円	92	6千円		千円	千円	
	<u> </u>	学生	E納行:	金以外名	への継ぎ 称	可刀法	ツ(阢安										
		部 等	<b>手</b> の			修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員		位又称号		: 員 : 過率	開設 年度	所	在 地	
既 設						年限		年次	上月 人	(1	、怀万	進	倍	平及			
大学	人文学	台部						人					1. 16				
等		学科	. h * 11 - ) .		<u>.</u>	,	0.5		140	学士	(人文		1.16	V + 104= F			
の状況		ヤリア・イン こども耳		ュ导グ	ζ	4	35 50	_	140 200	学)			1. 15 1. 17	平成19年度	熊本県熊区黒髪3	基本市中央 -12-17	
況		臨床				4	65	_	260				1. 17	平成16年度	Ē		
		学研究和 学心理学				2	5	_	10				1.00	平成18年度	Ē		
	附属旅	一設の根	既要	5	大学付属	禹黒髪	• 乳児保育	園所	在地:熊	本市中	中央区界	黒髪2	丁目36	i-33 定	- :員:60名		
(注)																	

<sup>1</sup> 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組 織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとすること。

<sup>3</sup> 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合

は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、 「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。 6 空欄には、「一」又は「該当なし」と記入すること。

# 校地校舎等の図面

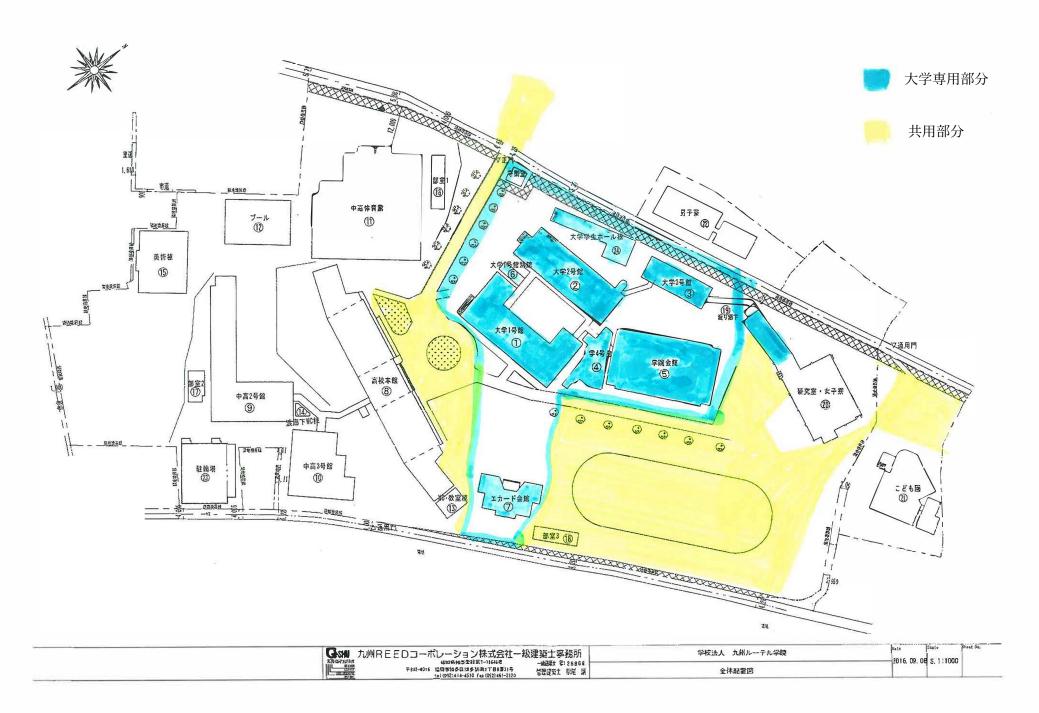
# 県内における位置関係の図面



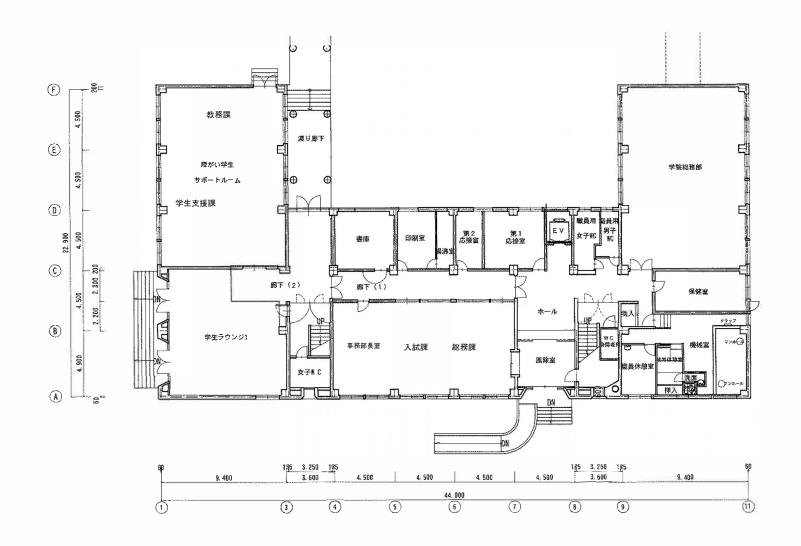
# 交通アクセス

JR 熊本駅 より	<ul> <li>駅前(白川口)より電鉄バス三軒町経由[C5-3・C5-4・C5-5・C5-6・C9-1・C9-2・C9-4・C9-5]に乗りルーテル学院前下車(所要約30分)</li> <li>駅前(白川口)より健軍町行き市電に乗り水道町下車、電鉄バス三軒町経由[C4系統・C5系統・C6系統・C7系統・C9系統]に乗り換えルーテル学院前下車(所要約40分)</li> </ul>
JR 上熊本駅 より	駅前より熊本都市バス第1環状線または昭和町行き[F4系統]に乗り浄行寺下車、 電鉄バス(三軒町経由)に乗り換えルーテル学院前下車(所要約 25 分)
桜町バスターミ ナルより	<ul><li>電鉄バス[C4 系統・C5 系統・C6 系統・C7 系統・C9 系統]に乗りルーテル学院 前下車(所要約 15 分)</li></ul>
自動車/福岡方面より	<ul><li>九州自動車道(植木 IC)下車、国道3号線を熊本市中心部方面に約12km、 室園交差点から斜左に進み電鉄バス・ルーテル学院前バス停まで(所要約30</li></ul>



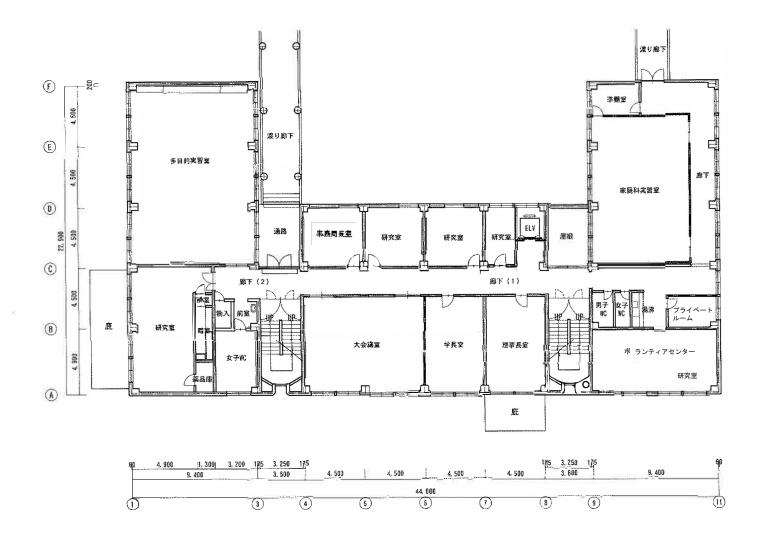


図面-3-

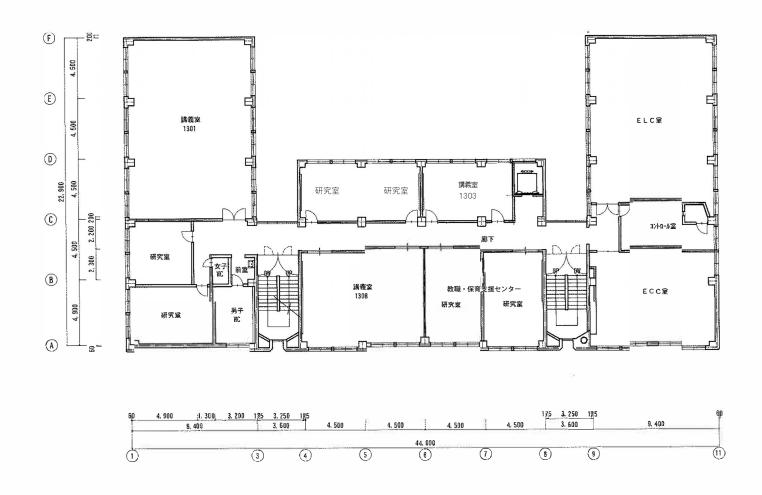


1階 平面図 S=1:200

CC Allegar State Communication	The state of the s	
Moo	・	26. 04. 01 1/200 ①-1
	#	28. 04. 01 17.200

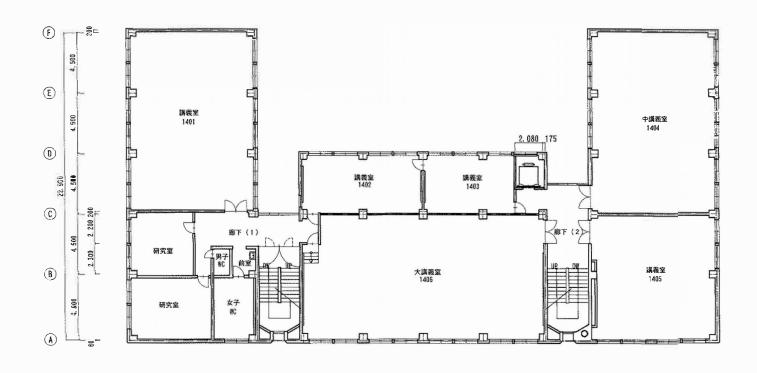


	AND		
Keno	九州REEDコーポレーション株式会社一級建築土事務所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	九州ルーテル学院大学	26. 94. 01 1/200 D-2
	Man	1号館 2階 平面図	15. 01. 01 1.255

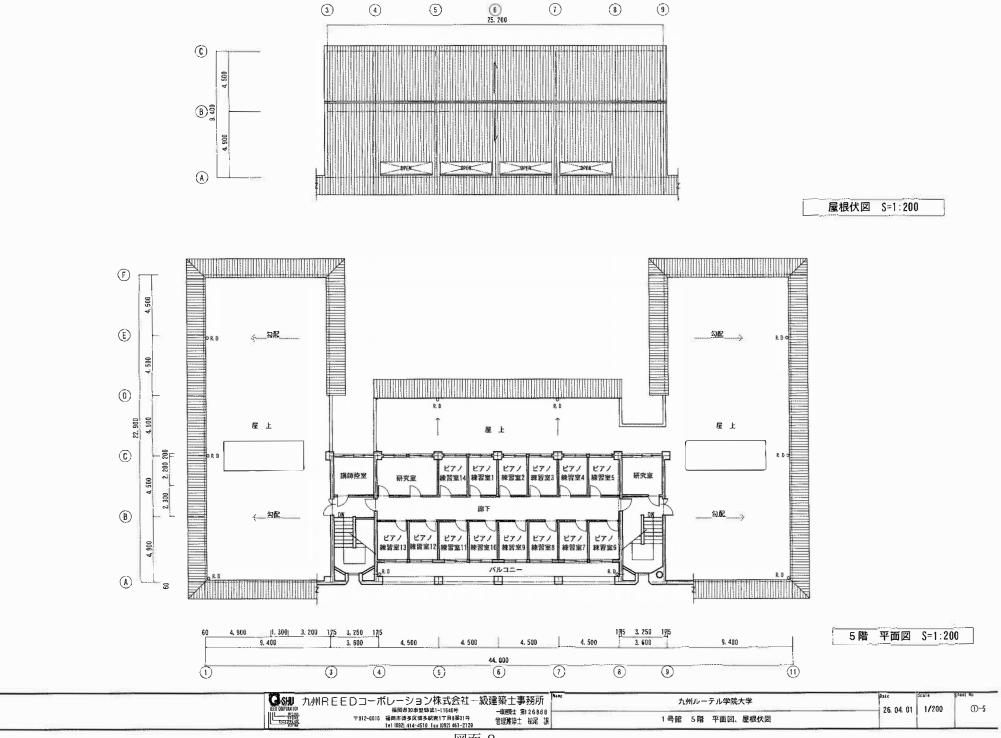


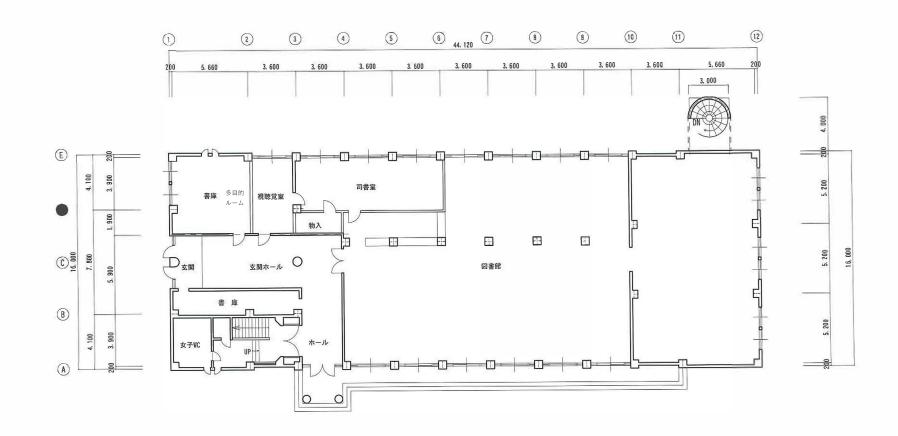
3階 平面図 S=1:200

Menu	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一級建築士事務所 Name	九州ルーテル学院大学	26 04.01 1/200	heet No
	### (MPMAH	告神を教士 松尾 接	1号館 3階 平面図	20 04.01 17200	①-3

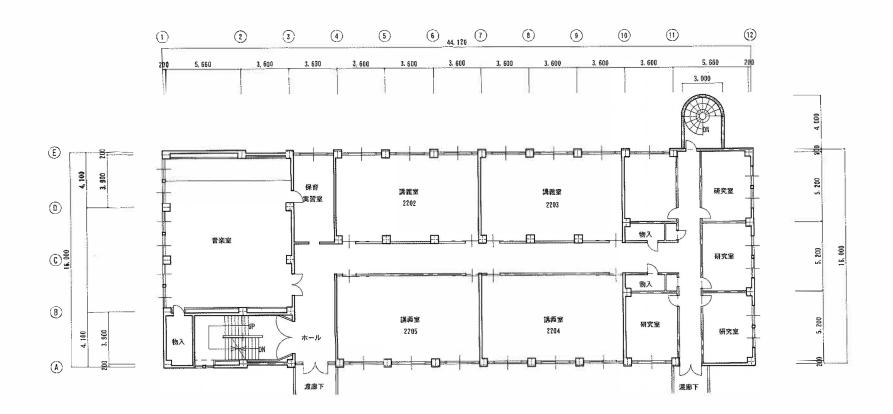


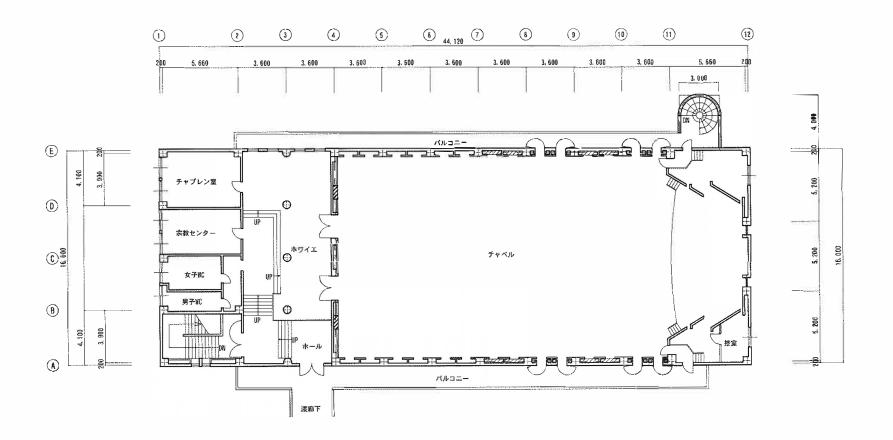




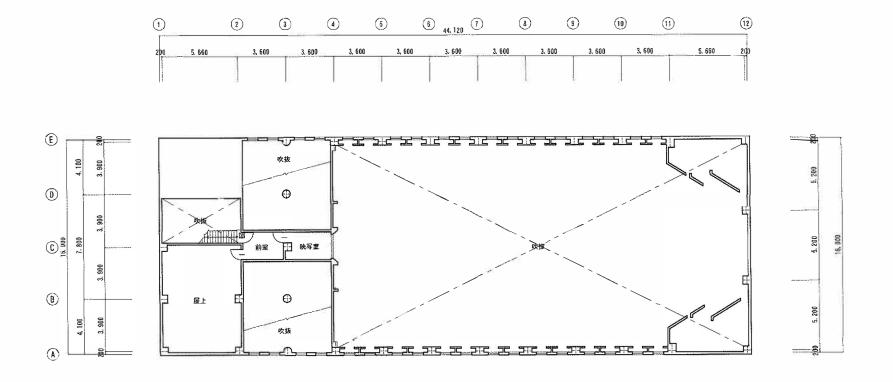


1 階平面図 S=1:200



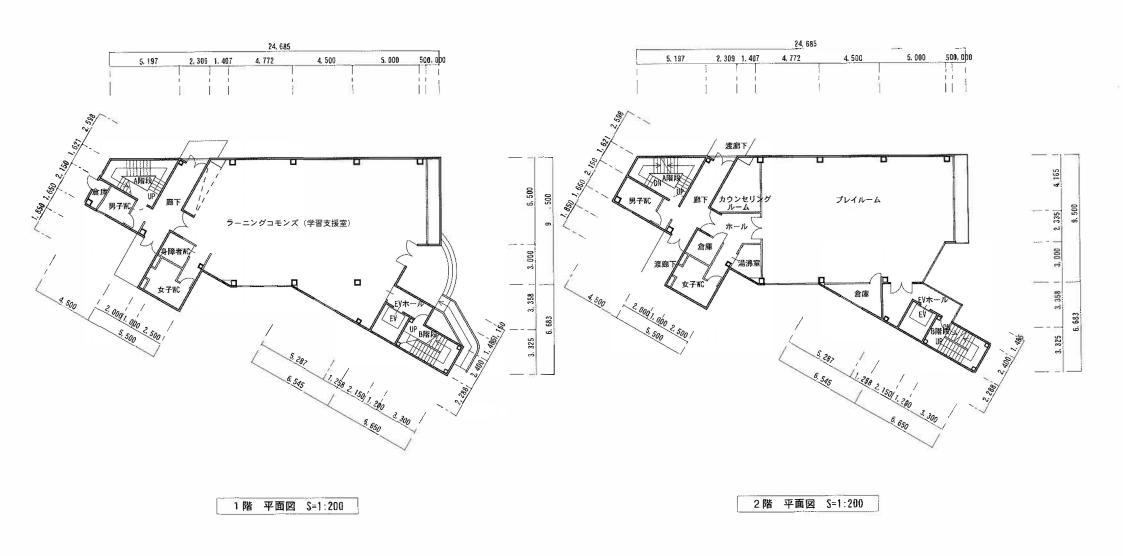


3 階平面図 S=1:200



4 階平面図 S=1:200





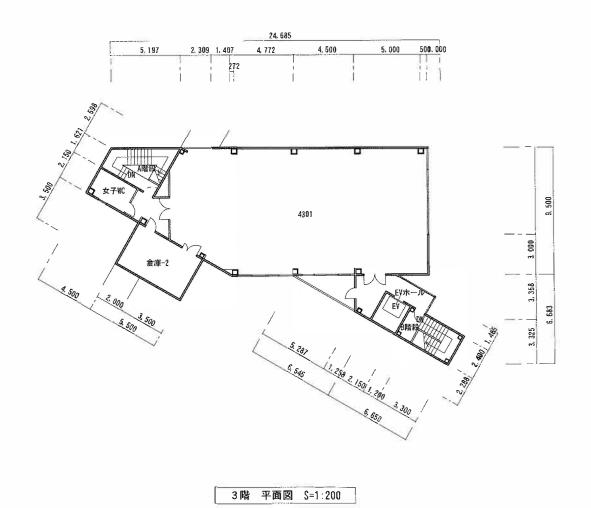
九州ルーテル学院大学

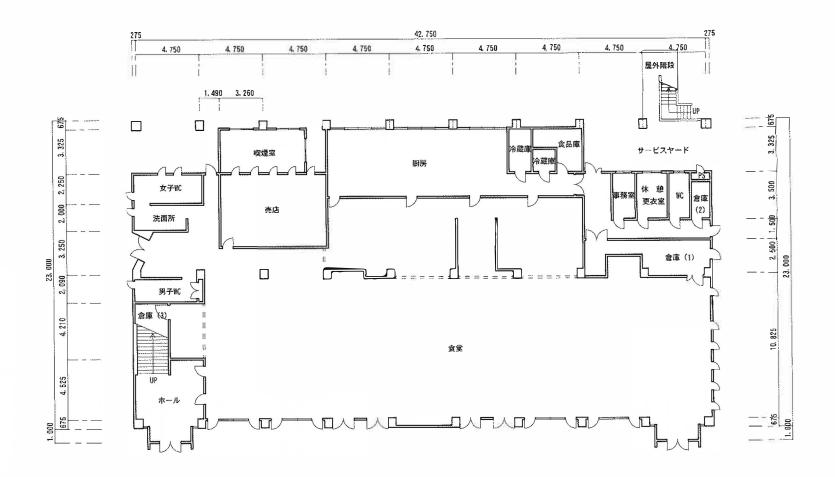
4号館 1、2階 平面図

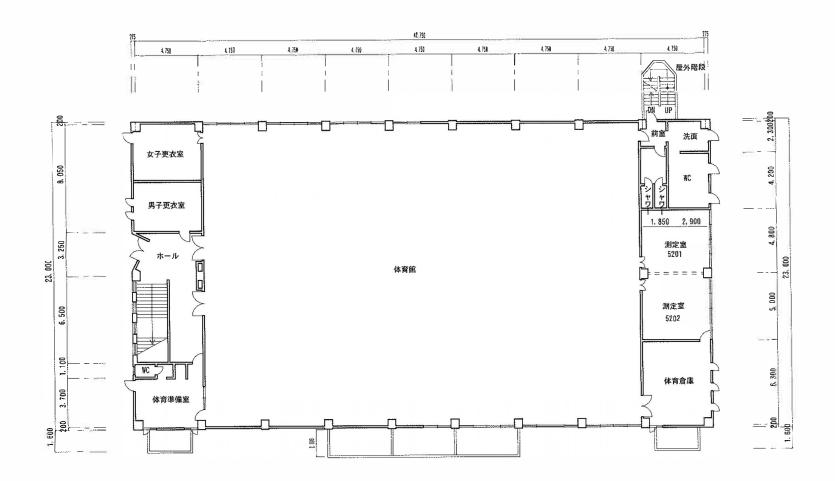
26. 04. 01 1/200

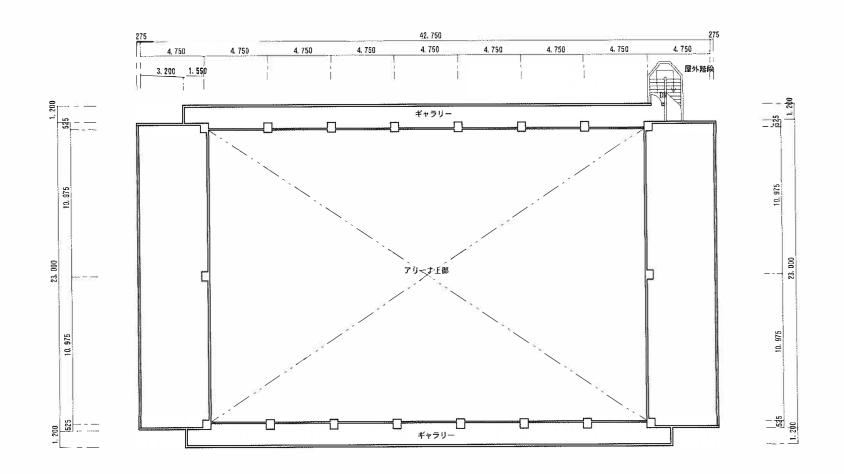
**4**)-1

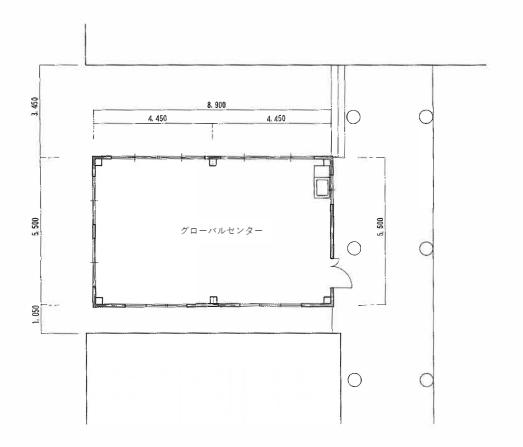
| 九州REEDコーポレーション株式会社 ― 級建築士事務所 (新原料期間 新列展用電台銀第1-1166時 〒812-0016 福岡市博多保護多保博多保護工程 1 1692-041-510 1ac (892 461-510) 1

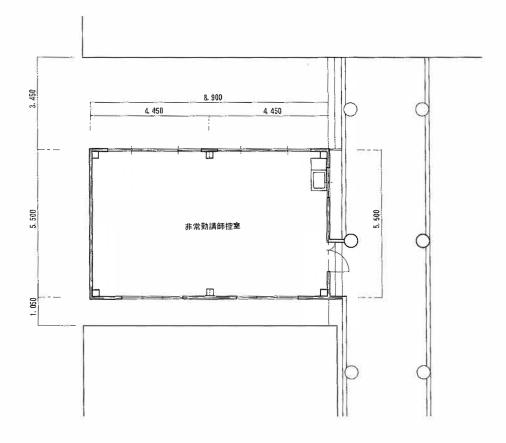


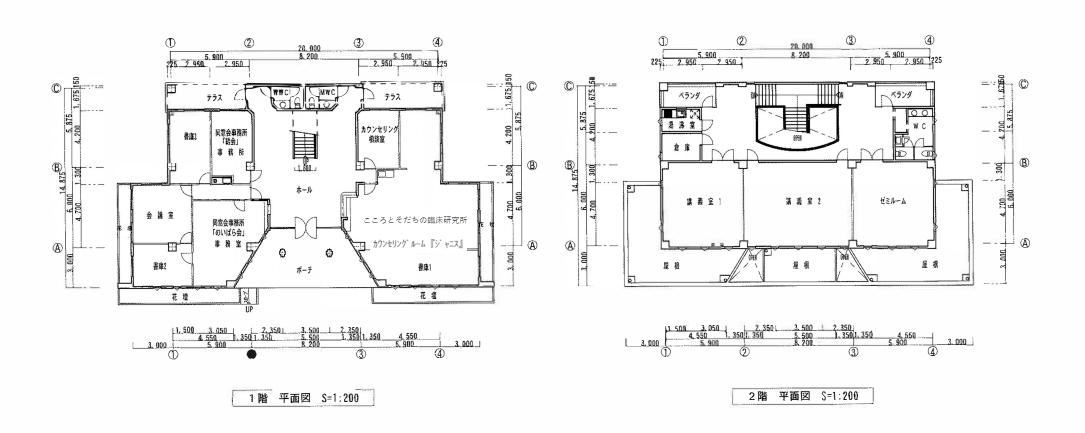


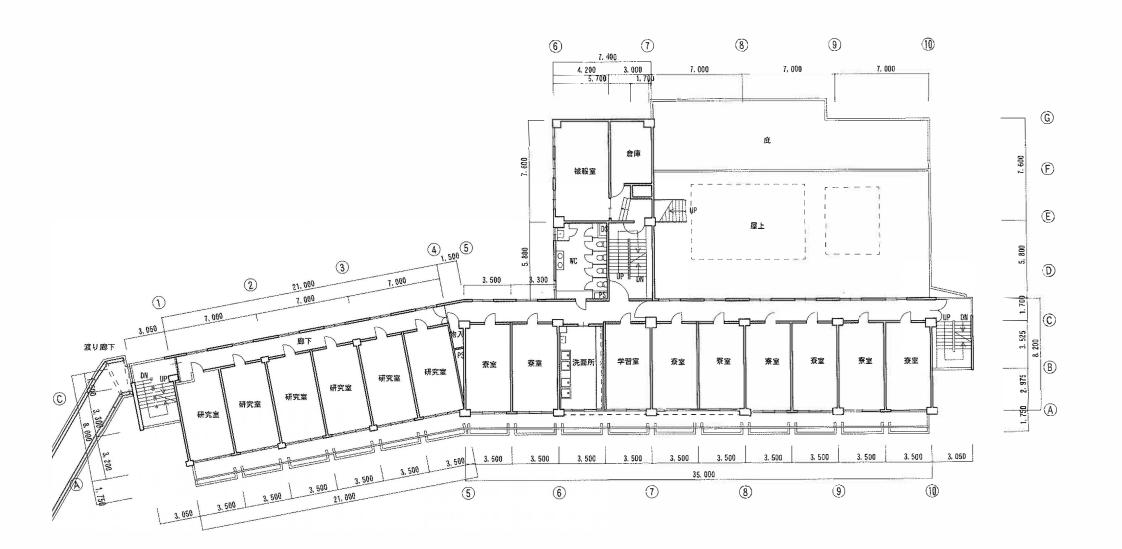






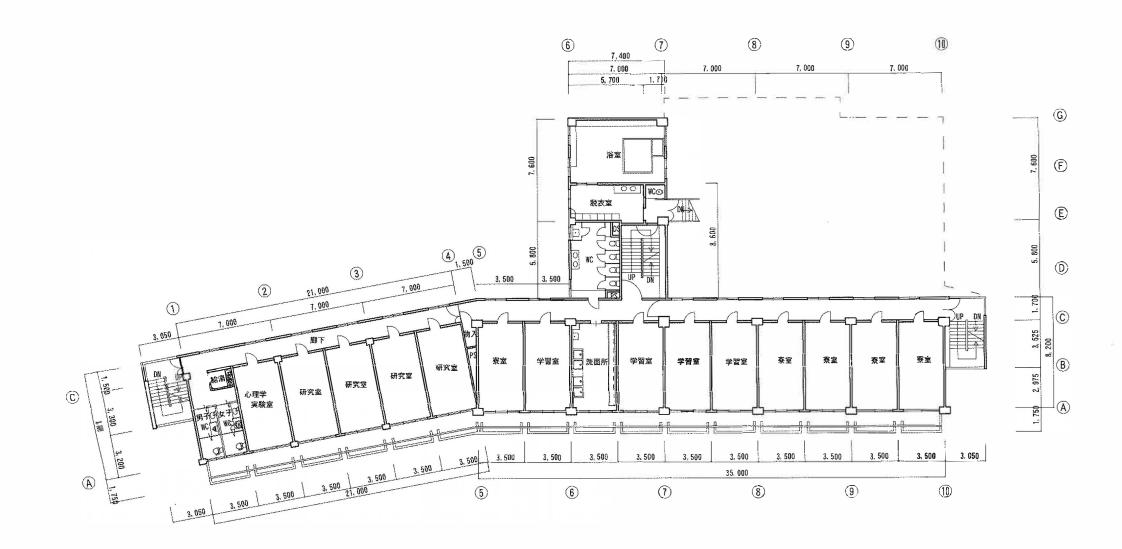






2階平面図 S=1:200

	The ST 45 Section 1945 Section	abishing and a second a second and a second		
Meno	<b>GSM</b> 九州REEDコーポレーショ		ルーテル学院 中学・高等学校	2 04 01 1 200 20-2
	超 (機関原)		女子寮 2階 平面図	2 . 04 01 . 200 (49 2



3階平面図 S=1:200

5.000 Cape 1842-0 Comm	98,000 - 1 - DAMESTANDOS	Continue		The state of the s			- E
Meno	<b>GSN</b> 九州REE	Dコーボレーション株式会社一緒	吸建築十事務所 Hane	ルーテル学院 中学・高等学校	Dato	Scale	Sheet No.
	REED EDURATION	- ロー パレー ノーン ホン(231年 M 福岡県郑事覧録第)-11646号	- 擬執 第126868	70 777 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	26, 04, 01	1/200	<b>2</b> 0−3
	253 (cs. 257 A) (c	〒812-0016 福岡市堺多区場多駅南1丁目8巻31号	管理建築士 松尾 浪	女子寮 3階 平面図		1	
	TRETAL	tel (092) 414-4510 (2x (092) 461-2120	PETET IND W	DIN 2016			

### 九州ルーテル学院大学学則(案)

#### 第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

- 第1条 九州ルーテル学院大学(以下「本学」という。)は、キリスト教の精神を基盤にして、教育基本法及び学校教育法の定めに則り、「感恩奉仕」の学風のもとに、深く専門の学芸を教育研究し、職業及び社会生活に必要な教育を施し、あわせて情操豊かで国際性に富む全人的な人間性を涵養し、もって広く福祉と社会・文化の向上に資する人材を育成することを目的とする。 (方針)
- 第2条 本学は前条の目的及び使命を遂行するための方針として、次の各号を掲げる。
  - (1) キリスト教関連科目を設け、また、宗教行事を行い、学生、教職員の参加を求める。
  - (2) 学生の在学期間中、個々人への履修指導を主な目的とするアドバイザー制を設ける。
  - (3) 学生は在学期間中、異文化圏での研修の機会を持つ。

#### 第2章 自己点検・評価等

(自己点検・評価等)

- 第3条 本学は、第1条に掲げる本学の教育目的及び使命の達成並びに教育研究の向上を図るため、 教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備(次項において「教育研究等」という。)の状況 について、教職員及び学生による点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 前項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、学校教育法施行令第40条に 規定する期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価(次項において「認証評価」と いう。)を受けることとし、その結果を公表するものとする。
- 3 第1項の点検及び評価並びに前項の認証評価の実施に関し必要な事項は、別に定める。 (教育研究上の公表等)
- 第3条の2 本学は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に公表するものとする。

(教育内容等のための組織的な研修等)

- 第3条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(次項において「FD」という。)を実施するものとする。
- 2 前項のFDに関し必要な事項は、別に定める。

(研修の機会等)

- 第3条の4 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、事務系職員をはじめ教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修(前条第1項に規定する研修に該当するものを除く。)の機会を設けることその他の必要な取組(次項において「SD」という。)を行うものとする。
- 2 前項のSDに関し必要な事項は、別に定める。

#### 第3章 学部構成及び収容定員

(学部学科)

- 第4条 本学は、第1条の目的及び使命を達成するために人文学部を置く。
- 2 人文学部は、キリスト教主義に沿った人格教育を基に、幅広い教養教育と専門に関する基礎を

身に付け、グローバルな視野とボランティア精神を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。

- 3 人文学部に、人文学科及び心理臨床学科を置く。
- 4 前項の学部に置く学科・専攻の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	専 攻	入学定員	収容定員
		キャリア・イングリッシュ専攻	35 人	140 人
1 4 24 40	人文学科	保育・幼児教育専攻	30 人	120 人
人文学部		児童教育専攻	35 人	140 人
	心理臨床学科	<del>-</del>	50 人	200 人

- 5 学科・専攻の目的は、次のとおりとする。
  - (1) 人文学科

ア キャリア・イングリッシュ専攻

実践的な英語能力、豊かなビジネスの知識や IT スキルを身に付け、国際社会、英語教育等で活躍できる人材を育成する。

イ 保育・幼児教育専攻

教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を身に付け、 保育者として心身共に健全な人材を育成する。

ウ 児童教育専攻

教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を身に付け、 教育者として心身共に健全な人材を育成する。

(2) 心理臨床学科

心理学や諸関連科学の幅広い知識を養い、豊かな知性と広い視野、人間味あふれるコミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成する。

(大学院)

- 第4条の2 本学に、大学院を置く。
- 2 大学院の学則は、別に定める。

#### 第4章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第5条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第6条 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、当該学生に特別に考慮すべき事 由がある場合は、この限りではない。

# 第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

- 第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 2 学年を次の2期に分ける。

前期 : 4月 1日から9月23日まで 後期 : 9月24日から3月31日まで

(授業日数)

- 第8条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の日数を含め、35週にわたることを原則とする。 (休業日及び記念日)
- 第9条 本学における休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日及び休日等に関する法に定められた日
- (3) 夏期休業 (8月から9月の7週間)
- (4) 冬期休業(12月下旬から1月上旬の2週間)
- (5) 春期休業 (3月下旬から4月上旬)
- 2 本学は次の日を記念日とし、当日の授業を休講とする。ただし、記念日が前項に掲げる休業日 に当たるときは、記念日を他日に振り替えることができる。
  - (1) 学院創立記念日(10月3日)
  - (2) クリスマス(12月25日) ただし、当日以前の授業期間中の一日をこれに充てる。
- 3 前2項にかかわらず、必要がある場合には、教授会の議を経て、学長は、休業日を変更し、又は臨時に休業日を設けることができる。ただし、緊急を要する場合は、教授会の議を経ることなく、学長は、休業日を決めることができる。
- 4 第1項第3号から第5号までの休業日については、年度の初めに公示する。

#### 第6章 教育課程

(授業科目)

- 第10条 人文学部に、次の授業科目を置く。
  - (1) 共通教育科目
  - (2) 専門教育科目
    - ① 人文学科
      - ア キャリア・イングリッシュ専攻科目
      - イ 保育・幼児教育専攻科目
      - ウ 児童教育専攻科目
    - ② 心理臨床学科
      - ア 心理学領域科目
      - イ 精神保健福祉学領域科目
- 2 前項第1号及び第2号に掲げる科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分けて配当する。
- 3 学生は、所属する学科の専門教育科目の授業科目のほか、他学科の専門教育科目の授業科目を 履修し、単位を修得することができる。

(共通教育科目及び単位数)

第11条 共通教育科目の授業科目及び単位数は、別表1に定める。

(専門教育科目及び単位数)

第12条 専門教育科目の授業科目及び単位数は、別表2に定める。

(教員免許状の取得に関する授業科目及び単位数)

- 第13条 本学に、教育職員免許法に基づき、教職課程を置く。
- 2 教員免許状の取得に関する授業科目及び単位数は、教職課程履修規程に定める。

(授業の方法)

- 第13条の2 授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれか又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により多様なメディアを 高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

(単位)

- 第14条 各授業科目の単位の計算方法は、次の各号の基準による。
  - (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の活用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して1単位とする。
- 第14条の2 各授業科目の授業は、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。 ただし、教育上の必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、 この限りでない。

(成績評価基準等の明示等)

- 第14条の3 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画を明示する ものとする。
- 2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものと する。

# 第7章 履修登録及び成績評定

(アドバイザー)

- 第15条 各学生の履修計画や履修等に関して、個別に相談に応じ、指導助言を行うアドバイザー を設ける。
- 2 アドバイザーは、履修規程、成績評定規程及び九州ルーテル学院大学における教育の質保証に 関する規程に従って、履修指導を行う。
- 3 アドバイザーに関する事項は、別に定める。

(履修届)

- 第16条 授業科目の担当者や授業時間割等は、毎学年の初めに公示する。ただし、学生は、アドバイザーの指導に基づいて履修する科目を選定し、定められた期日までに履修届けをしなければならない。
- 2 履修登録に関する事項は、履修規程に定める。

(成績評定)

- 第17条 履修科目の成績評定は、毎学期の試験等により行う。
- 2 成績評定は、試験結果を主とし、授業科目によっては学修の習熟状況等を考慮して、総合的な 観点から授業科目の担当者が行う。ただし、授業時間数の3分の1以上を欠席した科目について は、評価から除外する。
- 3 評定は、秀・優・良・可・不可をもって表し、可以上を合格とする。
- 4 前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育効果等を考慮し、成績評価を合格、不合格で表示することができるものとする。
- 5 前各項に関する事項は、成績評定規程に定める。
- 6 学業成績を総合的に判断する指標として、評定平均値(Grade Point Average。以下「GPA」という。)を用いる。
- 7 GPA の運用に関する事項は、別に定める。

#### 第8章 単位授与及び認定

(単位の授与)

第18条 正規の手続を経て履修し、前条によって合格と評定された授業科目については、単位を

授与する。

- 第18条の2 第13条の2第2項及び第3項の授業方法により修得した単位は、合わせて 60 単位を超えない範囲で卒業に必要な単位の中に算入することができる。
- 2 次条、第20条、第22条及び第23条の規定により修得した単位数のうち、第13条の2第 2項及び第3項の授業方法により修得した単位は、同項に定める単位数の中に算入するものとす る。

(海外の大学等での修得単位の認定)

- 第19条 海外の大学等での修得単位の認定は、姉妹大学との協定書の定めるところによる。
- 2 前項以外の海外の大学等で修得した単位については、本学の授業科目と同等であり、かつ、本 学の卒業の要件として適当であると認められる場合は、学長は、教授会の議を経て 60 単位を限 度として授与することができる。

(国内の他の大学等での修得単位の認定)

- 第20条 学生が本学と提携する国内の他の大学又は短期大学で修得した単位の認定は、互換制度 協定書の定めるところによる。
- 2 前項以外の国内の他の大学又は短期大学で修得した単位については、本学の授業科目と同等であり、かつ、本学の卒業の要件として適当であると認められる場合は、学長は、教授会の議を経て前条第1項及び第2項並びに前項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えない範囲で授与することができる。

#### 第21条 削除

(大学以外の教育施設等における学修の認定)

- 第22条 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修については、本学の授業科目と同等であり、かつ、本学の卒業の要件として適当であると認められる場合は、学長は、教授会の議を経て単位を授与することができる。
- 2 前項により与えることのできる単位数は、第19条第1項及び第2項並びに第20条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものと する。
- 3 第1項にかかる資格試験の種類及び単位への読み替え等に関する事項は、別に定める。 (入学前の既修得単位の認定等)
- 第23条 学生が本学に入学する前に、大学(外国の大学を含む。)又は短期大学(外国の短期大学を含む。)で修得した単位については、本学の授業科目と同等であり、かつ、本学の卒業の要件として適当であると認められる場合は、学長は、単位を授与することができる。
- 2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修については、本学の授業科目と同等であり、かつ、本学の卒業の要件として適当であると認められる場合は、学長は、教授会の議 を経て単位を授与することができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学で修得した単位 以外のものについては、第19条第1項及び第2項、第20条第1項及び第2項並びに前条第1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位(編入学及び転入学を含 む。) を超えないものとする。
- 第23条の2 第13条の2第2項及び第3項、第19条、第22条及び前条により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、それぞれに規定する単位数にかかわらず、合わせて60単位を超えないものとする。

(再入学者の既修得単位の認定)

第24条 再入学者については、教授会の議を経て、その既修得単位のすべてを、学長は、認定することができる。

#### 第9章 卒業の要件及び学位

(卒業要件)

- 第25条 卒業の要件は、大学に4年以上在学し、124単位以上を修得することとする。
- 2 前項の規定により卒業の要件として修得すべき 124 単位のうち、第13条の2第2項及び第3 項の授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。
- 3 卒業の要件を満たすに当たって、本学に対する負債を完済しなければならない。ただし、特別 に認められた場合は、この限りではない。

(卒業証書の授与)

第26条 前条に定める条件を満たした者には、教授会の議を経て、学長は、卒業を認定し、卒業 証書を授与する。

(学位)

第27条 卒業した者には、学士(人文学)の学位を授与する。

### 第10章 取得資格

(教育職員免許状取得に必要な履修要件)

第28条 教育職員免許状を得ようとする者は、第25条に定める卒業の要件を満たし、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則基づき、本学が定める授業科目を履修しなければならない。

(教育職員の取得資格)

- 第29条 本学で取得できる教育職員の資格は、次のとおりとする。
  - (1) 幼稚園教諭一種免許状
  - (2) 小学校教諭一種免許状
  - (3) 中学校教諭一種免許状(英語)
  - (4) 高等学校教諭一種免許状(英語)
  - (5) 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
- 2 前項に関する事項は、教職課程履修規程に定める。

(保育士の取得資格)

- 第29条の2 人文学科保育・幼児教育専攻に保育士養成課程を置く。
- 2 前項に関する事項は、保育士資格の取得に関する規程に定める。

#### 第11章 入学、編入学、再入学、転入学、転学科及び転専攻

(入学の時期)

第30条 入学の時期は、学年又は学期の初めとする。

(入学資格)

- 第31条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
  - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
  - (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の 当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満すものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (8) 高等学校卒業認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

(志願手続)

- 第32条 本学に入学を志願する者は、所定の書類を定められた期間内に提出しなければならない。
- 2 前項に関する事項は、入学志願要項等で公示する。

(入学者の選考)

- 第33条 入学志願者に対しては、入学者選抜試験を行う。
- 2 前項に関する事項は、入学志願者選抜規程に定める。

(入学手続)

- 第34条 入学を許可された者は、所定の期日までに入学金を納付し、その他必要な手続を終えなければならない。
- 2 前項の手続をしなかった者については、入学許可を取り消すものとする。
- 3 第1項及び前項に関する事項は、入学手続要項に定める。 (入学金等)
- 第35条 入学金その他の納入金は年度毎に別表に定め、入学手続要項で公示する。

(保証人)

- 第36条 入学を許可された者は、保証人を定めて届け出なければならない。
- 2 保証人の変更があった場合は、速やかに届け出なければならない。
- 3 保証人は、学生が在学する期間、その学生について責任を有するものとする。 (編入学)
- 第37条 次の各号に掲げる者で、本学に編入学を志願する場合は、第32条の手続を終えた者について、教授会の議を経て、学長は、教育上支障がない範囲で入学を許可することができる。
  - (1) 大学を卒業した者
  - (2) 短期大学を卒業した者
  - (3) 高等専門学校を卒業した者
  - (4) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たす者に限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
  - (5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を 満たす者に限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
  - (6) 大学に2年以上在学し、かつ、62単位以上を修得し、願い出により退学した者
- 2 前項の者の本学における修業年限は、他大学等で修得した単位のうち、本学の授業科目と同等であり、かつ、本学の卒業の要件として適当であると認められる単位数に応じて、学長が定める。
- 3 第1項により入学を許可された者については、第34条から第36条までの規定を準用する。
- 4 編入学に関する事項は、別に定める。

(再入学)

- 第38条 第49条により退学した者のうち、本学に1年以上在学した者が再び入学を志願する場合、第32条の手続を終えた者について、教授会の議を経て、学長は、教育上支障がない範囲で入学を許可することができる。
- 2 前項の者の本学における修業年限は、再入学前の在学期間1年未満は切り捨てることとし、第 5条に定める期間を満たさなければならない。
- 3 第1項により入学を許可された者については、第34条から第36条までの規定を準用する。
- 4 退学後 10 年以上を経過した者については、第1項から第3項までの規定は適用しない。 (転入学)
- 第39条 本学に転入学を希望する者があるときは、第32条の手続を終えた者について、教授会の議を経て、学長は、教育上支障がない範囲で入学を許可することができる。
- 2 前項により入学を許可された者については、第34条から第36条及び第37条第2項の規定 を準用する。
- 3 転入学に関する事項は、別に定める。

(転学科)

- 第39条の2 転学科を志願する者があるときは、教育上支障がない場合に限り、教授会の議を経て、学長が許可することができる。
- 2 転学科に関する事項は、別に定める。

(転専攻)

- 第39条の3 転専攻を志願する者があるときは、教育上支障がない場合に限り、教授会の議を経て、学長が許可することができる。
- 2 転専攻に関する事項は、別に定める。

#### 第12章 研究生、科目等履修生、委託学生及び長期履修学生

(研究生)

- 第40条 本学で、特に専門事項について研究することを志願する者があるときは、担当教員の意 見に基づき、教授会の議を経て、学長は、在籍を許可することができる。
- 2 研究生は、大学を卒業した者、又は同等の学力があると本学が認めた者とする。
- 3 研究生の在学期間は、1年とする。ただし、更新することができる。
- 4 研究生の納付金は、所定の期日までに一括納入しなければならない。
- 5 研究生に関する事項は、別に定める。

(科目等履修生)

- 第41条 本学において、一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、担当 教員の意見に基づき、教授会の議を経て、学長は、履修を許可することができる。
- 2 科目等履修生の入学は、学期毎に許可することができる。
- 3 科目等履修生の納付金は、所定の期日までに一括納入しなければならない。
- 4 科目等履修生で履修科目の試験を受け合格した者には、単位を認定する。
- 5 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(委託学生)

第42条 自治体又は公共団体等から、本学の一又は複数の授業科目について、受講委託申請がな されたときは、教授会の議を経て、学長は、受講を許可することができる。

(長期にわたる教育課程の履修)

第42条の2 学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり、 計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、学 長はその長期にわたる教育課程の履修を許可することがある。

- 2 長期にわたる教育課程の履修に関する規程は別に定める。 (特別聴講学生)
- 第42条の3 本学において授業科目を履修しようとする他の大学(外国の大学を含む。)、短期大学(外国の短期大学を含む。)又は高等専門学校の学生があるときは、当該大学、短期大学又は高等専門学校との協議に基づき、その履修を認めることがある。
- 2 前項により、授業科目の履修を認められた学生は、特別聴講学生と称する。
- 3 前2項に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第13章 外国人留学生及び交換留学生

(外国人留学生)

- 第43条 第31条に定める入学資格を有する外国人で本学に入学を志願するものがある場合(第44条以外の留学学生)は、第33条の手続を終えた者について、教授会の議を経て、学長は入学を許可することができる。
- 2 外国人留学生の履修科目の選定(指定)及び履修方法並びに納付金に関する事項は、別に定める。
- 3 前各項に関する事項は、外国人入学志願要項等で公示する。 (交換留学生)
- 第44条 海外の姉妹大学との締結協定に基づいて派遣された学生は、交換留学生として入学を許可する。

#### 第14章 休学、復学、留学、転学、退学及び除籍

(休学)

- 第45条 学生は、病気その他やむを得ない事由によって、第2項に掲げる期間中、学業の継続が 困難となったときは、保証人連署の上、学長に所定の休学願を提出しなければならない。
- 2 休学の期間は、半期(前期、後期)又は1年とし、1年を超えることはできない。ただし、特別の事情がある場合は、3年を超えない範囲で休学の継続を願い出ることができる。
- 3 休学期間は、第5条に定める修業年限及び第6条に定める在学年限には算入しない。 (復学)
- 第46条 前条の期間内に復学しようとする者は、保証人連署の上、学長に願い出なければならない。
- 2 前条第2項の期間が満了したときは、自動的に復学となる。
- 3 復学の時期は、学年又は学期の初めとする。ただし、特別の事情がある場合にはこの限りでは ない。
- 4 休学を許可された者は、在籍料を当該学期初めに納入しなければならない。 (留学及びその期間中の学籍の取扱)
- 第47条 本学と姉妹校協定を締結している外国の大学に留学を希望する学生は、学長の承認を得て、在学中に交換留学生として留学することができる。そしてその期間は休学とはならない。
- 2 前項以外の外国の大学に留学を希望する学生は、学長の承認を得て、在学中に留学し修学することができる。ただし、その期間は休学となる。

(転学)

第48条 他の大学に入学又は転学しようとする者は、学長に届け出なければならない。

(退学)

第49条 病気その他やむを得ない事由によって退学しようとする者は、理由を付して、保証人連

署の上、学長に所定の退学願を提出し、許可を得なければならない。

- 2 退学の許可は、学生証の返還及び大学に対する負債の返済等を済ませた後に発効する。ただし、 特別に認められた場合は、この限りではない。
- 3 学長は、学業成績が著しく不振であると認められる者に対して、別に定めるところにより、退 学を勧奨することができる。

(除籍)

- 第50条 学生が次の各号の一に該当する場合は、教授会の議を経て、学長は、当該学生を除籍することができる。
  - (1) 第45条に規定する休学期間を超えて復学できないとき。
  - (2) 第6条に規定する通常の在学年限を超えたとき。
  - (3) 授業料等学生納付金を滞納し、再三の督促に応じないとき。
  - (4) 死亡したとき。
  - (5) 所定の手続を経ることなく他の大学等に転学したとき。

#### 第15章 賞罰

(表彰)

第51条 学生又は団体に他の模範となるような善行があった場合、教授会の議を経て、学長は、 当該個人又は団体を表彰することができる。

(懲戒)

- 第52条 学生が違法行為など反社会的行為をし、また、学生としての本分にもとる行為を行った場合は、その違反の程度に応じて、教授会の議を経て、学長は、当該学生を懲戒することができる。
- 2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号に該当する者に対して行う。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがない者
  - (2) 正当な理由がなくて出席が常でない者
  - (3) 本学の秩序を乱し、学生としての本分に著しく反した者 (停学)
- 第53条 前条第2項に定める停学の種類は、次のとおりとする。
  - (1) 有期停学
  - (2) 無期停学
- 2 停学期間は、修業年限には算入しない。
- 3 停学が解除された翌日から自動的に復学となる。

#### 第16章 奨学制度

(奨学制度)

- 第54条 本学は、学生の奨学のための制度を設ける。
- 2 前項に関する事項は、奨学生要項に定める。

#### 第17章 授業料等学生納付金

(授業料等学生納付金)

第55条 学生の授業料及びその他の納付金等、学生納付金の費目及び金額は、授業料その他納付金等に関する規程より定め、学生便覧等によって各年度の初めに公示する。

(納付方法・期限)

- 第56条 前条の納付金は、指定された方法で所定の期日までに納付しなければならない。
- 2 経済的理由等やむを得ない事情があると認められる者に対しては、授業料等の納付を猶予し、 又は分納を認めることができる。

(納付の特例事項)

- 第57条 学生が次の一に該当する場合、納付金に関して特例を設けることができる。
  - (1) 病気による休学
  - (2) 第47条第2項による留学のため休学する場合
  - (3) 学期の途中から復学した場合
  - (4) 第49条により退学する場合
- 2 第52条によって退学を命じられた場合は、発効日の属する学期の納付金の全額を納付しなければならない。
- 3 第53条第1項第1号及び第2号に定める停学期間中の納付金は、減額しない。

(研究生の場合)

第58条 研究生の納付金の金額及び納付の方法等は、その年度ごとに定め、公示する。

(科目等履修生の場合)

第59条 科目等履修生の納付金の金額及び納付の方法等は、その年度ごとに定め、公示する。

(公開講座受講生の場合)

- 第60条 受講生は、受講申し込み時に、定められた受講料等を納付しなければならない。
- 2 公開講座の納付金に関し必要な事項は、別に定める。

(不返還の原則)

第61条 既納の納付金は、原則として返還しない。

#### 第18章 教職員組織

(学長)

- 第62条 本学に、学長を置く。
- 2 学長は、学校法人九州ルーテル学院規則(以下「学院規則」という。)第19条に定めるところにより、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

(副学長)

- 第62条の2 本学に、副学長を置くことができる。
- 2 副学長は、学院規則第3条第5項に定めるところにより、学長の職務を補佐し、命を受けて校務をつかさどる。

(学長補佐)

- 第62条の3 本学に、学長補佐を置くことができる。
- 2 学長補佐は、学院規則第3条第6項に定めるところにより、学長が命ずる特命事項について、 情報の収集及び企画立案等を行うとともに、当該事項に関する校務を整理する。

(教員)

- 第63条 本学に、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。
- 2 前項の職責等は、学院の規則で定める。

(事務職員等)

- 第64条 本学に、その事務を遂行するために事務組織を設け、必要な専任の職員等を置く。
- 2 前項の職責等は、学院の規則で定める。

(教員と事務職員等の連携・協働)

第64条の2 本学は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教員と事務職員等

との適切な役割分担の下で、両者の連携体制を確保し、協働によりその職務が行われるよう留意 するものとする。

#### 第19章 教授会等

(教授会)

- 第65条 本学に、教育研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。
- 2 教授会の構成、審議及び運営に関する事項は、教授会規程で定める。
- 第66条から第69条まで 削除

(委員会)

- 第70条 本学は、学長の諮問に応じて、本学の教育目的及び使命に基づく学務を円滑に遂行する ため、委員会を設置することができる。
- 2 前項の職責等は、学院規則に定める。
- 3 委員の委任は、教授会の議を経て、学長が行う。
- 4 第1項の委員会の名称、組織、職務及び運営に関する事項は、各委員会の規程に定める。

# 第20章 付置及び付属の教育研究施設

(付置及び付属の教育研究施設)

- 第71条 本学に、第1条に掲げる本学の教育研究目的及び使命を達成するため、次に掲げる教育研究施設を置く。
  - (1) 部署

宗教センター

学務・入試センター

学生支援センター

(2) 付置施設

こころとそだちの臨床研究所

保育ソーシャルワーク研究所

(3) 付属施設

グローバルセンター

ボランティアセンター

教職・保育支援センター

障がい学生サポートルーム

地域連携推進センター

2 前項の教育研究施設に関して必要な事項は、別に定める。

#### 第21章 付属図書館

(付属図書館)

- 第72条 本学に、付属図書館を置く。
- 2 前項の管理・運営等に関する事項は、図書館閲覧・帯出規程及び図書館利用案内等に定める。

#### 第22章 公開講座

(公開講座)

- 第73条 本学は、広く社会に本学を開放し、高等教育享受の機会を提供し、もって本学の教育目標及び使命を達成するために、社会人等を対象とする公開講座を開設することができる。
- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

# 第23章 厚生補導施設

(厚生補導施設)

- 第74条 本学に厚生補導のための施設として、学生相談室及び保健室を置く。
- 2 前項の運営に関する事項は、学生相談所案内及び保健室利用案内に定める。(寮)
- 第75条 本学に寮を置く。
- 2 前項の管理・運営に関する事項は、寮規約に定める。 (学生食堂)
- 第76条 本学に学生食堂を置く。
- 2 前項の管理・運営、利用等に関する事項は、利用案内等に定める。 (研修施設)
- 第77条 本学に教職員及び学生の諸研修等に役立てるため、研修施設を置く。
- 2 前項の管理・運営、利用等に関する事項は、利用案内等に定める。

## 第24章 公刊

(公刊)

- 第78条 次の各号に掲げる文書は、原則として公刊する。
  - (1) 自己点検・総合評価の結果
  - (2) 紀要
  - (3) その他学長が教授会の議を経て必要と認めたもの
- 2 前項に関する事項は、別に定める。

附則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成14年10月1日から施行する。

附則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第31条第7号の改正規定は、平成16年1月15日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 訓

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、障害臨床学領域科目の改正科目は、平成19年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例に よる。

附則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。 ただし、幼稚園及び小学校の教員免許状の取得に関する新設科目については、選択科目として 開講する。

附則

- 1 この学則は、平成24年3月26日から施行する。ただし、別表に係る改正規定は、平成24 年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前に入学した者については、改正後の別表2(「心理学統計法Ⅱ」、「教育心理学」及び「学校ソーシャルワーク論」を除く。)、別表3-2(「心理学統計法Ⅱ」を除く。)及び別表5の「告示別表第2による教科目」の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前に入学した者については、改正後の第45条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 九州ルーテル学院大学付属次世代育成支援センター規程(平成18年4月1日施行)は、廃止 する。

附則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成 25 年度以前に入学した者については、改正後の別表 1 から別表 3-4 まで及び別表 5 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第4条の改正規定は、平成29年4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成29年4月1日から施行し、改正後の第71条第1項第2号ア(地域連携推進 センター)の規定は、平成28年12月15日から適用する。 2 九州ルーテル学院大学心理臨床センター規程(平成18年4月1日施行)は、廃止する。

附則

この学則は、平成29年5月23日から施行する。

附則

この学則は、平成29年9月20日から施行する。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前に入学した者については、改正後の別表1、別表2、別表3-1及び別表5 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 平成31年度以前に入学した者については、改正後の別表1及び別表2の規定にかかわらず、 なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和2年5月26日から施行し、4月1日から適用する。

附則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附則

この学則は、令和3(2021)年5月25日から施行し、4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和4(2022)年4月1日から施行する。
- 2 令和4年以前に入学した者については、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、令和5 (2023) 年4月1日から施行する。
- 2 令和4(2022)年4月1日以前に入学した者については、なお従前の例による。

別表1 (第11条関係)【共通教育科目】

	1 (	第 11 条関係)【共通教育科目】	極坐	配当	崩る	立数	成績	
		授業科目		年次	2 / 次	選択	評価	備考
	育次初 域領教年	フレッシューン・ゼミ	演習		2	迭扒		
	"領教年	フレッシュマン·ゼミ キリスト教 I	講義		2		PN GP	
		キリスト教Ⅱ	講義		2		GP	
	キリ	宗教音楽 A		1~2		2	PN	
	ソス	宗教音楽B	_	$1 \sim 2$		2	PN	
	<u>}</u>	宗教音楽C		$1 \sim 2$		2	PN	
	教領		講義	2		2	GP	
	域	キリスト教と倫理キリスト教と文学	講義	3		2	GP	
		世界の宗教				2		
		グローバル・スタディーズ	講義	3	2		PN	
	教	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	演習				GP	
	養	ボランティア学修論	講義	1	1		PN	-
	コア	熊本地域活動学	講義		1	-	PN	
T:	領	熊本地域活動学サービスラーニング	演習			1	PN	-
授	域	熊本地域活動学サービスラーニングサポート		2~3		1	PN	
		データサイエンス概論	講義		1		GP	
業		哲学	講義	1		2	GP	
		美術史	講義	2		2	GP	
科	人	ライティング・メソッド	演習	1		2		心理臨床学科は、「心理
	文科	歴史学	講義	1		2		学」、「カウンセリング」
目	学系	心理学	講義	1		2		及び「ソーシャルワーク
	ボ	カウンセリング	講義	2		2		論」を除く。
$\mathcal{O}$		ソーシャルワーク論	講義	1		2	GP	
-		人間と障害	講義	1	2	_	GP	
概		法学	講義	2		2	GP	
1974	社	日本国憲法	講義	2		2	GP	
要	会	政治学	講義	2		2	GP	 選択科目2単位以上を
女	科学	経済学	講義	1		2	GP	修得
	学系	社会学	講義	2		2	GP	
		人権論	講義	3		2	GP	
		ジェンダー学	講義	3		2	GP	
	自	生活と自然科学	講義	1	2	_	GP	
	然	食育論	講義	3		2	GP	
	科	情報基礎	演習	1		2	GP	
	学 •	情報活用基礎	演習	1		2	GP	 選択科目2単位以上を
	情	基礎の数学	講義	1		2	GP	修得
	報科	データサイエンス基礎I	演習	1		2	PN	
	科学	データサイエンス基礎Ⅱ	講義	1		2	GP	
	系	情報活用と情報デザイン	講義	2		2	GP	
		プログラミングと AI 活用入門	講義	2		2	GP	
	外	英語I	演習	1	2		GP	
	国語	英語Ⅱ	演習	1	2		GP	
	莳	コミュニケーションイングリッシュI	演習	2		2	GP	

		コミュニケーションイングリッシュⅡ	演習	2		2	GP	
	1			1	1			T
		映画英語	演習	2		2	GP	
	外	国際理解英語	演習	3		2	GP	
授	玉	ハングル I	講義	1		2	GP	
1,50		ハングルⅡ	講義	1		2	GP	
業	語	中国語I	講義	2		2	GP	
来		中国語Ⅱ	講義	2		2	GP	
	ポ健	健康科学論	講義	1		2	GP	
科	<ul><li>ト</li><li>ホ</li></ul>	スポーツ実技	実技	1		1	GP	選択科目1単位以上を
	系ス	レクリエーション論	演習	2		2	GP	修得
目	キ	キャリア·デザイン I	講義	2		2	GP	2011 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	教ャ育リ	キャリア・デザインⅡ	講義	3		2	GP	選択科目2単位以上を
0)	ア	ビジネスコミュニケーション	講義	2		2	GP	修得
		職場体験学修	演習	2~3		2	PN	
概		異文化圏体験学修	演習	1~3		4	PN	
113/4	体	短期異文化圏体験学修A	演習	1~3		2	PN	
	験学	短期異文化圏体験学修B	演習	1~3		1	PN	選択科目2単位以上を
要	修	海外留学A	演習	2~3		20	PN	修得
		海外留学B	演習	2~3		20	PN	
		海外留学C	演習	2~3		20	PN	
		合 計			19	154		

卒業に必要な最低単位数は、124単位とし、その内訳は、次のとおりとする。

◎ 共通教育科目 28 単位必修 19 単位、選択 9 単位

◎ 所属学科・専攻の専門教育科目から 56 単位

人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻必修 18 単位、選択 38 単位人文学科 保育・幼児教育専攻必修 31 単位、選択 25 単位人文学科 児童教育専攻必修 35 単位、選択 21 単位心理臨床学科必修 14 単位、選択 42 単位

◎ その他 40単位

(共通教育科目、所属学科・専攻及び他学科・専攻の専門教育科目から)

# 別表 2 (第 12 条関係)【専門教育科目】 人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻

	(子/十	イヤック・イングックンユ等权	授業	配当	単位	达数	成績 評価	
		授業科目	形態			選択	評価 方法	備考
		Advanced Communication English I	演習	1		5	GP	
		Advanced Communication English ${ m I\hspace{1em}I}$	演習	1		5	GP	
		Advanced Communication English III	演習	2		5	GP	
		Advanced Communication EnglishIV	演習	2		5	GP	
		Communication English I	演習	1		3	GP	
		Communication English ${ m I\hspace{1em}I}$	演習	1		3	GP	
	英	Communication EnglishⅢ	演習	2		3	GP	
	英 語	Communication English ${ m I\!V}$	演習	2		3	GP	
	コバ	リーディング&ライティング演習 I	演習	1	3		GP	
	ユ	リーディング&ライティング演習Ⅱ	演習	1	3		GP	
	ニケ	リーディング&ライティング演習Ⅲ	演習	2	3		GP	
	1	リーディング&ライティング演習 <b>Ⅳ</b>	演習	2	3		GP	
	シ	英語発音演習I	演習	2		2	GP	
授	ョン	英語発音演習Ⅱ	演習	2		2	GP	
	領	Academic Writing I	演習	3		2	GP	
業	域	Academic Writing II	演習	3		2	GP	
//<		スピーチ&ディベート I	演習	3		2	GP	
科		スピーチ&ディベートⅡ	演習	3		2	GP	
17		英語通訳演習 I	演習	3		2	GP	
		英語通訳演習Ⅱ	演習	3		2	GP	
目		基礎英文法	演習	1		2	GP	
		応用英文法	演習	1		2	GP	
の	英	英語文学概論 I	講義	1		2	GP	
	英語文学	英語文学概論 Ⅱ	講義	2		2	GP	
概	文学	英語文学講読I	演習	3		2	GP	
	領	英語文学講読 Ⅱ	演習	3		2	GP	
要	域	Advanced English Project	演習	4		2	GP	
	言英	英語学概論	講義	2		2	GP	
	1語学領域・	英語史	講義	2		2	GP	
	領学	日英語比較	講義	3		2	GP	
	域•	応用言語学	講義	3		2	GP	
	異立	United States' History	演習	3		2	GP	
	文化	Cultural Comparions	演習	3		2	GP	
	自	Global Issues in English	演習	3		2	GP	
	文	Introducing Japan in English	演習	3		2	GP	
	化領	異文化理解I	演習	2		2	GP	
	領域	異文化理解Ⅱ	演習	2		2	GP	
	1	エアライン・ツーリズム講座	講義	1		2	GP	
	情ジ	マーケティング論	講義	2		2	GP	
	情報領域	国際ビジネス論	講義	3		2	GP	
	域。	企業経営論	講義	3		2	GP	
		プロジェクトデザイン I	演習	1~4		1	PN	

					1	ı	1	
		プロジェクトデザインⅡ	演習	$2 \sim 4$		1	PN	
		現代社会とメディア	講義	1		2	GP	
	1.8	ビジネス・イングリッシュ I	講義	3		2	GP	
	ビジ	ビジネス・イングリッシュⅡ	演習	3		2	GP	
	ジネス	グローバルビジネスI	演習	2		2	GP	
	ス •	グローバルビジネスⅡ	演習	2		2	GP	
	情	グローバルビジネス <b>Ⅲ</b>	演習	3		2	GP	
	報 領	グローバルビジネスIV	演習	3		2	GP	
	域	情報表現論	演習	2		2	GP	
		データ解析演習	演習	3		2	GP	
		データサイエンス応用	演習	3		2	GP	
		プログラミング応用	演習	3		2	GP	
授	教早	こどもと英語	演習	3		2	GP	
	育期領英	小学校英語	講義	2		2	GP	
業	域語	小学校英語フィールドワーク	演習	3		2	PN	
未		教師力演習	講義	1		2	PN	
61		教職論	講義	2		2	GP	
科		教育原論	講義	1		2	GP	
		教育心理学	講義	3		2	GP	
目		教育経営学	講義	3		2	GP	
		教育法規	講義	3		2	GP	
$\mathcal{O}$	<del>#/r</del>	特別支援教育論	講義	1		1	GP	
	教 職	カリキュラム論	講義	2		2	GP	
概	科	英語科教育法I	講義	3		2	GP	
170	目領	英語科教育法 <b>Ⅱ</b>	講義	3		2	GP	
要	域	英語科教育法Ⅲ	講義	4		2	GP	
女	中	英語科教育法IV	講義	4		2	GP	
	高	道徳教育の理論と実践	講義	2		2	GP	
	英語)	特別活動・総合的な学習の時間の指導	講義	3		2	GP	
	一	教育方法	講義	2		2	GP	
		I C T活用指導論 I	講義	3		2	GP	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	3		2	GP	
		教育相談	講義	4		2	GP	
		英語科教育実習 I (事前·事後指導)	実習	3~4		1	PN	
		英語科教育実習Ⅱ	実習	4		4	PN	
		教職実践演習(中高)	演習	4		2	GP	
		介護等体験実習	実習	3		2	PN	
	特別	研究	演習	3	2		PN	
	卒業	研究	演習	4	4		GP	
		合 計			18	164		
					_		]	

人文学科 保育·幼児教育専攻

	(字科	保育・切児教育専攻	授業	配当	単位	上数	成績	
		授業科目	形態	年次		選択	評価方法	備考
		器楽I	実技	1	1		GP	
		器楽Ⅱ	実技	1	1		GP	
		音楽表現I	演習	2		2	GP	
		音楽表現Ⅱ	演習	3		2	GP	
		音楽表現Ⅲ	演習	4		2	GP	
		教育原論	講義	1	2		GP	
		教職論	講義	2	2		GP	
		教育経営学	講義	3	2		GP	
		教育心理学	講義	3	2		GP	
		特別支援教育論	講義	1	1		GP	
	教	教育相談	講義	4		2	GP	
		こどもと健康	演習	2	1		GP	
	育	こどもと環境	演習	1	1		GP	
授		こどもと人間関係	演習	1	1		GP	
	科	こどもと言葉	演習	1	1		GP	
業		こどもと表現 I	演習	1	1		GP	
//	目	こどもと表現Ⅱ	演習	1	1		GP	
科		保育内容(総論)	演習	1	2		GP	
71-1		保育内容(表現I)	演習	1		2	GP	
目		保育内容(表現Ⅱ)	演習	1		2	GP	
		保育内容 (言葉)	演習	1		2	GP	
		保育内容(人間関係)	演習	2		2	GP	
0		保育内容 (健康)	演習	2		2	GP	
Lmr		保育内容 (環境)	演習	2		2	GP	
概		幼児教育課程論	講義	3		2	GP	
		幼児教育方法	講義	2		2	GP	
要		幼児理解	講義	3		2	GP	
		保育原理	講義	2	2		GP	
		こども家庭福祉	講義	1	2		GP	
		社会福祉	講義	1	2		GP	
	, ل ۲	こども家庭支援論	講義	3		2	GP	
	こどもと福祉に	社会的養護I	講義	2		2	GP	
	کے	保育者論	講義	2		2	GP	
	福	保育の心理学	講義	3		2	GP	
	に	こども家庭支援の心理学	講義	3		2	GP	
	関	こどもの理解と援助	演習	3		1	GP	
	する	こどもの保健	講義	2		2	GP	
	科	こどもの食と栄養	演習	2		2	GP	
	目	乳児保育I	講義	2		2	GP	
		乳児保育Ⅱ	演習	3		1	GP	
		こどもの健康と安全	演習	2		1	GP	
		障害児保育	演習	2		2	GP	

	にこ	社会的養護Ⅱ	演習	2		1	GP	
	関と	子育て支援	演習	3		1	GP	
	すもと	保育内容の理解と方法I	演習	2		2	GP	
授	科福	保育内容の理解と方法Ⅱ	演習	2		2	GP	
1.~	目祉	保育内容の理解と方法Ⅲ	演習	3		2	PN	
業	演総	チャイルドケア・ゼミ	演習	1		2	GP	
耒	習合	教職・保育実践演習(幼)	演習	4		2	GP	
		幼稚園教育実習 I (事前・事後指導)	演習	$3 \sim 4$		1	GP	
科	_	幼稚園教育実習Ⅱ	実習	$3 \sim 4$		4	PN	
	実	保育実習I	実習	2~3		4	PN	
目		保育実習指導I	演習	$2 \sim 3$		2	GP	
	習 :	保育実習Ⅱ	実習	4		2	PN	
$\mathcal{O}$	首	保育実習指導Ⅱ	演習	4		1	GP	
		保育実習Ⅲ	実習	3		2	PN	
概		保育実習指導Ⅲ	演習	3		1	GP	
194	特	キリスト教保育	講義	3		2	GP	
<del>1111</del>	設	こどもと英語	演習	3		2	GP	
要	科目	子育て支援フィールドワーク(保育 SW)	演習	4		2	PN	
	П	保育ソーシャルワーク論(保育 SW)	講義	3		2	GP	
	特別	研究	演習	3	2		PN	
	卒業	研究	演習	4	4		GP	
		合 計			31	84		

人文学科 児童教育専攻

	(字科	児里教育専攻 (5.114-01 B	授業	配当	単位	上数	成績	ميا منده
		授業科目	形態	年次		選択	評価方法	備考
		国語	講義	1	2		GP	
		生活	講義	1		2	GP	
	教	音楽	演習	1		2	GP	
	育	図画工作	講義	1		2	GP	
	±)l	体育	演習	1		2	GP	
	科	社会	講義	2	2		GP	
	目	算数	講義	1	2		GP	
	I	理科	講義	2	2		GP	
		家庭	講義	1		2	GP	
		小学校英語	講義	2		2	GP	
		教育原論	講義	1	2		GP	
		教職論	講義	2	2		GP	
		教育経営学	講義	3	2		GP	
授		教育法規	講義	3		2	GP	
		教育心理学	講義	3	2		GP	
業		特別支援教育論	講義	1	1		GP	
//~		カリキュラム論	講義	2		2	GP	
科		教育相談	講義	4		2	GP	
711	教	国語科教育法	講義	2		2	GP	
目		社会科教育法	講義	2		2	GP	
	育	算数科教育法	講義	2		2	GP	
の		理科教育法	講義	2		2	GP	
0)	科	生活科教育法	講義	2		2	GP	
Lmr		音楽科教育法	講義	2		2	GP	
概	目	図画工作科教育法	講義	2		2	GP	
		家庭科教育法	講義	2		2	GP	
要	П	体育科教育法	講義	3		2	GP	
		小学校英語教育法	講義	2		2	GP	
		道徳教育の理論と実践	講義	2		2	GP	
		特別活動・総合的な学習の時間の指導	講義	3		2	GP	
		教育方法	講義	2		2	GP	
		ICT活用指導論I	講義	3		2	GP	
		ICT活用指導論Ⅱ	講義	4		2	GP	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	3		2	GP	
		介護等体験実習	実習	3		2	GP	
		障害者教育総論	講義	1	2		GP	
	特 関別	知的障害者の心理・生理・病理I	講義	2	2		GP	
	す支	知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ	講義	2	2		GP	
	る援利数	肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	2		GP	
	科教目育	病弱者の心理・生理・病理	講義	2	2		GP	
	に	知的障害教育総論I	講義	3		2	GP	
		知的障害教育総論Ⅱ	講義	3		2	GP	

	特	肢体不自由教育総論	講義	3		2	GP	
	別	病弱教育総論	講義	3		2	GP	
	支	発達障害教育総論(心理等)	講義	2	1		GP	
授	支援教	視覚障害教育総論(心理等)	講義	3		1	GP	
,,,	育	聴覚障害教育総論(心理等)	講義	3		1	GP	
業	に 関	重複障害教育総論(心理等)	講義	3	1		GP	
未	す	発達障害教育総論(教育課程等)	講義	2		1	GP	
	るが	視覚障害教育総論(教育課程等)	講義	3		1	GP	
科	科目	聴覚障害教育総論(教育課程等)	講義	3		1	GP	
	, ,	重複障害教育総論 (教育課程等)	講義	3		1	GP	
目	演総	教師力演習	演習	1		2	PN	
	習合	教職実践演習 (小)	演習	4		2	GP	
0)		小学校教育実習 I (事前・事後指導)	演習	3		1	GP	
	実	小学校教育実習Ⅱ	実習	3		4	PN	
概	習	特別支援学校教育実習 I (事前·事後指導)	演習	$3\sim4$		1	PN	
150		特別支援学校教育実習Ⅱ	実習	4		2	PN	
要	特 設	児童教育フィールドワークI	演習	4		2	PN	
安	科	児童教育フィールドワーク Ⅱ	演習	4		2	PN	
	目	こどもと英語	演習	3		2	GP	
	特別	研究	演習	3	2		PN	
	卒業	研究	演習	4	4		GP	
		合 計			35	84		

心理臨床学科

心坦	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	字科				1 101	战结	
		授業科目	授業	配当		立数	成績 評価	備考
			形態		必修	選択	方法	V119 V
		心理学研究法	講義	2		2	GP	
		心理学統計法	講義	2		2	GP	
		心理学実験	実験	2		2	GP	
		知覚・認知心理学	講義	2		2	GP	
		学習・言語心理学	講義	2		2	GP	
		感情・人格心理学	講義	2		2	GP	
		神経・生理心理学	講義	2		2	GP	
		臨床神経心理学	講義	3		2	GP	
		社会・集団・家族心理学	講義	2		2	GP	
		発達心理学	講義	1		2	GP	
		障害者・障害児心理学	講義	2		2	GP	
		心理的アセスメント	演習	2		2	GP	
	心	心理学的支援法	講義	2		2	GP	
授		公認心理師の職責	講義	2		2	GP	
	理	健康・医療心理学	講義	3		2	GP	
業		福祉心理学	講義	3		2	GP	
//C	学	教育・学校心理学(教育相談)	講義	3		2	GP	
科		司法・犯罪心理学	講義	3		2	GP	
17	領	産業・組織心理学	講義	3		2	GP	
н		関係行政論	講義	3		2	GP	
目	域	教育心理学	講義	3		2	GP	
		精神分析学	講義	3		2	GP	
の		データ解析演習	演習	3		2	GP	
		心理測定法	演習	3		2	GP	
概		心理学外書講読 I	演習	3		2	PN	
		心理学外書講読Ⅱ	演習	3		2	PN	
要		心理学外書講読Ⅲ	演習	4		2	PN	
		人間科学研究実習	実習	3		2	PN	
		心理演習I	演習	3		2	GP	
		心理演習Ⅱ	演習	3		2	GP	
		心理実習I	実習	3		2	PN	
		心理実習Ⅱ	実習	3		2	PN	
		心理実習Ⅲ	実習	4		2	PN	
		社会福祉の原理と政策 I	講義	1		2	GP	
	精	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	1		2	GP	
	神	貧困に対する支援	講義	2		2	GP	
	保	社会保障 I	講義	3		2	GP	
	<b>健</b> 福	社会保障Ⅱ	講義	3		2	GP	
	祉学	権利擁護を支える法制度	講義	3		2	GP	
	学領	社会福祉調査の基礎	講義	3		2	GP	
	域	刑事司法と福祉	講義	2		2	PN	
		刑事可伝と領征   精神保健福祉制度論		2		2	GP	
		相下床降佃灿削及端	講義			۷	υľ	

					1	1		
		現代の精神保健の課題と支援I	講義	2		2	GP	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	2		2	GP	
		精神保健福祉の原理 I	講義	2		2	GP	
		精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2		2	GP	
	精	ソーシャルワークの理論と方法 I	講義	2		2	GP	
	神	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2		2	GP	
	lΠ	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	講義	3		1	GP	
	保	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	3		1	GP	
	健	学校ソーシャルワーク論	講義	3		2	GP	
	福	学校ソーシャルワーク演習	演習	4		2	GP	
		学校ソーシャルワーク実習指導	演習	4		2	PN	
	祉	学校ソーシャルワーク実習	実習	4		2	PN	
受	学	精神保健福祉現場体験	実習	3		2	PN	
	<b>⊅≓</b>	ソーシャルワーク演習(専門) I	演習	3		2	PN	
業	領	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	4		2	PN	
	域	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	4		2	PN	
科		ソーシャルワーク実習指導 I	演習	3		2	PN	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	4		2	PN	
目		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	4		2	PN	
		ソーシャルワーク実習	実習	4		7	PN	
の		心理臨床学の基礎	演習	1	2		GP	
V)		心理臨床学の展開	講義	1	2		GP	
I more		心理学概論	講義	1	2		GP	
概		ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	1	2		GP	
		臨床心理学概論	講義	1		2	GP	
要		障害者福祉	講義	1		2	GP	
	共	認知行動療法	演習	2		2	GP	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	2		2	GP	
	通	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2		2	GP	
	711	精神障害リハビリテーション論	講義	2		2	GP	
		人体の構造と機能及び疾病	講義	2		2	GP	
		精神疾患とその治療I	講義	3		2	GP	
		精神疾患とその治療Ⅱ	講義	3		2	GP	
		質的研究の技法	演習	3		2	GP	
		ソーシャルワーク演習	演習	3		2	GP	
		チーム学校協働演習	演習	3		2	PN	
	特別		演習	3	2		PN	
	卒業	研究	演習	4	4		GP	
		合 計			14	151		

- ◇心理学演習、心理学実習の履修要件 ・「心理演習 I・Ⅱ」及び「心理実習 I・Ⅱ」については、2 年次までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修することができる。 ・「心理実習Ⅲ」については、3 年次までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修する。
- ・「心性美質師」については、3年代までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修することができる。
  ◇ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習の履修要件
  ・「ソーシャルワーク演習(専門) I ・ II ・ III 」及び「ソーシャルワーク実習指導 I ・ II ・ III 」については、「ソーシャルワーク 実習」を履修する者に限り履修することができる。
  ・「ソーシャルワーク実習」については、原則として、精神保健福祉学領域において3年次までに開講されるすべての授業科 目の単位を修得している者に限り履修することができる。

# 九州ルーテル学院大学学則新旧対照表(案)

# 【改正の主旨】

- 1.2023 年度の学科・専攻再編に伴い、以下の内容に関する学則の改正を行う。また、再編に伴うカリキュラム改正により、別表 1 (第 11 条関係) 共通教育科目、別表 2 (第 12 条関係) を改正する。
- (1) 学部・学科・専攻の設置、入学定員、収容定員(第4条第4項関係)
- (2) 学科・専攻の目的(第4条第5項関係)
- (3) 授業科目の変更(第10条、第11条別表1、第12条別表2関係)
- (4) 高等学校教諭一種免許状(公民)の取下げ(第29条関係)
- (5) 教員免許状及び保育士資格に関する規定の整備(第13条、第29条、第29条の2関係)

	改 正 案	現 行
--	-------	-----

#### 第1条~第3条 (略)

(学部学科)

第4条 第1項~第3項 (略)

4 前項の学部に置く学科・専攻の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	専 攻	入学定員	収容定員
		キャリア・イングリッシュ専攻	35 人	140 人
	人文学科	保育・幼児教育専攻	30 人	120 人
人文学部		児童教育専攻	35 人	140 人
	心理臨床学科	_	50 人	200 人

- 5 学科・専攻の目的は、次のとおりとする。
  - (1) 人文学科

第1条~第3条 (略)

(学部学科)

第4条 第1項~第3項 (略)

4 (同左)

学 部	学 科	専 攻	入学定員	収容定員
		キャリア・イングリッシュ専攻	35 人	140 人
人文学部	人文学科	<u>こども専攻</u>	50 人	200 人
	心理臨床学科	_	<u>65 人</u>	260 人

- 5 (同左)
- (1) 人文学科

ア キャリア・イングリッシュ専攻

実践的な英語能力、豊かなビジネスの知識や IT スキルを身に付け、国際社会、英語教育等で活躍できる人材を育成する。

イ 保育・幼児教育専攻

教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を 身に付け、保育者として心身共に健全な人材を育成する。

ウ 児童教育専攻

教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を 身に付け、教育者として心身共に健全な人材を育成する。

(2) 心理臨床学科

心理学や諸関連科学の幅広い知識を養い、豊かな知性と広い視野、人間味あふれる コミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成する。

第6条~第9条 (略)

(授業科目)

- 第10条 人文学部に、次の授業科目を置く。
- (1) 共通教育科目
- (2) 専門教育科目
- 人文学科

ア キャリア・イングリッシュ専攻科目

- イ 保育・幼児教育専攻科目
- ウ 児童教育専攻科目
- ② 心理臨床学科

ア 心理学領域科目

(削る。)

イ 精神保健福祉学領域科目

第11条~第12条 (略)

(教員免許状の取得に関する授業科目及び単位数)

第13条 本学に、教育職員免許法に基づき、教職課程を置く。

ア キャリア・イングリッシュ専攻

(同左)

イ こども専攻

教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を 身に付け、<u>教育者・</u>保育者として心身共に健全な人材を育成する。

(新設)

(2) 心理臨床学科

(同左)

第6条~第9条 (略)

(授業科目)

第 10 条 (同左)

- (1) (同左)
- (2) (同左)
- 人文学科

ア (同左)

イ こども専攻科目

(新設)

② 心理臨床学科

ア (同左)

イ 障害臨床学領域科目

ウ(同左)

第 11 条~第 12 条 (略)

(教職並びに特殊教育に関する授業科目及び単位数)

第13条 教科及び教職に関する授業科目及び単位数並びに教育職員免許法施行規則 第66条の6及び小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法 の特例等に関する法律の規定に基づく教職関連の授業科目及び単位数は、別表3に 定める。

- 2 教員免許状の取得に関する授業科目及び単位数は、教職課程履修規程に定める。
- 第13条の2~第27条 (略)

(教育職員免許状取得に必要な履修要件)

- 第 28 条 教育職員免許状を得ようとする者は、第 25 条に定める卒業の要件を満た し、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則の規定に基づき、本学が定 める授業科目を履修しなければならない。
- 第29条 本学で取得できる教育職員の資格は、次のとおりとする。
- (1) 幼稚園教諭一種免許狀
- (2) 小学校教諭一種免許状
- (3) 中学校教諭一種免許状(英語)
- (4) 高等学校教諭一種免許状(英語)

#### (削る)

- (5) 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
- 2 (略)

(保育士の取得資格)

- 第29条の2 人文学科保育・幼児教育専攻に保育士養成課程を置く。
- 2 保育士の資格を受けようとする者は、保育・幼児教育専攻に在籍し、卒業要件を充足 │ 2 保育士の資格を受けようとする者は、こども専攻に在籍し、卒業要件を充足の上、 の上、かつ、別表4に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 第 30 条~第 78 条 (略)

#### 附則

- 1 この学則は、令和 5 (2023) 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和5年以前に入学した者については、なお従前の例による。

2 特別支援教育に関する授業科目及び単位数は、別表4に定める。

第13条の2~第27条 (略)

(教育職員免許状取得に必要な履修要件)

第 28 条 教育職員免許状を得ようとする者は、第 25 条に定める卒業の要件を満た し、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則並びに小学校及び中学校の 教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律の規定に基づ き、本学が定める授業科目を履修しなければならない。

#### 第29条(同左)

- (1) 幼稚園教諭一種免許状
- (2) 小学校教諭一種免許状
- (3) 中学校教諭一種免許状(英語)
- (4) 高等学校教諭一種免許状(英語)
- (5) 高等学校教諭一種免許状(公民)
- (6) (同左)
- 2 (略)

(保育士の取得資格)

- 第29条の2 人文学科こども専攻に保育士養成課程を置く。
- かつ、別表4に定める科目及び単位を修得しなければならない。

第 30 条~第 78 条 (略)

別表	1 (第	11 条関係)【共通教育科目】					
		極 紫 幻 日	授業	配当	単位	立数	/±=±z-
	det klond	授 業 科 目	形態	年次	必修	選択	備考
	教初 域育年	フレッシュマン・ゼミ	演習	1	2		
		キリスト教I	講義	1	2		
		キリスト教Ⅱ	講義	1	2		
	*	(削除)					
	キリスト教領域	宗教音楽 A	実技	1~2		2	
	ト 教	宗教音楽B	実技	1~2		2	
	領域	宗教音楽C	実技	1~2		2	
		キリスト教と倫理	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		キリスト教と文学	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		世界の宗教	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
授		グローバル・スタディーズ	演習	1	<u>2</u>		
業	教	ボランティア学修論	講義	<u>1</u>	1		
0	教養コア領域	熊本地域活動学	講義	<u>1</u>	<u>1</u>		
概	領域	熊本地域活動学サービスラーニング	演習	<u>1</u>		<u>1</u>	
要	74	熊本地域活動学サービスラーニングサポート	演習	<u>2∼3</u>		1	
		データサイエンス概論	講義	<u>1</u>	1		
		(削除)					※心理臨床学科は、
	}	哲学	講義	1		2	「心理学」「カウンセリン
	?	(削除)					グ」「ソーシャルワーク論」を
		美術史	講義	2		2	<u>除く</u>
	人	<u>ライティング メソッド</u>	演習	1		2	(科目名変更)
	人文科学系	(削除)					
	学系	(削除)					
		歴史学	講義	1		2	
		心理学	講義	1		2	
		カウンセリング	講義	2		2	
		ソーシャルワーク論	講義	1		2	
		人間と障害	講義	1	2		(選必区分変更)

		2 条 郊口	授業	配当	単位	拉数	/些-学-
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
	教導 育人	フレッシュマン・ゼミ	演習	1	2		
		キリスト教I	講義	1	2		
		キリスト教Ⅱ	講義	1	2		
	, ,	聖書英語	講義	3_		<u>2</u>	
	キリスト教学系	宗教音楽 A	実技	1~2		2	
	ヘト数	宗教音楽 B	実技	1~2		2	
	学系	宗教音楽 C	実技	1~2		2	
		(新設)					
		(新設)					
		(新設)					
		(新設)					
授		(新設)					
業の	(新設)	(新設)					
概	設)	(新設)					
要		(新設)					
		(新設)					
		グローバル・スタディーズ	演習	<u>1</u>	<u>2</u>		<u>○人文学科</u>
		哲学	講義	1		2	選択科目から4単
		キリスト教と倫理	講義	2_		<u>2</u>	位以上を取得
		美術史	講義	2		2	<u>○心理臨床学科</u>
	1	<u>日本語文章表現法 I</u>	演習	1		2	選択科目から「心
	人文科学系	日本語文章表現法Ⅱ	演習	1		2	理学」「カウンセリング」
	学系	キリスト教と文学	講義	3_		<u>2</u>	及び「ソーシャルワーク
		歴史学	講義	1		2	論」を含む4単位
		心理学	講義	1		2	以上を取得
		カウンセリング	講義	2		2	
		ソーシャルワーク論	講義	1		2	
		人間と障害	講義	1		2	

別表1 (第11条関係)【共通教育科目】

		(削除)					選択科目2単位以
		法学	講義	2		2	上を取得
		日本国憲法	講義	2		2	
	÷1.	政治学	講義	2		2	
	住会私	経済学	講義	1		2	
	社会科学系	(削除)					
		社会学	講義	2		2	
		(削除)					
		人権論	講義	3		2	
		ジェンダー学	講義	3		2	
		生活と自然科学	講義	1	2		(科目名変更)
		(削除)					_
		(削除)					
授		食育論	講義	3		2	
業	自	情報基礎	演習	1		<u>2</u>	(選必区分変更)
Ø	1 然 科 学	情報活用基礎	演習	1		2	
概	•	(削除)					選択科目2単位以上
要	情報科学	(削除)					を取得
	科学系	基礎の数学	講義	1		2	
	213	(削除)					_
		<u>データサイエンス基礎 I</u>	演習	1		2	_
		<u>データサイエンス基礎Ⅱ</u>	講義	<u>1</u>		<u>2</u>	
		情報活用と情報デザイン	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	_
		プログラミングと AI 活用入門	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		英語 I	演習	1	2		
		英語Ⅱ	演習	1	2		
	Ьl	<u>コミュニケーション イングリッシュ I</u>	<u>演習</u>	2		<u>2</u>	
	外国語	<u>コミュニケーション イングリッシュⅡ</u>	<u>演習</u>	2		<u>2</u>	
	нп	国際理解英語	演習	3		2	
		ハングル I	講義	1		2	
		ハングルⅡ	講義	1		2	

		ボランティア学修論	講義	<u>1</u>	<u>2</u>		<u>○人文学科</u>
		法学	講義	2		2	選択科目から2単
		日本国憲法	講義	2		2	位以上を取得
		政治学	講義	2		2	○心理臨床学科
	社会科学系	経済学	講義	1		2	選択科目(「法学」
	学系	経営学	講義	1		2	を除く) から2単
	211	社会学	講義	2		2	位以上を取得
		現代社会論	講義	<u>3</u>		2	
		人権論	講義	3		2	
		ジェンダー学	講義	3		2	
		環境学	講義	1	2		<u>○人文学科</u>
		生命と進化論	講義	<u>3</u>		2	選択科目から2単
		医学一般	講義	2		2	位以上を取得
授	Á	食育論	講義	3		2	<u>○心理臨床学科</u>
業		情報基礎	演習	1	2		選択科目(「医学一
Ø	自然科学	情報活用基礎	演習	1		2	般」を除く) から
概		情報表現論	<u>演習</u>	<u>2</u>		<u>2</u>	2 単位以上を取得
要	情報	統計学	講義	1		2	
	情報科学系	基礎の数学	講義	1		2	
	\\\\\	<u>データサイエンス基礎</u>	講義	<u>1</u>		<u>2</u>	
		(新設)					
		(新設)					
		(新設)					
		(新設)					
		英語 I	演習	1	2		
		英語Ⅱ	演習	1	2		
	ΔL	(新設)					
	外国語	(新設)					
	HI.	国際理解英語	演習	3		2	
		ハングル I	講義	1		2	
		ハングルⅡ	講義	1		2	

			-11. 34				
	外国語	中国語I	講義	2		2	
	語	中国語Ⅱ	講義	2		2	
	健康	健康科学論	講義	1		2	選択科目1単位以上
	ツ・系ス。	スポーツ実技	実技	1		1	を取得
	ポー	レクリエーション論	演習	2		2	
	丰	キャリア・デザインI	講義	2		2	選択科目2単位以上
授	ヤリ	キャリア・デザインⅡ	講義	3		2	を取得
業	ア教育	<u>ビジネスコミュニケーション</u>	講義	2		2	(科目名変更)
の	育	(削除)					
概		(削除)					選択科目2単位以上
要		職場体験学修	演習	2~3		2	を取得
		異文化圏体験学修	演習	1~3		4	
	体験学修	短期異文化圈体験学修A	演習	1~3		2	
	学修	短期異文化圏体験学修B	演習	1~3		1	
		海外留学A	演習	2~3		20	
		海外留学B	演習	2~3		20	
		海外留学C	演習	2~3		20	
		合計			<u>19</u>	<u>152</u>	

卒業に必要な最低単位数は、124単位とし、その内訳は、次のとおりとする。

◎共通教育科目 28 単位

必修 19、選択 9

◎所属学科・専攻の専門教育科目から

56 単位

○人文学科キャリア・イングリッシュ専攻

必修 18、選択 38

○人文学科保育・幼児教育専攻

必修 31、選択 25

○人文学科児童教育専攻

必修 35、選択 21

○心理臨床学科

必修 14、選択 42

◎その他 40 単位

(共通教育科目、所属学科・専攻及び 他学科・専攻の専門教育科目から)

(削る。)

1							
	外国	中国語 I	講義	2		2	
	国語	中国語Ⅱ	講義	2		2	
	健康	健康科学論	講義	1		2	選択科目1単位以上
	ツ・系ス	スポーツ実技	実技	1		1	を取得
	ポー	レクリエーション論	演習	2		2	
	丰	キャリア·デザインI	講義	2		2	選択科目2単位以上
授	ヤリ	キャリア・デザインⅡ	講義	3		2	を取得
業	ア教育	秘書学	講義	2		2	
の	育	社会力育成論	講義	2		2	
概		ボランティア体験学修	演習	<u>1</u>		2	選択科目2単位以上
要		職場体験学修	演習	2~3		2	を取得
		異文化圏体験学修	演習	1~3		4	
	体験学修	短期異文化圏体験学修A	演習	1~3		2	
	学修	短期異文化圏体験学修B	演習	1~3		1	
		海外留学A	演習	2~3		20	
		海外留学B	演習	2~3		20	
		海外留学C	演習	2~3		20	
		合計			18	158	

卒業に必要な最低単位数は、124単位とし、その内訳は、次のとおりとする。

◎共通教育科目 31 単位

必修 18、選択 13

◎所属学科・専攻の専門教育科目から

56 単位

○人文学科キャリア・イングリッシュ専攻

必修 18、選択 38

○人文学科こども専攻

必修 29、選択 27

(新設)

○心理臨床学科

必修 12、選択 44

◎その他 37 単位

(共通教育科目、所属学科・専攻及び 他学科・専攻の専門教育科目から)

ただし、長期履修学生については、共通教育科目及び専門教育科目から選択の上、124単位以上を修得

(所属学科・専攻の専門教育科目からの56単位を含む。)する。

# 別表 2 (第 12 条関係)【専門教育科目】

# ◆人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻

		授業科目	授業	配当	単位	拉数	備考
		授業科目	形態	年次	必修	選択	/用-芍
		Advanced Communication English I	演習	1		5	(科目名変更)
		Advanced Communication English II	演習	1		5	(科目名変更)
		Advanced Communication English III	演習	2		5	(科目名変更)
		Advanced Communication EnglishIV	演習	2		5	(科目名変更)
		Communication English I	演習	1		3	(科目名変更)
		Communication English II	演習	1		3	(科目名変更)
		Communication English III	演習	2		3	(科目名変更)
		Communication EnglishIV	演習	2		3	(科目名変更)
	英語	リーディング&ライティング演習 I	演習	1	3		
	語コミ	リーディング&ライティング演習Ⅱ	演習	1	3		
	ユ	リーディング&ライティング演習Ⅲ	演習	2	3		
授	ニケー	リーディング&ライティング演習IV	演習	2	3		
業の	ショ	英語発音演習 I	演習	2		2	
概	ン 領	英語発音演習Ⅱ	演習	2		2	
要	域	Academic Writing I	演習	3		2	(科目名変更)
		Academic Writing II	演習	3		2	(科目名変更)
		スピーチ&ディベート I	演習	3		2	
		スピーチ&ディベートⅡ	演習	3		2	
		英語通訳演習I	演習	3		2	
		英語通訳演習 Ⅱ	演習	3		2	
		基礎英文法	演習	1		2	
		応用英文法	演習	1		2	
		(削除)					
		英語文学概論 I	講義	1		2	
	英語文学領域	英語文学概論Ⅱ	講義	2		2	
	文学	英語文学講読 I	演習	3		2	
	領域	英語文学講読Ⅱ	演習	3		2	
		Advanced English Project	演習	4		2	(科目名変更)

### 別表 2 (第 12 条関係)【専門教育科目】

# ◆人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻

		1호 #	授業	配当	単位	拉数	/±=±z-
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
		<u>アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーション I</u>	演習	1		5	
		<u>アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーションⅡ</u>	演習	1		5	
		<u>アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーションⅢ</u>	演習	2		5	
		<u>アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーションIV</u>	演習	2		5	
		<u>コミュニケーション・イングリッシュ I</u>	演習	1		3	
		<u>コミュニケーション・イングリッシュ Ⅱ</u>	演習	1		3	
		<u>コミュニケーション・イングリッシュⅢ</u>	演習	2		3	
		<u>コミュニケーション・イングリッシュIV</u>	演習	2		3	
	英語	リーディング&ライティング演習 I	演習	1	3		
	コ	リーディング&ライティング演習Ⅱ	演習	1	3		
	w 11 1	リーディング&ライティング演習Ⅲ	演習	2	3		
授	ニケー	リーディング&ライティング演習 <b>IV</b>	演習	2	3		
業の	ショ	英語発音演習Ⅰ	演習	2		2	
概	か領	英語発音演習Ⅱ	演習	2		2	
要	域	<u>アカデミック・ライティング I</u>	演習	3		2	
		<u>アカデミック・ライティングⅡ</u>	演習	3		2	
		スピーチ&ディベート I	演習	3		2	
		スピーチ&ディベートⅡ	演習	3		2	
		英語通訳演習I	演習	3		2	
		英語通訳演習Ⅱ	演習	3		2	
		基礎英文法	演習	1		2	
		応用英文法	演習	1		2	
		TOEIC®テスト演習	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
		英語文学概論 [	講義	1		2	
	英語文学	英語文学概論Ⅱ	講義	2		2	
	文学	英語文学講読 I	演習	3		2	
	·領 域	英語文学講読Ⅱ	演習	3		2	
		アドバンスト・イングリッシュ・プロジェクト	演習	4		2	

7	英語学概論	講義	2	2	
1	英語学概論 英語字 英語史	講義	2	2	
	日英語比較	講義	3	2	
-	応用言語学	講義	3	2	
	United States' History	演習	3	2	(科目名変更)
星	<u>Cultural Comparions</u>	演習	3	2	(科目名変更)
女化	Global Issues in English	演習	3	2	(科目名変更)
Ę	Introducing Japan in English	演習	3	2	(科目名変更)
自立化物	(削除)				
均	異文化理解 I	演習	2	2	
	異文化理解Ⅱ	演習	2	2	
	エアライン・ツーリズム講座	講義	1	2	
	マーケティング論	講義	2	2	
授	国際ビジネス論	講義	3	2	
業	企業経営論	講義	3	2	
0	(削除)				
概	<u>プロジェクトデザイン I</u>	演習	1~4	1	
要	<u>プロジェクトデザインⅡ</u>	演習	2~4	1	
	現代社会とメディア	講義	1	2	
とうオフ	ビジネス・イングリッシュ I	講義	3	2	
7		演習	3	2	
<b>作</b>	Q   <u>7   7   7   7   7   7   7   7   7   </u>	演習	2	2	(科目名変更)
領域	頁 <u>グローバルビジネスⅡ</u>	演習	2	2	(科目名変更)
	<u>グローバルビジネスⅢ</u>	演習	3	2	(科目名変更)
	<u>グローバルビジネスIV</u>	演習	3	2	(科目名変更)
	(削除)				

	英	英語学概論	講義	2	2	
	英 語 学	英語史	講義	2	2	
	言語学	日英語比較	講義	3	2	
	学	応用言語学	講義	3	2	
		<u>アメリカ史</u>	演習	3	2	
	異	現代アメリカ論	演習	3	2	
	異文化·	英語で学ぶ時事問題	演習	3	2	
	自文	英語で紹介する日本	演習	3	2	
	自文化領域	<u>映画英語</u>	講義	<u>2</u>	<u>2</u>	
	域	異文化理解 I	演習	2	2	
		異文化理解Ⅱ	演習	2	2	
		エアライン・ツーリズム講座	講義	1	2	
		マーケティング論	講義	2	2	
授		国際ビジネス論	講義	3	2	
業		企業経営論	講義	3	2	
の		広報・広告論	講義	3_	<u>2</u>	
概		(新設)				
要		(新設)				
		現代社会とメディア	講義	1	2	
	ビジネス	ビジネス・イングリッシュ I	講義	3	2	
	<b>小</b> ス・	ビジネス・イングリッシュ <b>Ⅱ</b>	演習	3	2	
	情報領域	<u>アドバンスト・グローバルビジネス I</u>	演習	2	2	
	領域	<u>アドバンスト・グローバルビジネスⅡ</u>	演習	2	2	
		<u>アドバンスト・グローバルビジネスⅢ</u>	演習	3	2	
		<u>アドバンスト・グローバルビジネスIV</u>	演習	3	2	
		情報検定演習I	演習	2_	2_	
		情報検定演習Ⅱ	演習	2_	2_	
		プログラミング言語	<u>演習</u>	2_	2_	
		ソフトウエア検定演習	演習	3_	2_	
		情報処理ネットワーク論	講義	3_	2	
		データベース論	講義	3_	2_	

			_		1	1	T
		(削除)					
	ビジ	情報表現論	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
	ネス	<u>データ解析演習</u>	演習	3		<u>2</u>	
	• 情	<u>データサイエンス応用</u>	演習	<u>3</u>		<u>2</u>	
	報	プログラミング応用	演習	3		<u>2</u>	
	早	<u>こどもと英語</u>	演習	3		2	(科目名変更)
	期英語	(削除)					
	教	小学校英語	講義	2		2	
	育領城	小学校英語フィールドワーク	演習	3		2	(科目名変更)
	坝	(削除)					
		教師力演習	講義	1		2	
		教職論	講義	2		2	
		教育原論	講義	<u>1</u>		2	(配当年次変更)
		教育心理学	講義	3		2	
授		教育経営学	講義	<u>3</u>		2	(配当年次変更)
業の		教育法規	講義	3		2	
概		特別支援教育論	講義	<u>1</u>		1	(配当年次変更)
要	教	カリキュラム論	講義	2		2	(配当年次変更)
	職科	英語科教育法 I	講義	3		2	
	目領	英語科教育法Ⅱ	講義	3		2	
	域(	英語科教育法Ⅲ	講義	4		2	
	(中高英	英語科教育法IV	講義	4		2	
	語)	道徳教育の理論と実践	講義	2		2	(配当年次変更)
		特別活動・総合的な学習の時間の指導	講義	<u>3</u>		2	(配当年次変更)
		教育方法	講義	2		2	
		ICT活用指導論I	講義	3		2	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	3		2	(配当年次変更)
		教育相談	講義	4		2	(配当年次変更)
		英語科教育実習 I (事前·事後指導)	実習	3~4		1	
		英語科教育実習Ⅱ	実習	4		4	
		教職実践演習	演習	4		2	

		企業情報管理論	講義	3	2	
	Ľ	(新設)				
	ビジネス	(新設)				
-		(新設)				
	情 報	(新設)				
	早		演習	3	2	
	期	こどもと英語Ⅱ	演習	3	2_	
	英語教育領	小学校英語	講義	2	2	
	育領	小学校英語フィールドワーク I	演習	3	2	
	域	小学校英語フィールドワーク Ⅱ	<u>演習</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	
		教師力演習	講義	1	2	
		教職論	講義	2	2	
		教育原論	講義	2	2	
		教育心理学	講義	3	2	
授業		教育経営学	講義	<u>2</u>	2	
未の		教育法規	講義	3	2	
概		特別支援教育論	講義	<u>2</u>	1	
要	教	カリキュラム論	講義	<u>3</u>	2	
	職科目	英語科教育法 I	講義	3	2	
	目領域	英語科教育法Ⅱ	講義	3	2	
		英語科教育法Ⅲ	講義	4	2	
	(中高英語)	英語科教育法IV	講義	4	2	
	語	道徳教育の理論と実践	講義	<u>3</u>	2	
		特別活動・総合的な学習の時間の指導	講義	2	2	
		教育方法	講義	2	2	
		I C T 活用指導論 I	講義	3	2	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	<u>2</u>	2	
		教育相談	講義	<u>3</u>	2	
		英語科教育実習 I (事前・事後指導)	実習	3~4	1	
		英語科教育実習Ⅱ	実習	4	4	
		教職実践演習	演習	4	2	

ſ		介護等体験実習	実習	3		2	
	特別	川研究	演習	3	2		
	卒業	<b>套研究</b>	演習	4	4		
Ī		合計			18	164	

	介護等体験実習	実習	3		2	
特別研究			3	2		
卒	<b>養研究</b>	演習	4	4		
	合計		18	178		

#### ◆人文学科 保育·幼児教育専攻

$\nabla \mathcal{N}$	人子件	<u>採育· 初冗教育导攻</u>					
		授 業 科 目	授業	配当	単位	立数	備考
		坟 耒 村 日	形態	年次	必修	選択	1用 与
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		器楽 I	実技	1	1		
		器楽Ⅱ	実技	1	1		
		音楽表現 I	演習	2		2	(科目名変更)
		音楽表現Ⅱ	演習	3		2	(科目名変更)
		音楽表現Ⅲ	演習	4		2	(科目名変更)
授	教	(削除)					
業	±s:	(削除)					
0	育	(削除)					
概	科	(削除)					
要	目	(削除)					
	I	(削除)					
	1	(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					

# ◆人文学科 こども専攻(保育コース)

			授業	配当	単位	拉数	/++= -+ <b>x</b> .
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
		<u>国語</u>	講義	1		<u>2</u>	
		<u>生活</u>	講義	<u>2∼3</u>		<u>2</u>	
		<u>音楽</u>	演習	1		<u>2</u>	
		器楽 I	実技	1	1		
		器楽Ⅱ	実技	1	1		
		器楽Ⅲ	演習	2		2	
		器楽IV	演習	3		2	
		器楽V	演習	4		2	
授	教	小学校音楽演習 I	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
業	育	小学校音楽演習Ⅱ	演習	2		2	
0		小学校音楽演習Ⅲ	演習	<u>3</u>		2	
概	科	小学校音楽演習IV	演習	<u>3</u>		2	
要	目	<u>小学校音楽演習 V</u>	演習	<u>4</u>		<u>2</u>	
		図画工作	講義	<u>1</u>		<u>2</u>	
	I	図画工作演習	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
		<u>体育</u>	演習	<u>2</u>		2	
		社会	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		<u>算数</u>	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		理科	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		理科演習 I	演習	2		<u>2</u>	
		理科演習Ⅱ	演習	<u>3</u>		<u>2</u>	
		<u>家庭</u>	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		小学校英語	講義	2		2	

		教育原論	講義	<u>1</u>	2		(配当年次変更)
		教職論	講義	2	2		=
		教育経営学	講義	<u>3</u>	2		(配当年次変更)
		(削除)					
授業		教育心理学	講義	<u>3</u>	2		(配当年次変更)
		特別支援教育論	講義	1	1		(配当年次変更)
		(削除)					
		教育相談	講義	4		2	(配当年次変更)
		こどもと健康	演習	2	1		
		こどもと環境	演習	1	1		
		こどもと人間関係	演習	1	1		
		こどもと言葉	演習	1	1		
	教	こどもと表現 I	演習	1	1		_
	<del>- </del>	こどもと表現Ⅱ	講義	1	1		
	育	保育内容 (総論)	演習	1	2		
の	科	保育内容(表現 I)	演習	1		2	
概	目	保育内容(表現Ⅱ)	演習	1		2	
要		保育内容 (言葉)	演習	1		2	
	II	保育内容 (人間関係)	演習	2		2	
		保育内容 (健康)	演習	2		2	
		保育内容 (環境)	演習	2		2	
		幼児教育課程論	講義	3		2	
		幼児教育方法	講義	2		2	
		幼児理解	講義	3		2	
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					

		教育原論	講義	2	2		
		教職論	講義	2	2		
		教育経営学	講義	<u>2</u>	2		
		教育法規	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		教育心理学	講義	2	2		
		特別支援教育論	講義	<u>2</u>	1		
		<u>カリキュラム論</u>	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		教育相談	講義	<u>3</u>		2	
		こどもと健康	演習	2	1		
		こどもと環境	演習	1	1		
		こどもと人間関係	演習	1	1		
		こどもと言葉	演習	1	1		
	教	こどもと表現I	演習	1	1		
授	<del>-/</del>	こどもと表現Ⅱ	講義	1	1		
業	育	保育内容 (総論)	演習	1	2		
Ø	科	保育内容(表現I)	演習	1		2	
概	目	保育内容(表現Ⅱ)	演習	1		2	
要		保育内容(言葉)	演習	1		2	
	П	保育内容 (人間関係)	演習	2		2	
		保育内容(健康)	演習	2		2	
		保育内容(環境)	演習	2		2	
		幼児教育課程論	講義	3		2	
		幼児教育方法	講義	2		2	
		幼児理解	講義	3		2	
		国語科教育法	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		社会科教育法	講義	3		<u>2</u>	
		<u>算数科教育法</u>	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		<u>理科教育法</u>	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		生活科教育法	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		音楽科教育法	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		図画工作科教育法	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	

1	ı			1	ı		1
		(削除)					
		(削除)					
	教	(削除)					
	育	(削除)					
	科	(削除)					
	1-1	(削除)					
	目	(削除)					
	П	(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
	削除	(削除)					
		保育原理	講義	2	2		
		こども家庭福祉	講義	1	2		(選必区分変更)
授		社会福祉	講義	1	2		
業		こども家庭支援論	講義	3		2	
の概要		社会的養護 I	講義	2		2	
	j	保育者論	講義	2		2	
		保育の心理学	講義	3		2	
	こどもと福祉に関する科目	こども家庭支援の心理学	講義	3		2	
	らと福	こどもの理解と援助	演習	3		1	
	祉に	こどもの保健	講義	2		2	
	関する	こどもの食と栄養	演習	2		2	
	科目	乳児保育 I	講義	2		2	
	Ħ	乳児保育Ⅱ	演習	3		1	
		こどもの健康と安全	演習	2		1	
		障害児保育	演習	2		2	
		社会的養護Ⅱ	演習	2		1	
		子育て支援	演習	3		1	(配当年次変更
		(削除)					
		保育内容の理解と方法 I	演習	<u>2</u>		2	

		家庭科教育法	講義	3		2	
		<u>体育科教育法</u>	講義	3		2	
	教	小学校英語教育法	講義	3		2	
	育	道徳の理論と実践	講義	<u>3</u>		2	
	科	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講義	2		2	
	17	教育方法	講義	<u>2</u>		2	
	目	ICT活用指導論 I	講義	<u>2</u>		2	
	П	ICT活用指導論Ⅱ	講義	<u>2</u>		2	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	<u>2</u>		2	
		介護等体験実習	実習	<u>3</u>		<u>2</u>	
	る科目 と必見す	臨床心理学概論	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		保育原理	講義	2	2		
let		こども家庭福祉	講義	1		2	
授業		社会福祉	講義	1	2		
来 の		こども家庭支援論	講義	3		2	
概		社会的養護 I	講義	2		2	
要		保育者論	講義	2		2	
	, .	保育の心理学	講義	3		2	
	ども	こども家庭支援の心理学	講義	3		2	
	と福	こどもの理解と援助	演習	3		1	
	祉に調	こどもの保健	講義	2		2	
	こどもと福祉に関する科目	こどもの食と栄養	演習	2		2	
	科目	乳児保育I	講義	2		2	
		乳児保育Ⅱ	演習	3		1	
		こどもの健康と安全	演習	2		1	
		障害児保育	演習	2		2	
		社会的養護Ⅱ	演習	2		1	
		子育て支援	演習	1		1	
		保育内容の理解と方法	演習	2		<u>4</u>	
		(新設)					
	I	VICE BOX					

		保育内容の理解と方法Ⅱ	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
	見ど		演習	3		2	
	関する科目	(削除)					
	目祉に	(削除)					
	,-,	(削除)					
	総合演習	チャイルドケア・ゼミ	演習	1		2	
		(削除)					
	演習	教職・保育実践演習	演習	4		2	(科目名変更
		(削除)					
		幼稚園教育実習 I (事前・事後指導)	演習	3~4		1	
		幼稚園教育実習Ⅱ	実習	3~4		4	
Lest		(削除)					_
授業		(削除)					
か	実	保育実習 I	実習	2~3		4	_
概	習	保育実習指導 I	演習	2~3		2	_
要		保育実習Ⅱ	実習	4		2	
		保育実習指導Ⅱ	演習	4		1	
		保育実習Ⅲ	実習	3		2	
		保育実習指導Ⅲ	演習	3		1	
		キリスト教保育	講義	<u>3</u>		2	(配当年次変更
		(削除)	演習	4		2	
	特	(削除)	演習	4		2	
	特設科目	<u>こどもと英語</u>	演習	3		2	(科目名変更
		(削除)					
		子育て支援フィールドワーク (保育 SW)_	演習	<u>4</u>		<u>2</u>	
		保育ソーシャルワーク論(保育 SW)	講義	3		2	
	特別研		演習	3	2		
	卒業研	开究	演習	4	4		

		(新設)					
	に関する科目	(新設)					
	すると	地域福祉論	講義	2		2	
	科福 目祉	社会保障論 I_	講義	3		2	
		社会保障論Ⅱ	講義	3		2	
		チャイルドケア・ゼミ	演習	1		2	
	総合	教師力演習	演習	1		2	
	総合演習	教職実践演習	演習	4		2	
		保育実践演習	演習	<u>3</u>		2	
		幼稚園教育実習 I (事前・事後指導)	演習	3~4		1	
		幼稚園教育実習Ⅱ	実習	3~4		4	
		小学校教育実習 I (事前・事後指導)	演習	<u>3</u>		1	
授		小学校教育実習Ⅱ	実習	<u>3</u>		4	
業の	実	保育実習 I	実習	2~3		4	
概	習	保育実習指導I	演習	2~3		2	
要		保育実習Ⅱ	実習	4		2	
		保育実習指導Ⅱ	演習	4		1	
		保育実習Ⅲ	実習	3		2	
		保育実習指導Ⅲ	演習	3		1	
		キリスト教保育	講義	<u>1~3</u>		2	
		児童教育フィールドワークI	演習	4		2	
	特	児童教育フィールドワークⅡ	演習	4		2	
	特設科目	<u>こどもと英語 I</u>	演習	3		2	
	日	<u>こどもと英語Ⅱ</u>	演習	<u>3</u>		<u>2</u>	
		(新設)					
		(新設)					
	特別征	开究	演習	3	2		
	卒業研究 演習 4						
		合計			35	102	

# ◆人文学科 <u>児童教育専攻</u>

		授 業 科 目	授業	配当	単位	立数	備考
	L	汉 未 村 日	形態	年次	必修	選択	7배-与
		国語	講義	1	2		
		生活	講義	<u>1</u>		<u>2</u>	(年次選必変更)
		音楽	演習	1		2	(選必区分変更)
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
	教	(削除)					
	<b>→</b> -	(削除)					
授	育	(削除)					
業	科	(削除)					
Ø	目	(削除)					
概		図画工作	講義	1		2	(選必区分変更)
要	I	(削除)					
		体育	演習	<u>1</u>		<u>2</u>	(年次選必変更)
		社会	講義	2	<u>2</u>		(選必区分変更)
		算数	講義	<u>1</u>	<u>2</u>		(年次選必変更)
		理科	講義	2	<u>2</u>		(選必区分変更)
		(削除)					
		(削除)					
		家庭	講義	<u>1</u>		2	(配当年次変更)
		小学校英語	講義	2		2	
	₩r	教育原論	講義	<u>1</u>	2		(配当年次変更)
	教育科目	教職論	講義	2	2		
	II	教育経営学	講義	<u>3</u>	2		(配当年次変更)
		教育法規	講義	3		2	

### ◆人文学科 こども専攻 (児童教育コース)

		105 MW 4V 13	授業	配当	単位	拉数	/+t: +z.
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
		国語	講義	1	2		
		生活	講義	2~3	2		
		音楽	演習	1	2		
		器楽 I	<u>実技</u>	<u>1</u>	<u>1</u>		
		器楽Ⅱ	<u>実技</u>	1	1		
		器楽皿	演習	2		2	
		器楽IV	演習	3		2	
		器楽V	演習	4		2	
	教	小学校音楽演習 I	演習	2		2	
	-	小学校音楽演習Ⅱ	演習	2		2	
授	育	小学校音楽演習Ⅲ	演習	3		2	
業	科	小学校音楽演習IV	演習	3		2	
Ø	目	小学校音楽演習V	演習	4		2	
概		図画工作	講義	1	2		
要	I	図画工作演習	演習	2		2	
		体育	演習	2	2		
		社会	講義	2		2	
		算数	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		理科	講義	2		2	
		理科演習I	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
		理科演習Ⅱ	演習	3		2	
		家庭	講義	2		2	
		小学校英語	講義	2		2	
	±/.	教育原論	講義	<u>2</u>	2		
	教育科目	教職論	講義	2	2		
	日 日 <b>I</b>	教育経営学	講義	2	2		
		教育法規	講義	3		2	

		教育心理学	講義	<u>3</u>	2		(配当年次変更
		特別支援教育論	講義	1	1		(配当年次変更
		カリキュラム論	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変更
		教育相談	講義	<u>4</u>		<u>2</u>	(年次選必変更
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
	教	(削除)					
授业	育	(削除)					
業の	科	(削除)					
概	17	(削除)					
要	目	(削除)					
	П	(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		国語科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変列
		社会科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変列
		算数科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変列
		理科教育法	講義	2		2	
		生活科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変)
		音楽科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変更
		図画工作科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変列
		家庭科教育法	講義	<u>2</u>		2	(配当年次変列
		体育科教育法	講義	3		2	
		小学校英語教育法	講義	2		2	(配当年次変更

		教育心理学	講義	2	2		
		特別支援教育論	講義	2	1		
		カリキュラム論	講義	<u>3</u>		2	
		教育相談	講義	<u>3</u>	2		
		こどもと健康	演習	2		1	
		こどもと環境	演習	1		1	
		こどもと人間関係	演習	1		1	
		<u>こどもと言葉</u>	演習	1		<u>1</u>	
		<u>こどもと表現I</u>	演習	1		<u>1</u>	
		こどもと表現Ⅱ	講義	1		1	
		保育内容(総論)	演習	1		<u>2</u>	
		保育内容 (表現 I )	演習	1		<u>2</u>	
	教	保育内容 (表現Ⅱ)	演習	<u>1</u>		<u>2</u>	
授	育	保育内容 (言葉)	演習	1		<u>2</u>	
業の	科	保育内容(人間関係)	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
概	47	保育内容 (健康)	演習	<u>2</u>		<u>2</u>	
要	目	保育内容(環境)	<u>演習</u>	<u>2</u>		<u>2</u>	
	П	<u>幼児教育課程論</u>	講義	3		2	
		<u>幼児教育方法</u>	講義	2		<u>2</u>	
		<u>幼児理解</u>	講義	<u>3</u>		<u>2</u>	
		国語科教育法	講義	3		2	
		社会科教育法	講義	<u>3</u>		2	
		算数科教育法	講義	<u>3</u>		2	
		理科教育法	講義	2		2	
		生活科教育法	講義	<u>3</u>		2	
		音楽科教育法	講義	3		2	
		図画工作科教育法	講義	<u>3</u>		2	
		家庭科教育法	講義	<u>3</u>		2	
		体育科教育法	講義	3		2	
		小学校英語教育法	講義	<u>3</u>		2	

		道徳教育の理論と実践	講義	<u>2</u>	2	(配当年次変更
		特別活動・総合的な学習の時間の指導	講義	<u>3</u>	2	(配当年次変更
		教育方法	講義	2	2	
		I C T 活用指導論 I	講義	3	2	
		ICT活用指導論Ⅱ	講義	4	2	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	<u>3</u>	2	(配当年次変更
		介護等体験実習	実習	3	2	
	削除	(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
授		(削除)				
業		(削除)				
の		(削除)				
概	<b>-</b>	(削除)				
要	こどもと福祉	(削除)				
:	と福	(削除)				
	に	(削除)				
	関する科目	(削除)				
	科目	(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				
		(削除)				]
		(削除)				

		道徳教育の理論と実践	講義	3	2	
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講義	2	2	
		教育方法	講義	2	2	
		ICT活用指導論I	講義	3	2	
		ICT活用指導論Ⅱ	講義	4	2	
		生徒指導論(進路指導を含む。)	講義	2	2	
		介護等体験実習	実習	3	2	
	るにとい 科関 は 目 す 理 も	<u>臨床心理学概論</u>	講義	<u>3</u>	2	
		<u>保育原理</u>	講義	<u>2</u>	<u>2</u>	
		こども家庭福祉	講義	1	2	
		社会福祉	講義	1	<u>2</u>	
		<u>こども家庭支援論</u>	講義	<u>3</u>	2	
授		社会的養護 I	講義	2	2	
業		<u>保育者論</u>	講義	<u>2</u>	<u>2</u>	
Ø		保育の心理学	講義	<u>3</u>	2	
概	,	こども家庭支援の心理学	講義	<u>3</u>	<u>2</u>	
要	んだん	こどもの理解と援助	演習	<u>3</u>	<u>1</u>	
	と福	こどもの保健	講義	2	2	
	祉に	こどもの食と栄養	演習	2	2	
	関する	乳児保育 I	講義	2	2	
	こどもと福祉に関する科目	乳児保育Ⅱ	演習	<u>3</u>	1	
		<u>こどもの健康と安全</u>	演習	2	<u>1</u>	
		<u>障害児保育</u>	演習	<u>2</u>	<u>2</u>	
		社会的養護Ⅱ	演習	<u>2</u>	<u>1</u>	
		子育て支援	演習	<u>1</u>	<u>1</u>	
		保育内容の理解と方法	演習	2	4	
		地域福祉論	講義	<u>2</u>	<u>2</u>	
		社会保障論 I	講義	<u>3</u>	2	
		社会保障論Ⅱ	講義	<u>3</u>	2	

	障害者教育総論	講義	1	2	
	知的障害者の心理・生理・病理 I	講義	2	2	
	知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ	講義	2	2	
	肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	2	
	病弱者の心理・生理・病理	講義	2	2	
特	知的障害教育総論 I	講義	3		2
別支	知的障害教育総論Ⅱ	講義	3		2
援教	肢体不自由教育総論	講義	3		2
育に	病弱教育総論	講義	3		2
関す	発達障害教育総論(心理等)	講義	2	1	
別支援教育に関する科	視覚障害教育総論(心理等)	講義	3		1
Ī	聴覚障害教育総論(心理等)	講義	3		1
	重複障害教育総論(心理等)	講義	3	1	
授	発達障害教育総論 (教育課程等)	講義	2		1
業の	視覚障害教育総論(教育課程等)	講義	3		1
概	聴覚障害教育総論 (教育課程等)	講義	3		1
要	重複障害教育総論(教育課程等)	講義	3		1
	(削除)				
総合演習	教師力演習	演習	1		2
演習	教職実践演習	演習	4		2
	(削除)				
	(削除)				
	(削除)				
	小学校教育実習 I (事前・事後指導)	演習	3		1
実	小学校教育実習Ⅱ	実習	3		4
য়ল	_(削除)_				
習	_(削除)_				
	<u>(削除)</u>				
	(削除)				
	(削除)				

		(新設)				
		(新設)				
		(新設)				
		(新設)				
		(新設)				
	特	(新設)				
	別支	(新設)				
	援教	(新設)				
	育に	(新設)				
	特別支援教育に関する科目	(新設)				
	る科	(新設)				
	目	(新設)				
		(新設)				
授業		(新設)				
未の		(新設)				
概		(新設)				
要		(新設)				
		<u>チャイルドケア・ゼミ</u>	演習	1	<u>2</u>	
	総合演習	教師力演習	演習	1	2	
	<b>漢</b> 習	教職実践演習	演習	4	2	
		<u>保育実践演習</u>	演習	<u>3</u>	<u>2</u>	
		幼稚園教育実習 I (事前・事後指導)	演習	<u>3∼4</u>	1	
		幼稚園教育実習Ⅱ	<u>実習</u>	<u>3∼4</u>	<u>4</u>	
		小学校教育実習 I (事前・事後指導)	演習	3	1	
	実	小学校教育実習Ⅱ	実習	3	4	
	ব্যয়	保育実習 I	実習	<u>2∼3</u>	<u>4</u>	
	習	保育実習指導I	<u>演習</u>	<u>2∼3</u>	<u>2</u>	
		保育実習Ⅱ	<u>実習</u>	<u>4</u>	<u>2</u>	
		保育実習指導Ⅱ	<u>演習</u>	<u>4</u>	1	
		保育実習Ⅲ	実習	<u>3</u>	<u>2</u>	

	実	(削除)					
	老習	特別支援学校教育実習 I (事前·事後指導)	<u>演習</u>	<u>3</u> ∼4		1	
	В	特別支援学校教育実習Ⅱ	<u>実習</u>	4		<u>2</u>	
授		(削除)					
業の	特	児童教育フィールドワーク I	演習	4		2	
概	特設科目	児童教育フィールドワーク <b>Ⅱ</b>	演習	4		2	
要	Ħ	こどもと英語	演習	3		2	(科目名変更)
		(削除)					
	特別	研究	演習	3	2		
	卒業	研究	演習	4	4		
		合計			<u>35</u>	<u>84</u>	

	実	保育実習指導Ⅲ	演習	<u>3</u>		1	
	習	(新設)					
	П	(新設)					
授		キリスト教保育	講義	<u>1~3</u>		<u>2</u>	
業の	特	児童教育フィールドワーク I	演習	4		2	
概	特設科目	児童教育フィールドワーク Ⅱ	演習	4		2	
要	目	こどもと英語 I	演習	3		2	
		こどもと英語Ⅱ	演習	<u>3</u>		2	
	特別	]研究	演習	3	2		
	卒業	<b>套研究</b>	演習	4	4		
		合計			29	177	

### ◆心理臨床学科

			授業	配当	単位	立数	/+t+ -t-v
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
		(削除)					
		心理学研究法	講義	2		2	
		心理学統計法	講義	2		2	
		心理学実験	実験	2		2	
授	心	知覚・認知心理学	講義	2		2	
業の	理	学習・言語心理学	講義	2		2	
概	学	感情・人格心理学	講義	2		2	(科目名変更)
要	于	(削除)					
	領	神経・生理心理学	講義	2		2	(科目名変更)
	域	臨床神経心理学	講義	3		2	(科目名変更)
		社会・集団・家族心理学	講義	2		2	(科目名変更)
		(削除)					
		発達心理学	講義	1		2	(科目名変更)
		(削除)					

### ◆心理臨床学科

		105 Me 171 FI	授業	配当	単位	立数	/++= -+z.
		授業科目	形態	年次	必修	選択	備考
		臨床心理学概論	講義	1		2	
		心理学研究法	講義	2		2	
		心理学統計法	講義	2		2	
l		心理学実験	実験	2		2	
授	心	知覚・認知心理学	講義	2		2	
業の	理	学習・言語心理学	講義	2		2	
概	学	感情・人格心理学 I	講義	2		2	
要	7	感情・人格心理学Ⅱ	講義	2		2	
	領	神経・生理心理学Ⅰ	講義	2		2	
	域	神経・生理心理学Ⅱ	講義	3		2	
		社会・集団・家族心理学I	講義	2		2	
		社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	<u>2</u>		<u>2</u>	
		<u>発達心理学 I</u>	講義	1		2	
		<u>発達心理学Ⅱ</u>	講義	<u>2</u>		2	

					•		
		障害者・障害児心理学	講義	2		2	
		心理的アセスメント	演習	2		2	
		心理学的支援法	講義	2		2	
		公認心理師の職責	講義	2		2	
		健康・医療心理学	講義	3		2	
		福祉心理学	講義	3		2	
		教育・学校心理学(教育相談)	講義	3		2	
		司法・犯罪心理学	講義	3		2	
		産業・組織心理学	講義	3		2	
		(削除)					
	心	(削除)					
		(削除)					
	理	関係行政論	講義	3		2	
授	学	教育心理学	講義	3		2	
業	領	(削除)					
の		精神分析学	講義	3		2	
概	域	データ解析演習	演習	3		2	(名称·開講方法変更)
要		心理測定法	演習	3		2	
		心理学外書講読 I	演習	3		2	
		心理学外書講読Ⅱ	演習	3		2	
		心理学外書講読Ⅲ	演習	4		2	
		<u>人間科学研究実習</u>	実習	3		2	(名称·開譯方法変更)
		心理演習 I	演習	3		2	
		心理演習Ⅱ	演習	3		2	
		心理実習I	実習	3		2	
		心理実習Ⅱ	実習	3		2	
		心理実習Ⅲ	実習	4		2	
	精油	社会福祉の原理と政策 I	講義	1		2	
	精神保健福祉学領域	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	1		2	
	福 祉 学	(削除)					
	領域	(削除)					

心理的アセスメント       演習 2 2       2         心理学的支援法       講義 2       2         公認心理師の職責       講義 3       2         健康・医療心理学       講義 3       2         報育・学校心理学(教育相談)       講義 3       2         可法・犯罪心理学       講義 3       2         產業・組織心理学       講義 3       2         人体の構造と機能及び疾病       講義 3       2         精神疾患とその治療 I       講義 3       2         財際行政論       講義 3       2         要教育心理学       講義 3       2         整知行動療法       講義 3       2         精神分析学       講義 3       2         心理データ解析       講義 3       2         心理学外書講読 I       演習 3       2         心理学外書講読 II       演習 3       2         心理学外書講読II       演習 3       2         心理学の書講読II       演習 3       2         心理学外書講読II       演習 3       2         心理学の発講読II       演習 3       2         心理学外書講読II       演習 3       2         心理学の発講読II       演習 3       2         心理学の発講読       3       2         心理学の発講読       3       2         心理学の表講読       3       2         心理学の発講談II <th></th>	
心理学的支援法     講義     2     2       公認心理師の職責     講義     2     2       健康・医療心理学     講義     3     2       福祉心理学     講義     3     2       教育・学校心理学(教育相談)     講義     3     2       可法・犯罪心理学     講義     3     2       產業・組織心理学     講義     3     2       持神疾患とその治療I     講義     3     2       精神疾患とその治療I     講義     3     2       製育心理学     講義     3     2       教育心理学     講義     3     2       教育心理学     講義     3     2       大學     調義     3     2       被     2     2       精神分析学     講義     3     2       心理デク書講読I     演習     3     2       心理学外書講読I     次習     3     2       心理学外書講読II     演習     4     2       心理学外書講読II     演習     4     2       心理学研究演習     演習     3     2	
健康・医療心理学   講義 3 2 2	
健康・医療心理学   講義 3 2 2	
教育・学校心理学(教育相談)	
司法・犯罪心理学	
産業・組織心理学     講義 3     2       人体の構造と機能及び疾病     講義 2     2       精神疾患とその治療 I     講義 3     2       精神疾患とその治療 I     講義 3     2       関係行政論     講義 3     2       教育心理学     講義 3     2       整知行動療法     講義 3     2       精神分析学     講義 3     2       心理データ解析     講義 3     2       心理学外書講読 I     演習 3     2       心理学外書講読 II     演習 3     2       心理学外書講読 II     演習 4     2       心理学研究演習     演習 3     2	
人体の構造と機能及び疾病     講義     2       精神疾患とその治療 I     講義     3     2       精神疾患とその治療 I     講義     3     2       関係行政論     講義     3     2       学     教育心理学     講義     3     2       整知行動療法     講義     3     2       精神分析学     講義     3     2       心理データ解析     講義     3     2       心理学外書講読 I     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     4     2       心理学研究演習     演習     3     2	
本語	
標神疾患とその治療Ⅱ     講義 3     2       標標 (大) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京	
理     精神疾患とその治療Ⅱ     講義 3     2       授     教育心理学     講義 3     2       概     上級知行動療法     講義 2     2       機関     小理データ解析     講義 3     2       ・ 心理データ解析     講義 3     2       ・ 心理データ解析     ・ 心理データ解析     ・ 演習 3     2       ・ 心理学外書講読Ⅱ     ・ 心理学外書講読Ⅲ     演習 4     2       ・ 心理学外書講読Ⅲ     ・ 心理学研究演習     演習 3     2	
接     財係行政論     講義     3     2       教育心理学     講義     3     2       認知行動療法     講義     2     2       精神分析学     講義     3     2       心理データ解析     講義     3     2       心理測定法     演習     3     2       心理学外書講読 I     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     4     2       心理学研究演習     演習     3     2	
業     額     2       認知行動療法     講義     2       精神分析学     講義     3       必理データ解析     講義     3       心理測定法     演習     3       心理学外書講読 I     演習     3       心理学外書講読 II     演習     3       心理学外書講読 II     演習     4       心理学研究演習     演習     3       適習     3     2	
の 概要	
域     心理データ解析     講義     3     2       心理測定法     演習     3     2       心理学外書講読 I     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     4     2       心理学研究演習     演習     3     2	
概     心理データ解析     講義     3     2       心理測定法     演習     3     2       心理学外書講読 I     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     3     2       心理学外書講読 II     演習     4     2       心理学研究演習     演習     3     2	
心理学外書講読 I     演習 3     2       心理学外書講読 II     演習 3     2       心理学外書講読 II     演習 4     2       心理学研究演習     演習 3     2	
心理学外書講読Ⅲ       演習       3       2         心理学外書講読Ⅲ       演習       4       2         心理学研究演習       演習       3       2	
心理学外書講読Ⅲ       演習       4       2 <u>心理学研究演習</u> <u>演習</u> 3       2	
<u>心理学研究演習</u> <u>演習</u> 3 2	
心理演習 I 演習 3 2	
心理演習Ⅱ 演習 3 2	
心理実習 I 実習 3 2	
心理実習Ⅱ 実習 3 2	
心理実習Ⅲ 実習 4 2	
精 神 社会福祉の原理と政策 I 講義 1 2	
精神     社会福祉の原理と政策 I     講義 1     2       社会福祉の原理と政策 II     講義 1     2       地域福祉と包括的支援体制 I     講義 2     2	
世域福祉と包括的支援体制 I	
領 $ $ 域 地域福祉と包括的支援体制 ${f II}$ $ $ ${f ix}$ $ $ ${f z}$ $	

		貧困に対する支援	講義	2	2	
		社会保障 I	講義	3	2	
		社会保障Ⅱ	講義	3	2	
		権利擁護を支える法制度	講義	3	2	
		社会福祉調査の基礎	講義	3	2	
		(削除)				
		刑事司法と福祉	講義	2	2	
		精神保健福祉制度論	講義	2	2	
		現代の精神保健の課題と支援I	講義	2	2	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	2	2	
		(削除)				
	精	精神保健福祉の原理 I	講義	2	2	
445	神	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2	2	
授業	保健	ソーシャルワークの理論と方法 I	講義	2	2	
かの		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	2	
概	福祉	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	講義	3	1	
要	学	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	3	1	
	領	学校ソーシャルワーク論	講義	3	2	
	域	学校ソーシャルワーク演習	演習	4	2	
		学校ソーシャルワーク実習指導	演習	4	2	
		学校ソーシャルワーク実習	実習	4	2	
		精神保健福祉現場体験	実習	3	2	
		(削除)				
		ソーシャルワーク演習(専門) I	演習	3	2	
		ソーシャルワーク演習 (専門) Ⅱ	演習	4	2	
		ソーシャルワーク演習 (専門) Ⅲ	演習	4	2	
		ソーシャルワーク実習指導 I	演習	3	2	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	4	2	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	4	2	
		ソーシャルワーク実習	実習	4	7	

	貧困に対する支援	講義	2	2	
	社会保障 I	講義	3	2	
	社会保障Ⅱ	講義	3	2	
	権利擁護を支える法制度	講義	3	2	
	社会福祉調査の基礎	講義	3	2	
	障害者福祉	講義	1	2	
	刑事司法と福祉	講義	2	2	
	精神保健福祉制度論	講義	2	2	
	現代の精神保健の課題と支援I	講義	2	2	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	2	2	
	精神障害リハビリテーション論	講義	2	2	
精	精神保健福祉の原理 I	講義	2	2	
神	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2	2	
保健	ソーシャルワークの理論と方法 I	講義	2	2	
福	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	2	
祉	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	講義	3	1	
学	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	3	1	
領	学校ソーシャルワーク論	講義	3	2	
域	学校ソーシャルワーク演習	演習	4	2	
	学校ソーシャルワーク実習指導	演習	4	2	
	学校ソーシャルワーク実習	実習	4	2	
	精神保健福祉現場体験	実習	3	2	
	ソーシャルワーク演習	演習	3_	2_	
	ソーシャルワーク演習(専門) I	演習	3	2	
	ソーシャルワーク演習(専門) Ⅱ	演習	4	2	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	4	2	
	ソーシャルワーク実習指導 I	演習	3	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	4	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	4	2	
	ソーシャルワーク実習	実習	4	7	
_				 	·

業の概要

		(削除)			
		(削除)			
削	il	(削除)			
削除	余	(削除)			
		(削除)			
		(削除)			
授業		(削除)			
来 の		(削除)			
概		(削除)			
要		(削除)			
		(削除)			
削除	Ñ	(削除)			
) i	余	(削除)			
		(削除)			

		障害者教育総論 I	講義	2_	2_	
		障害者教育総論Ⅱ	講義	2	2	
		発達障害者の心理	講義	2_	2_	
		障害者の病理・保健	講義	3_	2_	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	2_	
		病弱者の心理・生理・病理	講義	3_	2_	
	特	発達障害者の適応援助	講義	2_	2_	
	別	コミュニケーション障害者の適応援助	講義	3_	2_	
	支援	発達援助の技法	講義	3_	2_	
	教	肢体不自由教育総論	講義	2_	2_	
	育	病弱教育総論	講義	2_	2_	
	学	視覚障害教育総論(心理等)	講義	3_	1_	
	領	聴覚障害教育総論(心理等)	講義	3_	1	
授業	域	重複障害教育総論(心理等)	講義	3_	1_	
未の		軽度発達障害教育総論(心理等)	講義	3_	1_	
概		コミュニケーション障害者の心理	講義	2_	2_	
要		視覚障害教育総論(教育課程等)	講義	3_	1_	
		<u>聴覚障害教育総論(教育課程等)</u>	講義	3_	1	
		重複障害教育総論(教育課程等)	講義	3_	1_	
		軽度発達障害教育総論(教育課程等)	講義	3_	1_	
		教師力演習	演習	1_	2_	
	教	教職論【中高】	講義	2_	2_	
	職科目	教育原論【中高】	講義	2_	2_	
	目領域	教育心理学【中高】	講義	3_	2_	
		教育経営学【中高】	講義	2_	2_	
	(公民・	教育法規	講義	3_	2_	
	特別支援)	特別支援教育論【中高】	講義	2_	1_	
	支援)	カリキュラム論【中高】	講義	3_	2_	
		公民科教育法I	講義	3_	2_	
		公民科教育法Ⅱ	講義	3_	2_	

		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
	(削除)	(削除)					
	(新	(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
L		(削除)					
		(削除)					
		心理臨床学の基礎	演習	1	2		(開講方法変更
授		心理臨床学の展開	講義	1	<u>2</u>		
業		心理学概論	講義	1	2		
Ø)		ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	1	2		
概要		<u>臨床心理学概論</u>	講義	1		2	
*		<u>障害者福祉</u>	講義	1		2	
	共	認知行動療法	演習	2		2	  -
	通	地域福祉と包括的支援体制 I	講義	2		2	•
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2		2	
		精神障害リハビリテーション論	講義	2		2	
		人体の構造と機能及び疾病	講義	2		2	
		精神疾患とその治療I	講義	3		2	
		精神疾患とその治療Ⅱ	講義	3		2	
		質的研究の技法	演習	3		2	
		ソーシャルワーク演習	演習	3		2	
-	44.5	チーム学校協働演習	演習	3		2	}
		研究	演習	3	2		
	<b>平</b> 兼	研究	演習	4	4		

				1		1			
		特別活動・総合的な学習の時間の指導【中高】	講義	3_		2_			
	教	教育方法【中高】	講義	2_		2_			
	教職科目	I C T活用指導論 I	講義	<u>2</u>		<u>2</u>			
	日領域	生徒指導論(進路指導を含む。) 【中高】	講義	2_		2_			
	《公民	教育相談【中高】	講義	3		2_			
		公民科教育実習 I	演習	3~4		1_			
	特別支援)	公民科教育実習Ⅱ	実習	<u>4</u> _		2_			
	支援)	特別支援学校教育実習 I	演習	<u>4_</u>		1_			
	I	特別支援学校教育実習Ⅱ	実習	4_		2_			
		教職実践演習【中高】	演習	4		2_			
		<u>法学</u>	講義	2	2_				
		心理臨床学の基礎	講義	1	2				
授		(新設)							
業		心理学概論	講義	1	2				
の		ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	1	2				
概		(新設)							
要		(新設)							
		(新設)							
	共通	(新設)							
		(新設)							
		(新設)							
		(新設)							
		<u>(新設)</u>							
		(新設)							
		(新設)							
		(新設)							
		(新設)							
	特別	特別研究 演習 3							
	卒業	研究	4						
		合計			12	222			

#### ◇心理学演習、心理学実習の履修要件

- ・「心理演習  $I \cdot II$ 」及び「心理実習  $I \cdot II$ 」については、2年次までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修することができる。
- ・「心理実習Ⅲ」については、3年次までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修することができる。
- ◇ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習の履修要件
- ・「ソーシャルワーク演習(専門)  $I \cdot II \cdot III$  ) 及び「ソーシャルワーク実習指導  $I \cdot II \cdot III$  」については、「ソーシャルワーク実習」を履修する者に限り履修することができる。
- ・「ソーシャルワーク実習」については、原則として、精神保健福祉学領域において3年次までに開講されるすべての授業科目の単位を修得している者に限り履修することができる。

#### 別表3-1【教科及び教職に関する科目】

◆幼稚園教諭一種

(削除)

#### ◇心理学演習、心理学実習の履修要件

- ・「心理演習  $I \cdot \Pi$ 」及び「心理実習  $I \cdot \Pi$ 」については、2年次までに開講されるすべての公認心理師指定 科目の単位を修得している者に限り履修することができる。
- ・「心理実習Ⅲ」については、3年次までに開講されるすべての公認心理師指定科目の単位を修得している者に限り履修することができる。
- ◇ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習の履修要件
- ・「ソーシャルワーク演習(専門) I・Ⅱ・Ⅲ」及び「ソーシャルワーク実習指導 I・Ⅱ・Ⅲ」については、「ソーシャルワーク実習」を履修する者に限り履修することができる。
- ・「ソーシャルワーク実習」については、原則として、精神保健福祉学領域において3年次までに開講されるすべての授業科目の単位を修得している者に限り履修することができる。

#### 別表3-1【教科及び教職に関する科目】

#### ◆幼稚園教諭一種

科目区分		各科目に含めるこ		₩ 1 □ b	配当	単位	拉数	/++= -+z
科目	区分	とが必要な事項		授業科目名	年次	必修	選択	備考
	領域	健	康	こどもと健康	2	1		
	領域に関する専門的事項	人間	関係	こどもと人間関係	1	1		
領	する	環	境	こどもと環境	1	1		
域 及	専門:	言	葉	こどもと言葉	1	1		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	的事	±	TH	こどもと表現 I	1	1		
内容	垻	表	現	こどもと表現Ⅱ	1	1		
が指				保育内容 (総論)	1	2		
導法				保育内容 (健康)	2	2		
に関	保育内	交の指	道注	保育内容(人間関係)	2	2		
る科	(情報	(情報機器及び教材の活用		保育内容(環境)	2	2		
目	を含む	t. )		保育内容(言葉)	1	2		
				保育内容(表現I)	1	2		
				保育内容 (表現Ⅱ)	1	2		
関の	教育の理 歴史及び	_	ドに教育に関する	教育原論	2	2		
る科目		チーム	教員の役割・職  学校運営への対	教職論	2	2		

教育に関する社会的、制度的又 2 教育経営学 2 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 基礎的理解に関する科 3 2 \* 教育法規 幼児、児童及び生徒の心身の発 教育心理学 2 2 達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、 特別支援教育論 2 児童及び生徒に対する理解 幼児教育課程論 3 2 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジ・メント を含む。) カリキュラム論 3 2 \* 教育の方法及び技術 ( 情報機 幼児教育方法 2 2 器及び教材の活用を含む。) 幼児理解 3 2 ※選択科目 教育相談(カウンセリングに関する (4 単位) 基礎的な知識を含む。) の理 2 教育相談 3 以上取得。 論及び方法 科目製作関する 幼稚園教育実習 I  $3\sim4$ 1 (事前・事後指導) 教育実習 幼稚園教育実習Ⅱ  $3\sim4$ 4 Ź 教職実践演習 教職実践演習 2 4 定する科目に設 ボランティア学修論 1 2 ボランティア体験学修 2 \* 2 チャイルドケア・ゼミ

◆小学校教諭一種免許状 (削除)

#### ◆小学校教諭一種免許状

A D D	<b>:</b> /\	各科目に含めるこ		配当	単位	立数	/++-	- <del>1</del> z.	
科目区	公分	とが必要な事項	授業科目名	年次	必修	選択	備	考	
の教す指科	専門教科に	国語(書写を含む。)	国語	1	2				
の 教科 及び 科 科 科	的に	的に	社会	社会	2	2			
目に教 関科	事項	算数	算数	2	2				

			理科	2	2		
		理科	理科演習I	2	2		
			理科演習Ⅱ	3		2	
		生活	生活	2	2		
			音楽	1	2		
			器楽 I	1	1		
	教 科		器楽Ⅱ	1	1		
	に関す		小学校音楽演習 I	2	2		
	する専	音楽	小学校音楽演習Ⅱ	2		2	
1.2	教科に関する専門的事項		小学校音楽演習Ⅲ	3		2	
教科	事項		小学校音楽演習IV	3		2	
教科及び教科の指導法に関する科目			小学校音楽演習V	4		2	
科の		図画工作	図画工作	1	2		
指導法		凶岡工作	図画工作演習	2	2		
に関		家庭	家庭	2	2		
するが		体育	体育	2	2		
科目		外国語	小学校英語	2	2		
		国語(書写を含む。)	国語科教育法	3	2		
	(情 1	社会	社会科教育法	3	2		
	報答機器	算数	算数科教育法	3	2		
	及び科	理科	理科教育法	2	2		
	(情報機器及び教材の活用を含む。	生活	生活科教育法	3	2		
	が指指	音楽	音楽科教育法	3	2		
	を導含	図画工作	図画工作科教育法	3	2		
	む法	家庭	家庭科教育法	3	2		
		体育	体育科教育法	3	1		
44. 41.	数容の理	外国語	小学校英語教育法	3	1		
するの数音の	及び思想	念並びに教育に関する歴史 念並びに教育に関する歴史 義及び教員の役割・職務内 学校運営への対応を含む。)	教育原論	2	2		
科目関係	教職の意	養及び教員の役割・職務内 、学校運営への対応を含む。)	教職論	2	2		
	Lm.()	7/1/E C 10./				I	

科 教目 育	教育に関する社会的、制度的又は経 営的事項(学校と地域との連携及び学	教育経営学	2	2		
の基	校安全への対応を含む。)	教育法規	3		2	
礎的理	幼児、児童及び生徒の心身の発達及 び学習の過程	教育心理学	2	2		
解に関	特別の支援を必要とする幼児、児童 及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	1		
する	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	カリキュラム論	3	2		
7	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	3	2		
及び生徒指導、道徳、総合的・	総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習	2	2		
促指道	特別活動の指導法	の時間の指導		2		-
	教育の方法及び技術	教育方法	2	2		
7相談等習の時間	情報通信技術を活用した教育の理論 及び方法	ICT活用指導論 I	2	2		
教育相談等に関する科目な学習の時間等の指導法	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む。)	2	2		「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む。
科法	教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。) の理論及び方 法	教育相談	2	2		
関する	教育実習	小学校教育実習 I (事前・ 事後指導)	3	1		
関する科目 教育実践に		小学校教育実習Ⅱ	3	4		
	教職実践演習	教職実践演習	4	2		
大		ボランティア学修論	1	2		
子が独		ボランティア体験学修	1		2	
自に		教師力演習	1	2		
設定		介護等体験実習	3	2		
大学が独自に設定する科目		児童教育フィールドワーク I	4		2	
目		児童教育フィールドワークⅡ	4		2	
		こどもと英語 I	3		2	
		こどもと英語Ⅱ	3		2	

◆中学校・高等学校教諭一種免許状 (英語) ◆中学校・高等学校教諭一種免許状(英語) (削除) 配当 単位数 各科目に含めるこ 科目区分 授業科目名 備考 とが必要な事項 年次 必修 選択 英語発音演習I 2 2 英語発音演習Ⅱ 2 2 基礎英文法 2 英語学 応用英文法 英語学概論 2 英語史 日英語比較 3 2 2 英語文学概論 I 2 英語文学概論Ⅱ 英語文学 英語文学講読 I 2 3 2 英語文学講読Ⅱ 教科及び教科の指導法に関する科 5 アト゛ハ゛ンスト・インク゛リッシュ・コミュニケーション I 教科に関する専門的事 アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーション Ⅱ 5 アト゛ハ゛ンスト・インク゛リッシュ・コミュニケーションⅢ 5 アト゛ハ゛ンスト・インク゛リッシュ・コミュニケーションⅣ 5 コミュニケーション・インク゛リッシュ I 3 3 コミュニケーション・インク゛リッシュ Ⅱ 項 英語コミュニケーション コミュニケーション・インク゛リッシュⅢ 3 3 コミュニケーション・インク゛リッシュ【V 3 アカテ゛ミック・ライティンク゛I アカテ゛ミック・ライティンク゛Ⅱ 3 スピーチ&ディベート I 2 スピーチ&ディベートⅡ グローバル・スタディーズ 2 異文化圏体験学修 2.3 3 2 国際理解英語 異文化理解 アメリカ史 3 2 2 現代アメリカ論 3 2 英語で学ぶ時事問題

		英語科教育法 [	3	2		
	各教科の指導法	英語科教育法Ⅱ	3	2		中学校、高等
	(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅲ	4	2		学校いずれも
		英語科教育法IV	4	2		単位必修
	小	計		28	56	選択科目につい ては高等学校は2 単位以上を修得
	教育の理念並びに教育に関する歴史 及び思想	教育原論	2	2		
教育の	教職の意義及び教員の役割・職務内 容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	2		
基礎的	教育に関する社会的、制度的又は経 営的事項(学校と地域との連携及び学	教育経営学	2	2		=
理解	校安全への対応を含む。)	教育法規	3	2		
に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及 び学習の過程	教育心理学	2	2		
る科目	特別の支援を必要とする幼児、児童 及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	1		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	カリキュラム論	3	2		
	小	計		13		
及道	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践 ※1	3	2		※1 中学校の
及び生徒指導、総合的	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の 指導	2	2		
+2	教育の方法及び技術	教育方法	2	2		
育相談笠	情報通信技術を活用した教育の理論 及び方法	ICT活用指導論 I	2	2		
教育相談等に関する科目な学習の時間等の指導法	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む。)※ 2	2	2		※2 「進路指導 及びキャリア教
する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	教育相談	2	2		育の理論及び方 法」を含む。
	小	計		12		
関教会	#1	英語科教育実習 I (事前・事後指導)	3	1		
育実践に	教育実習	英語科教育実習Ⅱ	3	4		
目に	教職実践演習	教職実践演習	4	2		
	小	<del>11</del>		7		

	ボランティア学修論	1	2		
設 大 定 学 が	ボランティア体験学修	1		2	
る独	教師力演習	1	2		
科 自 目 に	介護等体験実習	3	2		
	こどもと英語Ⅱ	3		2	
小	計		6	2	

◆高等学校教諭一種免許状(公民) (削除)

### ◆高等学校教諭一種免許状(公民)

£ 0	EA	各科目に含めるこ	松米利口石	配当	単位	立数	/±±:	±z.
科日	区分	とが必要な事項	授業科目名	年次	必修	選択	備	考
			法学	2	2			
		「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治	社会保障 I	3		2		
		を含む。)」	社会保障Ⅱ	3		2		
			公的扶助論	2		2		
			社会学	2	2			
			ジェンダー学	3		2		
教科			環境学	1	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	教	数 科	2		2			
教科	料に関		社会·集団·家族心理学Ⅱ	2		2		
の指	でする		社会福祉の原理と政策 I	1		2		
み 法	専門		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1		2		
関す	的事		地域福祉論	2		2		
る科	項	済を含む。)」	経済学	1		2		
目			経営学	1		2		
			マーケティング論	2		2		
			国際ビジネス論	3		2		
			企業経営論	3		2		
			現代社会論	3		2		
			現代社会とメディア	3		2		
			秘書学	2		2		

心理学概論	1	2			
臨床心理学概論	1			2	
心理学研究法	2			2	
心理学統計法	2			2	
心理学実験	2			2	
知覚·認知心理学	2			2	
学習·言語心理学	2			2	
感情·人格心理学 I	2			2	
感情·人格心理学Ⅱ	2			2	
神経·生理心理学 I	2			2	
神経·生理心理学Ⅱ	3			2	
発達心理学I	1			2	
発達心理学Ⅱ	2			2	
障害者·障害児心理学	2			2	
心理的アセスメント	2			2	
心理学的支援法	2			2	
健康·医療心理学	3			2	
福祉心理学	3			2	
司法·犯罪心理学	3			2	
認知行動療法	2			2	
心理データ解析	3	1		2	
心理測定法	3		_	2	
公民科教育法I	3	2			
公民科教育法Ⅱ	3	2		m lest e :	
計		12	2	選択科目に 76 ては17単位 を修得	こつい 立以上 
教育原論	2	2			
教職論	2	2			

教育の	教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項(学校と地域との連携及び学校	教育経営学	2	2		
基礎	安全への対応を含む。)	教育法規	3	2	1	
的	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程	教育心理学	2	2		
理解に関す	特別の支援を必要とする幼児、児童及 び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	1		
る科目	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	カリキュラム論	3	2		
	小	計		13		
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の指導	2	2		
教育相な	特別活動の指導法	11.4			<u> </u>	<u> </u>
談等習の	教育の方法及び技術	教育方法	2	2		
に関する	情報通信技術を活用した教育の理論及 び方法	ICT活用指導論 I	2	2		
日指	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む。)	2	2	İ	「進路指導及びキャリア教育の理
法及び生	教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。) の理論及び方法	教育相談	2	2		論及び方法」を 含む。
	小			10		
関教音	数·李·尔羽	公民科教育実習 I (事前・事後指導)	3~4	1		
る実践	教育実習	小学校教育実習Ⅱ	4	2		
目に	教職実践演習	教職実践演習	4	2		
		計		5		
設定する科		ボランティア学修論	1	2		]
する独自		ボランティア体験学修	1		2	
目に	-	教師力演習	1	2		
	小	計		4	2	

表3-2 (第13条関係)

(削除)

別表3-3 (第13条関係)

(削除)

別表3-2 (第13条関係)

◆教育職員免許法施行規則第66条の6関連科目

施行規則で定める科目及び	単位数	授業科目名	配当年次	単必修	位数選択	備考
	아버스	口子同律沙	2		迭代	
日本国憲法	2単位	日本国憲法	Z	2		
		スポーツ実技	1		1	
体有	2単位	健康科学論	1	2		
	2単位	英語 I	1	2		
外国語コミュニケーション		英語Ⅱ	1	2		
情報機器の操作	2単位	情報基礎	1	2		

別表3-3 (第13条関係)

◆免許法特例法第2条に規定する「介護等体験」関連科目

	配当	単位	拉数	W
授業科目名	年次	必修	選択	備考
介護等体験実習	3	2		

※対象者:小学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状(英語)取得希望者

別表4 (第13条関係)【特別支援教育に関する科目】

(削除)

別表 4	(第13	条関係)【	特別支援教育に関する科目】					
免許状			左記に対応する	る開記	9授美	と科目		
の種類 (特別支援 教育領 域)		施行規則に 科目区分	授業科目			立数 選択	中心となる 領域	含む領域
	特別支援	教育の基礎	障害者教育総論 I 2					
	理論に	関する科目	障害者教育総論Ⅱ					
		心身に障害 のある幼 児、児童又	発達障害者の心理	2	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者 視覚障害者 聴覚障害者
		は生徒の心 理、生理及	障害者の病理・保健	3	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
	特別支援	び病理に関 する科目	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2		肢体不自由者	知的障害者
	教育領域に関する		病弱者の心理・生理・病理	3	2		病弱者	
	科目	心身に障害	発達障害者の適応援助	2	2		知的障害者	肢体不自由者
特		のある幼児、児童又	コミュニケーション障害者の適応援助	3	2		知的障害者	肢体不自由者
文一		は生徒の教	発達援助の技法	1	2		知的障害者	肢体不自由者
種 免		育課程及び 指導法に関	肢体不自由教育総論	2	2		肢体不自由者	知的障害者
知的		する科目	病弱教育総論	2	2		病弱者	肢体不自由者
障害			視覚障害教育総論(心理等)	3	1		視覚障害者	
者)(		心身に障害 のある幼 児、児童又 は、生徒の	聴覚障害教育総論(心理等)	3	1		聴覚障害者	
特支一種免(知的障害者)(肢体不自由	免許状に		重複障害教育総論(心理等)	3	1		重複·LD 等 領域	知的障害者 肢体不自由者 病弱者 視覚障害者
[者) (症	定められ ることと	心理、生理 及び病理に 関する科目	軽度発達障害教育総論 (心理等)	3	1		重複·LD 等 領域	
(病弱者)	なる特別 支援教育 領域以外		コミュニケーション障害者の心理	2	2		聴覚障害者	知的障害者 肢体不自由者 病弱者
	の領域に		視覚障害教育総論(教育課程等)	3	1		視覚障害者	
	関する科 目	心身に障害 のある幼	聴覚障害教育総論(教育課程等)	3	1		聴覚障害者	
	) post	児、児童又 は生徒の教 育課程及び 指導法に関	重複障害教育総論(教育課程等)	3	1		重複·LD 等 領域	知的障害者 肢体不自由者 病弱者 視覚障害者
		する科目	軽度発達障害教育総論 ( 教育課程	3	1		重複·LD 等 領域	
		手のある幼 スは生徒につ	特別支援学校教育実習I	4	1			
	元、元里〉 いての教育		特別支援学校教育実習Ⅱ	4	2			

別表5 (第29条の2関係) 保育士資格取得に要する科目 (削除)

#### 別表5 (第29条の2関係)

保育士資格取得に要する科目

	告示による教科目			当該養成施設における教	科目の問	開設壮	犬況等	<b></b>
			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			単位数		
系列	教科目	授業形態	単位数	左記の告示に対応して 開講する授業科目	授業形態	必	選	備考
		712 7.2.	<i>x</i> x	Valley & Design 1	712 7121	修	択	
				フレッシュマン・ゼミ	演習	2		
				キリスト教I	講義	2		
	外国語、体育以外の科目		C	キリスト教Ⅱ	講義	2		
		不問	6以上	グローバル・スタディーズ	演習	2		
教				ボランティア学修論	講義	2		
養科				環境学	講義	2		
目				情報基礎	演習	2		
	//	\	2	英語 I	演習	2		
	外国語	演習	以上	英語 Ⅱ	演習	2		
		演習	1	健康科学論	講義			
	体育	演習	1	スポーツ実技	実技			
				合	計	21		·

	告示別表第1による教科	·目		当該養成施設における教	科目の問	開設丬	犬況等	辛
系列	教科目	授業形態	単位数	左記の告示に対応して 開講する授業科目	授業形態	単位必修	並数 選択	備考
保育	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		
の本質	教育原理	講義	2	教育原論	講義	2		
· 目	子ども家庭福祉	講義	2	こども家庭福祉	講義	2		
的に	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		
関する	子ども家庭支援論	講義	2	こども家庭支援論	講義	2		
る科目	社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	講義	2		
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		
保育	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		
育	子ども家庭支援の心理学	講義	2	こども家庭支援の心理学	演習	2		

	子どもの理解と援助	演習	1	こどもの理解と援助	演習	1	
	子どもの保健	講義	2	こどもの保健	講義	2	
	子どもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養	演習	2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容(総論)	演習	2	
				保育内容(環境)	演習	2	
	保育内容演習	演習	5	保育内容(言葉)	演習	2	
				保育内容(健康)	演習	2	
	保育内容の理解と方法	演習	4	保育内容の理解と方法	演習	4	
	乳児保育 I	講義	2	乳児保育 I	講義	2	
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1	
	子どもの健康と安全	演習	1	こどもの健康と安全	演習	1	
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2	
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1	
	子育て支援	演習	4	保育内容の理解と方法	演習	4	
加去	保育実習 I	実習	4	保育実習I	実習	4	
保育 実習		演習	2	保育実習指導 I	演習	2	
総合 演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2	
			51	合	丰	53	

		_						
	告示別表第2による教科	目		当該養成施設における教	科目の	開設	犬況等	<b>等</b>
玄	教科目	授業	単位数	左記の告示に対応して	授業		立数	/++ <del> </del>
系列	教育日	形態	数	開講する授業科目	形態	必修	選択	備考
的に関				地域福祉論	講義		2	
関する科目				社会保障論 I	講義		2	
目目				社会保障論Ⅱ	講義		2	
保			1	臨床心理学概論	講義		2	
育			5以上	教育心理学	講義	2		
の			上	食育論	講義		2	
対	各指定保育士養成			こどもと健康	演習	1		
象	施設において設定			こどもと人間関係	演習	1		
の				こどもと環境	演習	1		

理				こどもと言葉	演習	1		
解				こどもと表現 I	演習	1		
に								
関								
す								
る				こどもと表現Ⅱ	演習	1		
科								
目								
				保育内容(人間関係)	演習	2		
保存				保育内容(表現I)	演習	2		
内				保育内容(表現Ⅱ)	演習	2		
•				キリスト教保育	講義		2	
方法				器楽 I	実習	1		
				器楽Ⅱ	実習	1		
	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習		2	「保育実習Ⅱ、 保育実習指導
保育	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習			Ⅱ」又は「保育実 習Ⅲ、保育実習
実習	保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅲ	実習			化谱m + 去。2起相
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ	演習		1	
			18	合 計		16	18	
				当該養成施設における教	科目の	期設:	状況等	· ·
				七部の生元に対応して	極紫	単位	立数	
				開講する授業科目	形態			
				教職論	講義	2		
				教育経営学	講義	2		
保育	育士資格取得科目ではないか	5、学校	ξ	教育相談	講義	2		
	解 に 関 す る 科 目    保育の内容・方法    保育実習	解に関する科目 保育の内容・方法 保育実習 II 導 II	解に関する科目 保育の内容・方法 保育実習 II (保育実習 III )	解 に関する科目 保育の内容・方法 保育実習 II 保育実習 II 保育実 II と	解 に 関 す る 科 目	解に 関すする 科目  (保育の内容・方法  (保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 保育実習II 実習 1 保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 2 保育実習II 実習 1 保育実習指導II 演習 1 保育実習指導III 演習 1 保育支育性 1 保育生 1 保育	解に関する 科目 保育の内容・方法 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 1 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 1 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 1 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 3 保育実習 II 実習 2 保育実習 II 実習 3 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 3 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実習 3 保育実習 II 実習 4 保育実習 II 実際 4 保育実育 II 実習 4 保育 II エーステー 1 に対す II	解して 関すする 科目

独自の科目として開設されている教科目

幼児教育方法

教職実践演習 こどもと英語 I

こどもと英語Ⅱ

チャイルドケア・ゼミ

幼児理解

備考

講義

講義

演習

演習

演習

	幼稚園教育実習 I	実習		1	
	幼稚園教育実習Ⅱ	実習		4	
	特別研究	演習	2		
	卒業研究	演習	4		
	合 計		12	17	

## 7 「学則の変更の趣旨等を記載した書類」

ア	学則変	更(収容定員変	更) 0	り内容・	•	• •	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	• P2
1	学則変	更(収容定員変	·更) <i>0</i>	の必要性															• P2~3
ウ	学則変	更(収容定員変	:更)(:	に伴う教	育訓	果程	等の	つ変	更	内容	· 容			•				•	• P3~6
別溕	5資料1	学科・専攻再	編説明	資料															
別溕	5資料 2	学科・専攻再	編後の	3つの	ポリ	シ-	_												
別溕	5資料3	「完成年度に	おける	時間割	イメ	<u> </u>	ジ」												

#### ア 学則変更(収容定員変更)の内容

2023年度から人文学科及び心理臨床学科について、表1のとおり収容定員の変更を行う。また、人文学科において、こども専攻を保育・幼児教育専攻及び児童教育専攻に分離する。なお、本変更に伴う大学全体の収容定員の変更はない。

(表1) 入学定員・収容定員変更表

人文学部学生定員(2022年度まで)

人文学部学生定員(2023年度以降) (人)

学科・専攻	入学定員	収容定員	学科・専攻	入学定員	収容定員
人文学科	<u>85</u>	340	人文学科	<u>85</u>	<u>400</u>
キャリア・イングリッ シュ専攻	35	140	キャリア・イングリッ シュ専攻	35	140
> 10.1 = 17.	F0	000	保育・幼児教学専攻	<u>30</u>	<u>120</u>
<u>こども専攻</u>	<u>50</u>	<u>200</u>	児童教育専攻	<u>35</u>	<u>140</u>
心理臨床学科	<u>65</u>	<u>260</u>	心理臨床学科	<u>50</u>	<u>200</u>
人文学部計	150	600	人文学部計	150	600

#### イ 学則変更(収容定員変更)の必要性

本学においては、入学志願者の動向、進路実績等を踏まえ、2017年度にも学部全体の収容定員を変えずに、人文学科及び心理臨床学科の入学定員・収容定員を変更するなど、学生確保に努めてきたところである。

(表 2) 志願者数・入学者数の推移(2016年度~2022年度選抜)※学部・学科等名カッコ内は入学定員を示す。

	,	人文学和	<b></b>		Jア・/ ツシュ専		J. J	ども専	攻	心理	里臨床勻	<b></b> 科
年度	志願者数	入学者数	志願倍率	志願者数	入学者数	志願倍率	志願者数	入学者数	志願倍率	志願者数	入学者数	志願倍率
2016	271	87	3. 61	99	42	2.82	172	45	4. 3	240	79	3. 2
2017	235	110	2.76	83	45	2. 37	152	65	3. 04	175	75	2. 69
2018	303	108	3. 56	101	44	2.88	192	64	3. 84	191	73	2. 93
2019	366	107	4. 3	142	44	4. 05	224	63	4. 48	191	84	2. 93
2020	282	95	3. 31	109	44	3. 11	187	51	3. 74	182	64	2.8
2021	244	94	2.87	72	38	2.05	172	56	3. 44	181	66	2. 78
2022	184	102	2. 16	59	37	1.68	125	66	2. 5	133	85	2. 04

- ※入学定員 2016 まで 人文学科 75 (キャリア・インク\*リッシュ専攻 35、こども専攻 40)、心理臨床学科 75 入学定員 2017 以降 人文学科 85 (キャリア・インク\*リッシュ専攻 35、こども専攻 50)、心理臨床学科 65
- ※入学定員を変更した 2017 年度以降、6 年間の平均志願倍率は人文学科全体 (3.16)、キャリア・イング リッシュ専攻 (2.69)、こども専攻 (3.50)、心理臨床学科 (2.69) となり、平均志願倍率がある程度平 準化され、高校生のニーズ等にマッチした変更を行うことができたと考える一方、2022 年度において 志願者が大きく減少している。
- ※こども専攻においては、志願時に保育コース、児童教育コースの志望状況を記入させており、下表の とおり志望状況が偏っている状況にあるため、改善が必要な状況にある。

#### (表3) こども専攻各コースの希望状況

志願者のコース 希望状況	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
保育コース	63	74	66	66	60	39
児童教育コース	89	118	158	121	112	86

表 2、表 3 のとおり、近年の志願状況、とりわけ 2022 年度入学者選抜の志願者数に鑑み、今後加速する少子化に対応するよう、本学人文学部における近年の入学志願者の動向及び進路実績、免許・資格のニーズ等を踏まえ、本学の強みである英語能力を活かした人材、学校教諭・保育士及び心理職・福祉職の養成を、特色である「少人数教育」の下、学修者本位の教育の実現を目指して、次のとおり再編等を行う(再編の概要は、別添資料 1 のとおり)。

- ・2022 年度から義務化された「教職課程の自己点検・評価」を効率的に行うため、心理臨床 学科において開設していた「特別支援学校教諭」の養成機能を人文学科に集約し、それに 合わせて心理臨床学科の定員の一部を人文学科に移行する。
  - 心理臨床学科は、公認心理師養成、精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー等の心理職・福祉職の養成に特化した組織とする。
- ・2022 年度の教育職員免許法の改正に連動して、こども専攻を「保育・幼児教育専攻」と「児童教育専攻」の2専攻とし、幼稚園教諭、小学校教諭及び特別支援学校教諭の養成機能の強化を図る。
- ・学科・専攻ごとに副専攻を準備することで、学内外のステークホルダー(志願者・在学生、 保護者、産業界等)にわかりやすい学科・専攻再編とし、取得可能な資格等の開発を行う。
- ・共通教育の実施方針の見直しにより、他大学との連携によるAI・データサイエンス教育の実施、地域ニーズの把握・地元理解を深める科目の開設など、共通教育の充実を図る。

#### ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

入学定員及び収容定員を変更する人文学科こども専攻及び心理臨床学科を中心に教育課程等の変更内容を説明する。

#### (ア) 教育課程の変更内容

a 保育・幼児教育専攻及び児童教育専攻

従来の人文学科こども専攻を「教職課程の自己点検・評価」を効率的に行うなどの理由から、保育・幼児教育専攻、児童教育専攻の2専攻とする。

#### 【保育・幼児教育専攻】

保育・幼児教育専攻においては、幼稚園教諭及び保育士を養成するためのカリキュラムに加え、以下の保育現場で求められる専門性(ルーテル!プラスワン)を蓄え、グローカルに羽ばたける人材の育成を、子育て支援フィールドワーク、保育ソーシャルワーク論等の専門教育科目の新設、異文化体験学修等の共通教育科目との接続、付属施設の黒髪乳児保育園、保育ソーシャルワーク研究所との有機的連携により図る。

- ・保育実践(保育現場で求められる実技系のスキルアップを目指す)
- ・保育文化(海外の保育や日本の外国人子育て家庭への援助に必要な知識と技能を学ぶ)

- ・保育心理(子どもの発達援助に求められる心理、援助技法を学ぶ)
- ・保育ソーシャルワーク(子育て支援、発達課題を抱えた子ども支援、保護者支援の方法を学ぶ)

#### 【児童教育専攻】

児童教育専攻においては、小学校教職課程に加え特別支援学校教職課程を置き、以下の とおり教育課程を編成する。また、両方の免許取得を希望する者が双方の学修を効果的に 行うことができるよう、カリキュラムの改正及び免許取得に必要な単位数の整理を行う。

- ・小学校 免許取得のための最低修得単位数 82 単位→60 単位
- ・特別支援学校 免許取得のための最低修得単位数 35 単位→29 単位

#### <小学校教諭一種免許状>

児童教育専攻における小一種免は、こどもに寄り添う教師、実践力のある教員の育成を目標として、発達障害支援・不登校支援・保護者対応力・連携力を身に付けるよう小学校教諭養成課程を設置する。

- 1) 児童・生徒一人一人の良さと可能性を伸ばす高度な教育技術及びコミュニケーション力を持つ教員養成の必要性を受けた教職カリキュラムの構築(社会ニーズ)
- 2) 各教科教育の高度な指導技術の習得と個に対応する細やかな特別支援教育指導技術を融合した教員養成の確立(児童教育専攻の強み)
- 3) 地域を理解し、国際的な視野を持って、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びを 追求する教員養成課程の構築(教育の質保証)
- 4) 実践的な ICT 教育による教員養成と多様性のある社会の実態に対応したカリキュラム (授業科目等) の構築 (自己点検・評価の義務)

<特別支援学校一種免許状(知・肢・病)>

児童教育専攻における特支一種免(知・肢・病)は、こどもに寄り添う教師、実践力の ある教員の育成を目標として、発達障害支援・不登校支援・保護者対応力・連携力を身 に付けるよう特別支援学校教諭養成課程を設置する。

- 1) さまざまな教育課題へ対応するために必要な教育を実践できる教員養成 (多様な教育ニーズへの対応)
- 2) 障がいのある児童生徒の支援ニーズに対応できる教員養成 (通常学級での細やかで丁寧な指導増、特別支援学校・学級及び通級による指導教室 の設置増)
- 3) 社会人及び障がいのある学生の受入れ枠の拡充による多様な教員養成 (ダイバーシティへの対応)

#### b 心理臨床学科

高等学校教諭一種免許状(公民)及び特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)を取下げ、公認心理師、精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー等の心理職・福祉職の養成に特化するため、教職に関する科目は削除する。なお、教職に関する科目以外の既存の科目を統合・整理し、新たに「社会調査士」、「認定心理士(心理調査)」、「准学校心理士」の学則変更の趣旨-4-

資格を取得できるようカリキュラムの改正を行う。

c この他、収容定員変更及び組織再編に伴い、人文学部全体として別添資料2のとおり3つのポリシーを改正し、共通教育科目の充実、学科・専攻の枠を越えた横断的な学びを推進するよう副専攻を設置する。

<共通教育科目:主に以下の3点を充実させる>

- ・地元理解を深める科目、英語・グローバル関連科目、AI・データサイエンス科目 <副専攻>
- ・学科・専攻の枠を越えた横断的な学びを推進し、専門教育のさらなる深化を目指す。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

a 人文学科保育・幼児教育専攻及び児童教育専攻

こども専攻においては、小学校及び幼稚園教職課程、保育士養成課程を置き、小学校教諭 養成を履修モデルとする児童教育コース、幼稚園教諭及び保育士養成を履修モデルとする保 育コースに分け、それぞれのコースで履修指導を行っていた。

2023 年度以降は、保育・幼児教育学専攻、児童教育専攻それぞれに入学定員を定め、各専攻においてカリキュラム編成、履修指導を行う。履修指導は各年度初めのオリエンテーション時に行い、各種相談については、教職・保育支援センターに配置の2名の教員、専任教員によるクラスアドバイザー(以下アドバイザー)及び教務課が対応する。なお、「教職・保育支援センター」においては、教職課程を履修する学生への履修指導、教育実習、教員採用試験等に関する資料の提供(閲覧・貸出)及び自習スペースの提供を行っている。

小学校及び特別支援学校教職課程を置く児童教育専攻においては、(ア)で述べたとおり2つの免許取得希望者の履修修得単位数の見直しを行っており、教務課が適切に履修指導を行うものとする。

- ・小学校 免許取得のための最低修得単位数 82 単位→60 単位
- ・特別支援学校 免許取得のための最低修得単位数 35 単位→29 単位

#### b 心理臨床学科

心理臨床学科においては、心理学、ソーシャルワーク、心理・社会調査の基礎を学ぶため、1・2年次においては心理学と精神保健福祉学の導入科目を必修科目として修得させる。その後、各学生が専門分野への理解を深めながら自分の興味関心にあったコースをゆるやかに選択できるよう、レイト・スペシャライゼーションの形態を取る。

<履修モデルとして、以下の3つのコースを置く>

- ○心理学コース:心理的支援の方法だけでなく、有効な支援につなげる方法や他職種との連携のあり方やスキルを修得して、それを多様な現場で活かせる心理士 (公認心理師)
- ○精神保健福祉コース:現代の社会福祉的課題の解決を前提としながら、多様な現場で起きているクライエントひとりひとりの心の問題を社会との関係で解釈して心の回復に導くソーシャルワーカー (精神保健福祉士)

○人間科学コース:人を心理学や福祉の観点から総合的に理解し、人間の心理や社会動向を 定量的・定性的に分析して適切に発信することで問題解決に導くことのでき る地域・産業・企業に根ざした人(社会調査士・公認心理師(心理調査))

履修指導は各年度初めのオリエンテーション時に行い、各種相談については、専任教員に よるアドバイザー及び教務課が対応する。

#### (ウ) 教員組織の変更内容について

専任教員については、下表のとおり、大学設置基準第13条別表第1及び別表第2の定め 以上の必要専任教員を配置し、併せて教職課程認定基準を満たすものとする。

(2022年4月現在)

(2023年4月以降)

学科・専攻	収容定員	専任教員数	内教授数	学科・専攻	収容定員	専任教員数	内教授数
人文学科	340	<u>23</u>	<u>10</u>	人文学科	400	<u>26</u>	<u>10</u>
心理臨床学科	<u>260</u>	<u>14</u>	<u>6</u>	心理臨床学科	200	<u>11</u>	<u>4</u>
人文学部計	600	37	16	人文学部計	600	37	14

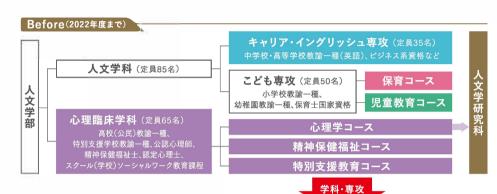
#### (エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

大学全体の収容定員の変更を伴うものでないため、施設・設備の変更は行わない。 なお、2023年度以降の授業時間割イメージのとおりであり、教育課程変更後の授業実施 に支障はない。(別添資料3:時間割イメージ) 学科 · 専攻再編説明資料

# 2023年度の学科・専攻再編により、

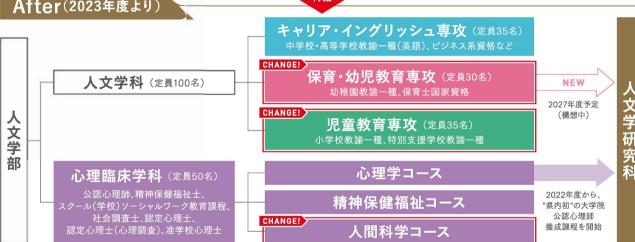
## 九州ルーテル学院大学の教育・研究環境がさらに充実!

人文学部における近年の入学志願者の動向や進路実績、資格・免許のニーズなどを踏まえ、2023年4月より 学科・専攻を再編します。本学の特色である「少人数教育」の下で教育内容のさらなる充実を図り、現代的で専 門性の高い人材へと成長できる教育・研究環境を整えます。



「保育コース」は「保育・幼児教育 専攻 | に、「児童教育コース」は「児 **童教育専攻**」にそれぞれ変更しま す。また、これまでの「心理臨床学 科 特別支援教育コース」は教員養 成の強化を図るため「人文学科 児童教育専攻」へと移ります。さ らに、新たに心理臨床学科に「人 間科学コース」を設置します。

## After(2023年度より)



## 再編後のポイント

#### 時代に合わせた共通教育科目の充実

専門教育を学ぶ上で、また社会に出てからも必要とさ れるジェネリック・スキル(汎用性の高い知識・技能のこ と)を身につけてから専門教育に移行する「レイト・スペ シャライゼーション\*1」を特に心理臨床学科では積極的 に導入します。

地元理解を深める科目の充実

英語・グローバル関連科目の充実

AI・データサイエンス教育の実施

※1 入学時に専門分野を決定せず、入学後一定のリベラルアーツ教育の後に 専門分野を決定するカリキュラム。

#### 副専攻の新設

学科・専攻の枠を越えた横断的な学びを推進し、専門教育のさらなる深化を 月指します。

### キャリア・イングリッシュ 専攻

児童教育副専攻を選択し、小学校 での指導力を高める

## 保育·幼児教育専攻

特別支援教育副専攻を選択し、 支援を要する子どもに対する保育 力を高める

#### 児童教育専攻

早期革語教育副恵政を選択し 小学校英語教育の実践力を高める

#### 心理臨床学科

児童教育副専攻を選択し、スクー ルカウンセラーやスクールソーシャ ルワーカーを目指す学生の実践力

※時間割・学生本人の履修状況により、副専攻の履修ができない場合があります。

# 学科・専攻再編で、各学科・専攻はこう変わる! //

## キャリア・イングリッシュ専攻(定員35名)

グローバルビジネス

課題解決型プロジェクト

中高英語教員と小学校英語指導者資格

## アクティブラーニングに基づく学びの強化

専攻専任の半数以上が外国人教員。 英語と異文化理解教育の充実

少人数教育を通して国際社会に通用する英語力と異文化理解力を養います。 地元企業やグローバル企業から招く多職種の外部講師による授業を通して、

国内外で通用するキャリアを学びます。

企業や行政と連携した複数回の課題解決型インターンシップで、 即戦力となる社会人基礎力を身につけます。

手厚い支援で教員採用試験合格と

小学校英語指導者資格(J-SHINE)の取得を目指します。

取得できる(目指せる)資格・免許》中学校・高等学校教諭一種(英語)、小学校英語指導者資格(J-SHINE)、ビジネス系の資格など

### 保育·幼児教育専攻 (定員30名)

## 「ルーテル!プラスワン」を身につける(保育現場で求められる専門性)

保育現場で求められる実践的なスキルの向上を目指します。

海外での体験学習を通じて、海外の保育方法や外国人家庭の援助について学びます。

子どもの発達援助に必要な子どもの心理・援助技法を学びます。

子育て支援、保護者支援、発達に課題を抱えた子どもの支援について学びます。

取得できる(目指せる)資格・免許 》 幼稚園教諭一種、保育士国家資格、准学校心理士\*3

### 児童教育専攻(定員35名)

## 「小学校教育 | と 「特別支援教育 | に特化

教育課題に対応 発達障害支援やICT教育など、教師に必要な現代の教育課題への対応力を身につけることができます

二校種免許取得 4年間で小学校教諭一種と特別支援学校教諭一種免許状のダブル取得を目指せます。

充実したカリキュラム 専門知(理論)と実践知(経験)の両立を図ったカリキュラムにより、即戦力となる学修ができます。 **多様な体験** 教育現場でのインターンシップや先進的学校の視察など、教育に関する多様な体験ができます。

取得できる(目指せる)資格・免許 》 小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)、准学校心理士\*3

## 心理臨床学科(定員50名)

## メンタルヘルスについて、社会・文化とつなげて学ぶ

生物学的・心理学的・社会学的視点から、人間の心と行動への理解を深めます。 ○ 心を元気にする専門職を目指して、心に働きかける知識とスキルを学びます。

メンタルヘルスソーシャルワーク 心の回復を信じる専門職として、人と周囲の環境に働きかける知識とスキルを学びます。

データサイエンス 実験・調査・データ分析・ICT&AI活用を通してリサーチスキルを学びます。

取得できる(目指せる)資格・免許 》 公認心理師\*2、精神保健福祉士、スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程、社会調査士\*3、認定心理士、 認定心理士(心理調査)\*3、准学校心理士\*3

※2 公認心理師は、卒業後に大学院進学または実務経験を経て受験資格を得られます。※3 社会調査十、認定心理十(心理調査)、准学校心理十は新設資格(カリキュラム準備中)となります。 ※再編は予定であり、変更となる場合があります。幼、小、特支免許は再編に伴い申請中。教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

03 Kyushu Lutheran College Kyushu Lutheran College 04

学位授与の方針 (DP)

#### キャリア・イングリッシュ専攻

#### 学位授与の方針 (DP)

- (1) 目標とする修得すべき資質・能力
- ①国際社会や実務で通用する英語の4技能・5領域を修得し、実践的で高度な英語コミュニケーション能力を身に付ける。(「知識・技能」)
- ②英語圏の社会・歴史・文化・言語・文学の各領域への理解を深め、国際的で学際的な視野を持つことができる。(「思考力・判断力・表現力」)
- ③社会の課題を自己に関わる問題として捉え、自国の文化だけでなく異文化も理解・尊重しながら、多様な人々と関わる協働性を身に付ける。(「主体性・多様性・協働性」)
- ④社会の出来事や課題に関心を持ち、我々を取り巻く様々なデータを適切に読み解く力や説明する力を身に付け、目的に応じた適切なデータ分析手法やデータを可視化して意味を理解することができる知識と技能を身に付ける。(「知識・技能」)
- ⑤大学で獲得した知識やスキルを活かしながら、必要な情報を収集・分析し、自ら課題を発見して解決策を提示することができる。(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」)

#### (2) 学位授与条件

卒業に必要な所定の単位を取得して上記の資質・能力を修得した 学生に学位を授与します。

#### 教育課程編成・実施の方針 (CP)

- (1) 教育課程編成
- ①グローバルにも活かせる英語力とビジネスリテラシー

高度な英語運用能力とグローバルな視野を持った学生を育成するために、少人数の習熟度別英語クラスを編成し、1、2年次では英語の4技能・5領域をバランスよく伸ばすために週2~3回の集中的な授業を行います。また、同時に英米社会を幅広く学ぶ科目やビジネスに関する理解と基礎知識に加え、我々の周りに溢れる様々なデータを適切に分析し可視化するスキルを学ぶためのデータサイエンス関連科目も開設します。3年次からは、少人数ゼミと並行し、専攻内の2つのコースと関連する、より専門的で高度な科目群を開設し、学生の専門的知識やスキルを育みます。

代表的な科目:「Advanced Communication English I~IV」「Communication English I~IV」「リーディング&ライティング演習 I~IV」「グローバルビジネス I~IV」「エアライン・ツーリズム講座」「データサイエンス応用」等

#### ②知識の実践と体験学修

国内や海外の様々な出来事や動向に関心を持ったグローバル 人材になるためには、修得した実践的な英語運用能力、異文化 や社会についての知識、国内外のビジネスについての知識を実 際の場面で実践することが必要です。さらに高度な英語コミュ ニケーション科目やビジネス系の科目、データサイエンス関連 科目などで英語やビジネス、データサイエンススキルを磨き、 企業等でのインターンシップ、小学校英語活動、教育実習、教 育現場体験等の様々な体験学修を通じて知識と実践力の融合

### 保育,幼児教育専攻

#### 学位授与の方針 (DP)

- (1) 目標とする修得すべき資質・能力
- ①保育・幼児教育の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる(「知識・技能」)
- ②保育・幼児教育のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる(「知識・技能」)
- ③保育・幼児教育の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる (「思考力・判断力」)
- ④他者との協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる(「思考力・判断力」)
- ⑤多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、乳幼児理解の視点を活かしてアプローチすることができる(「主体性・多様性・協働性」)
- ⑥保育・幼児教育に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる(「主体性・多様性・協働性」)

#### (2) 学位授与条件

同左

#### 教育課程編成・実施の方針 (CP)

- (1) 教育課程編成
- ①保育・幼児教育の専門性と人間性

保育・幼児教育に携わる者の倫理観、専門職としてのモラル・人間性を培うために、1年次より人格形成のための講義を計画的に取り入れ、保育者としての力量を高めます。また、1~4年次生の教科を関連させ、学びの系統性を踏まえ、総合的な学修力を身に付けます。代表的な科目:1年次「キリスト教 I・II」、「哲学」、「教育原論」、2年次「保育原理」、「キリスト教と倫理」、3年次「キリスト教保育」、「キリスト教と文学」

②保育・幼児教育における理論と実践の融合

大学で学んだ理論を実践に結びつける教科統合型の総合的な力を育成することにより、実習の質と内容の充実を図りながら、理論と実際を結び付ける実践力の育成を目指します。2年次以降に始まる保育実習、幼稚園教育実習前に関連科目を配置し、これまでの学びを基に、保育の実際についての理解を深めるとともに、指導案作成、模擬保育等を通して実践的な力を身に付けます。代表的な科目:1年次「保育内容(総論)」「こどもと言葉」「こどもと表現 I・II」、2年次「保育実習指導 I」「ルーテル系幼稚園等現場体験学修」、「保育実習 II」、3年次「保育実習指導 II」「幼稚園教育実習指導 I」「幼稚園教育実習指導 I」「幼稚園教育実習 II」、4年次「子育て支援フィールドワーク」「異文化体験学修」等

③乳幼児理解と技能教科の充実・強化

乳幼児理解と保育・幼児教育に必要な表現(音楽・造形・身体・ 環境構成等)の基本的な知識と技能の向上を深めます。代表的

## 児童教育専攻

- (1) 目標とする修得すべき資質・能力
- ①教育の基本、学校教育や学習指導のあり方を理解し、児童等の 多様な教育的ニーズに応じた適切な配慮や指導を行うための知 識等を身につけ、一人一人の児童等のよさや可能性を伸ばすこ とができる。(「知識・技能」)
- ②指導に関する基本的な技能を身に付けると共に、児童等の実態を多面的に把握するために、様々な情報を効果的に活用するスキルを生かしながら、適切に児童等を指導することができる。 (「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」)
- ③教育者としての使命・責任を理解し、児童等の将来や社会のために、チーム学校の構成員として他者と協働し、課題の解決に取り組むことができる。(「知識・技能」「主体性・多様性・協働性」)
- ④多くの実習やボランティア活動等を通して得られた経験を統合し、地域や児童等の多様な実態に相応しい指導計画を創造し、持続可能な社会の担い手を育成することができる。(「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」)

#### (2) 学位授与条件

同左

#### 教育課程編成・実施の方針 (CP)

- (1) 教育課程編成
- ①2つの教員免許状カリキュラムの配置と取得

小学校教諭一種免許状を取得できるカリキュラムの配置を基盤として、これを基礎免許状とした特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室の教諭を目指す特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)を取得できるカリキュラムを配置します。

②4年間を貫く教師力向上のための体験及び実習

初年次から4年間を通して地域の多様な教育現場を知り、学校教育の実際から指導・支援についての理解を深め、実践力を身に付けるために、地域の学校の協力のもと、さまざまな現場体験や実習(「小学校教育実習」、「特別支援学校教育実習」等)を行う機会を各学年において配置し、小学校及び特別支援学校の教師としての総合的な資質向上を目指します。

- ③確かな児童理解に基づいた指導力を育成する授業科目 いじめや不登校等、多様化する教育課題に対応できる実践的指 導力を育成するため、児童理解に基づく児童等への指導、キャ リア教育及び教育相談等の理論及び実践に関する科目を配置 します。
- ④小学校教師としての指導力を高めるための授業科目の配置の工 夫

各教科について小学校教諭一種免許状に位置づけられた科目を教育実習の授業実践につながるよう初年次から3年次までの教育実習前に関連科目を配置し、教科内容の理解を深めると共に、指導案の作成、模擬授業等により、ICT等を活用した実

## 学位授与の方針 (DP)

- (1) 目標とする修得すべき資質・能力
- ①人間理解・共感・回復力:人を「生物-心理-社会」モデルの視点で理解し、その人がもつ個別性と多様性を尊重することができる。自己理解を深めながら、自己とは異なる他者の苦悩や立場をありのままに理解することができる。そして、他者との関わりを通じて自己の心や感情を受けとめ、しなやかな心を取り戻し、自己に活力を与えることができる(「知識・技能」「主体性・多様性・協働性」)

心理臨床学科

- ②分析・発信力:個人と社会の視点から、多様な手法を通して現象を調査・分析・考察し、発見された課題とその解決方法を適切に発信することができる(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」)
- ③対応・判断力:他者との交流による学びや社会・世界動向を通して、現象を熟考・整理して課題を評価し、多様なアプローチを検討することができる(「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」)
- ④倫理観:自己及び他者の基本的人権を尊重し、他者の利益と幸福に貢献することができる(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」)
- (2) 学位授与条件

同た

#### 教育課程編成・実施の方針 (CP)

- (1) 教育課程編成
- ①共通教育では、基本的に人・社会・自然科学分野の科目を幅広く学びます。さらに、心理学やソーシャルワークの専門的理解の土台を築くことを目指すため、心の理解、障害の理解、社会福祉に関係する制度や法律などに関わる科目、対人援助専門職に相応しい姿勢・態度を培う科目を用意しています。例えば、「人間と障害」、「ソーシャルワーク論」、「法学」、「人権論」などです。
- ②専門教育では心理学とソーシャルワークの基本的な考え方を身につけてもらうため、全員に 1・2年次の心理学と精神保健福祉学の導入科目を必修としています。必修科目「心理臨床学の基礎」では、教員の研究・実践活動、公認心理師・精神保健福祉士として働いている卒業生、その他一般企業に就職している卒業生の講話を聴く機会を設け、コースや進路の選択を後押ししています。また、学生が心の健康を保持していけるように、学生全員が「認知行動療法」という科目でストレス対処の技法を学びます。専門分野への理解を深めながら自分の興味関心にあったコースを 2 年次後期に選択する制度をとっています。(レイト・スペシャライゼーション)。
- ③心理学コースの専門教育は、公認心理師の資格取得に必要な科目を履修・取得することを目標としています。医療・福祉・教育・司法・産業領域における心理学の各論の他「心理的アセスメント」や「心理学的支援法」などで心の健康や支援のあり方を学修します。これらを基本として「心理演習」で心理的支援が必要な方を支援につなぐ方法や他職種との連携のあり方や技

を図ります。

代表的な科目:「スピーチ&ディベート I & Ⅱ」「ビジネス・ イングリッシュ I & II 」「国際ビジネス論」「企業経営論」「プ ロジェクトデザインⅠ&Ⅱ」「データ解析演習」「プログラミ ング応用」「小学校英語フィールドワーク」等

#### ③多様性の理解と表現する力

グローバル化が進む現代では、異なった価値観や海外の文化に 対して関心と理解を持ち、自己の意見を積極的に発言・発信で きる力が必要となります。また3、4年次では、それまでに身に つけた専門知識やスキルを活かして、議論したり表現したりす る双方向のコミュニケーションを高めるための授業や、学生自 らが発見したテーマや課題について研究し、成果をプレゼンテ ーションできるようなゼミを行います。代表的な科目:「異文化 理解 I & II 」「Global Issues in English」「Cultural Comparisons」「Advanced English Project」「特別研究」「卒業 研究」等

#### (2) 学修方法

#### ①少人数教育

英語教育において、入学時のプレイスメントにより、学生の英 語力にふさわしいクラス編成を行い、ネイティブ英語教員によ る少人数クラスで英語4技能5領域をバランスよく伸ばしま

その他の専門科目においても、少人数制を活かし、自己や他者 に対する理解を深め、異なる人々と建設的に関わる対人関係ス キルを養います。

#### ②アクティブ・ラーニング

講義形式の授業を通した知識の修得だけでなく、様々なテーマ | ③キャリア教育 についてグループワークやディスカッションを行うことで、互 いに学び合い、視野を広げ、多様性を育み、協働できる力を身 に付けます。また、プレゼンテーションなど発表の場を多く設 け、能動的に学び、自ら発信する力を伸ばします。学生が主体 性を持って授業に参加することで、社会で役立つ様々なライフ スキルも養います。

#### ③体験学修

フィールドワーク:熊本県内での小学校において、アシスタン ト教員として英語指導ボランティア活動を行い、英語指導の実 践的な指導スキルを身につけます。

連携機関における体験学修:ビジネス系の科目において、主に 熊本県内の企業・NPO・行政との連携を活かしたインターンシッ プやサービスラーニングを実施、具体的な課題について学びな がら、社会の仕組みを学びます。

#### ④卒業研究

これまで学修した内容や特別研究での研究成果の集大成とし て卒業研究にまとめます。担当教員の指導を仰ぎながら、先行 研究を踏まえた文研研究、フィールドワークやプロジェクト・

な科目:1年次「器楽Ⅰ・Ⅱ」「保育内容(表現Ⅰ・Ⅱ)」、2年 次「音楽表現 I 」 「保育内容の理解と方法 I・Ⅱ」 「保育内容(健 康)」、3年次「音楽表現Ⅱ」、「保育内容の理解と方法Ⅲ」を設 | 容の工夫 置し、様々な表現方法を学び、実践します。4年次「音楽表現

#### ④研究的視点の醸成

3年次後期から、それまでに身につけた専門知識をもとにし て、学生自らがテーマを設定して取り組むゼミ形式の研究活動 で課題に取り組みます。3年次後期に「特別研究」、4年次に「卒 業研究」を配置し、それらを通して課題を探求し、考察します。

#### (2) 学修方法

#### ①初年次教育

初年次には、「フレッシュマンゼミ」において、ノートの取り方 やレジュメの作成方法などの学修の基本や発表、プレゼンテー ションの仕方等の保育者になったときの基礎について学修し ます。

#### ②基盤教育

保育・幼児教育に携わる者の倫理観・専門職としてのモラル・ 人間性を培うために、1年次より共通教育科目を積極的に履修 し学修します。

保育者に求められる教養や職務を遂行するための基盤を学修 します。すべての科目においてアクティブ・ラーニングを取り 入れ、グループワークやティスカッション等を通して主体的に 学修します。

#### ④卒業研究

4年間の学修の集大成として、自らたてた問いについて文献研 究、調査、事例研究等の研究方法を用いて探求します。その成 果を論文としてまとめ発表します。また、保育・幼児教育専攻 ではその学修内容から研究論文の形式にこだわることなく、そ の他の発表形態でも認められます。

#### ⑤特色ある教育

初年次においては保育者としての「人」としての教養教育を主 とし、保育・幼児教育についての基礎的な学修をします。さら に、3年次より4つのコースの特徴を取り入れた専門教育を配 置し、レイト・スペシャライゼーション型の教育プログラムと して、学生が学びながら選択していくことを可能とします。ま た、国内外でのフィールドワークを通して理論と実践の往還を 目的とした学修をします。

#### 践的な指導力を高められるようにします。

⑤多様なニーズの場での特別支援教育が実践できるための科目内

特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病 弱者) の科目においては、特別支援学校や特別支援学級におけ る教育だけでなく、通常学級に在籍する特別な支援を必要とす る児童等に対する教育が実践できる内容を取り入れます。

⑥児童教育及び特別支援教育に関する課題の探究と考察 3年次後期から、学生の希望により担当者を決め、テーマを設 定して取り組むゼミ形式の研究活動「特別研究」(3年次後期) 及び「卒業研究」(4年次通年)を配置し、児童教育及び特別支 援教育に関する課題を探究し考察します。

#### (2) 学修方法

#### ①初年次教育

初年次には「フレッシュマンゼミ」において、ICT を活用した レポートや図表、プレゼンテーションの作成等の学修の基本や グループワークにおけるコミュニケーション能力を身に付け、 将来教壇に立った際の学級づくりのあり方についても学修し ます。

#### ②基盤教育

社会の様々な諸課題を多面的に把握できる素地を形成するた めに、初年次から共通教育科目を積極的に履修し、人間の文化 的・社会的活動と社会との関わり、心身の健康、人間の多様性、 科学的な考え方に関して学修します。

#### ③キャリア教育

社会人として必要な見識や職務を遂行するために持つべき力 を高め、教師という職業を志向する基盤を学修します。また、 グループワークやディスカッション等を初年次から積極的に 取り入れ、主体的に学び、他者の意見を適切に解釈できる力を 育成すると共に、座学による学修と臨床的見地を往還させ、教 師の社会的意義を理解します。

#### ④卒業研究

文献研究、調査・実験研究、事例研究等の実証的な研究手法を 用い、人間と社会における多様な現象について自ら立てた問い を探究し、その成果を論文として取りまとめ、発表します。こ れらを通じて、初年次から4年次までの学修で培った問題認識・ 解決能力、科学的手法を用いた分析力、論理的思考力、プレゼ ンテーション能力、他者と協働する力等を身に付けます。

#### ⑤専門教育

初年次には学校教育の基礎的理解に関する科目と児童教育の 基礎となる小学校教科に関する科目について学修します。2年

術等を学び、「心理実習」を通して多様な場面で活かせる実践力 を養います。

④人間科学コースでは、自分の興味・関心・ニーズにあわせて、 人間の総合理解につながる学びを自由にカスタマイズできま す。一般企業への就職や心理・福祉の研究者を目指す学生のた めに、人間の心理や社会動向を定量的に計測する心理社会調査 やデータ解析関連科目(例えば、「心理学研究法」や「心理学統 計法」等)を系統的に配置し、その過程で社会調査士や認定心 理士(心理調査)資格も取得できます。そして「人間科学研究 実習」では、人間とその心に関する調査を企画して定量的・定 性的に分析した成果を内外に報告するまでを体験して人間の持 つ可能性と多様性への理解を深めます。

⑤精神保健福祉コースは、精神保健福祉士資格取得に必要な科目 を履修・修得することを目標としています。資格取得に必要な 科目(例えば、「精神保健福祉の原理」や「ソーシャルワーク実 習」等)を通して、ソーシャルワークの視点で現代の精神保健 福祉の課題とその解決方向について学び、ひとりひとりの心の 健康を社会との関係として解釈し、心の健康を取り戻していく ための知識と実践力を身につけることができます。また、精神 保健福祉士受験資格だけでなく、それを前提としたスクールソ ーシャルワーカーになるための科目(例えば、「学校ソーシャル ワーク論」や「学校ソーシャルワーク実習」等)も用意し、医 療・福祉・教育・司法・産業領域、および地域で幅広く活躍で きる精神保健福祉士の養成を目指しています。

#### (2) 学修方法

①知識・理解を深めるための講義:従来の講義だけでなく、アク ティブ・ラーニングを導入し、学生と教員・学生同士が互いを 活かし合える環境をつくり知識と理解を深めていきます。また、 困難と付き合い地域で生活している障がいのある方や支援して いる方の声を聞き、ともに活動し語り合うことを通して体験と 知識をつなぐ基本的姿勢を身に付けていきます。

②分析・発信力を高めるための実験・実習:心と社会との関係に 基づく様々な現象の意味とその根拠を、心理テストや行動観察・ 統計ソフトを使用した分析などの実験・実習を通して、心理学 の基礎的技能を修得し、データ収集・分析・評価の方法と、そ の結果を考察し発信する研究の方法について学びます。

③対応・判断力を高めるための演習・実習:多様な人々のニーズ を深く理解し対応する技能(スキル)をカウンセラーやソーシ ャルワーカーとして豊富な経験をもつ教員とともに実践的に高 めていきます。また体験学修や心理・精神保健福祉の実習、他 大学との交流や自治体等との連携・協力など様々な場所でのフ ィールドワークを通じて、現場や地域・そこにいる人々から学 びます。

④卒業研究:学修の集大成として卒業研究を行います。文献研究、 調査・実験研究、事例研究等の実証的な研究手法を用い、人間 と社会における多様な現象について自ら立てた問いへの答えを 探求し、その成果を論文やプレゼンテーションで発表します。 これらの過程を通じて、学科の専門教育で培ったデータ収集力、 科学的分析力、論理的思考力、プレゼンテーション力、他者と 協働する力などを総合的に伸長します。

次には小学校教科の指導法を学び、教育方法等に関する基本的

知識を身に付けます。さらに特別な支援を必要とする児童等の

心理・生理・病理に関する科目を学び、多様な教育的ニーズに

応じた指導・支援についての知識・技能を身に付けます。3年 次には ICT の具体的な活用、集団マネジメント力及び教育諸課

題への対応等について学びを深めます。さらに、特別な支援を 必要とする児童等の教育課程・指導法を学び、特別支援教育の 視点に立った指導・支援を展開できる力を身に付け、小学校で の教育実習を行います。4年次には特別支援学校での教育実習 を通して、個別の教育支援計画等に基づく指導・支援の重要性 やその多様な教育方法について学修します。さらに学校現場を 知り、小学校・特別支援学校等教師としての資質を高めるため、

第一に、特別な支援が必要な児童等に適切な指導・支援ができ る教師を養成するために「小学校教諭一種免許状に関する科目 と特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・

第二に、4年間を通し、地域の小学校または特別支援学校での 教育・支援活動に取り組み、日常の授業準備、指導や校務等を 含む学校生活の流れや対応について学修します。特に教師が一 人一人の児童等の実態を適切に把握し、授業のユニバーサルデ ザイン化をはじめとする多様な手立てを講じながら教育活動

第三に、先進的学校の視察や教育行政担当者等による教育の実 際に関する講話等を通して、グローバルな教育現場に対応でき る国際理解力や地域の児童教育の実際や教育課題を総合的・客 観的に把握する力を身に付けると共に、本学卒業生の現職教員 との交流を通して卒業生との縦のつながりを強固にし、ネット

病弱者) に関する科目」の履修を推奨します。

を展開していることを体感・体得します。

ワークを構築・活用した教育力を身に付けます。

ラーニングなどを通じて得た成果に基づく事例研究などを目 本語または英語で卒業研究にまとめていきます。研究成果は卒 業研究発表会で発表します。これらの過程を通じて、社会で必 要なデータ収集・分析力、論理的思考力、プレゼンテーション 力の向上を目指します。

(3) 学修課程・成果の評価

上記の学修方法に基づいた教育における学修過程・成果は、以 同左 下のとおり評価します。

- ①各科目の成績評価:科目の到達目標に照らして学生の学修過程・ 成果を「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・ 態度」の観点から評価したものを成績とし、優れた成績に集中 しないよう厳格な評価を実施します。
- ②科目と学位授与方針での修得目標である資質・能力との関係を 明示し、履修した科目の成績評価に基づいてその各資質・能力 の学修到達度を可視化します。
- ③本学の修学ポートフォリオで学位授与方針に定めた資質・能力 の学修到達度やその他の学修成果記録をもとに学生が資質・能 力を自己評価・点検したり担当教員が面談で履修・学修指導を したりして、学生の主体的な学びを促します。
- ④卒業研究は、授業の参加と研究への取り組み、卒業論文(課題 設定・資料やデータ収集と分析・論文構成とテーマの考察、論 理性、客観性・引用や参考文献と著作権法の遵守など)と卒業 研究発表 (プレゼンテーション) を評価し、評価観点別に到達 度を基準化したルーブリックを用いて評価します。

#### 入学者受入れの方針 (AP)

(1) 求める学生像:

上記の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針を理解し、

(3) 学修課程・成果の評価

(3) 学修課程・成果の評価

同左

「教職実践演習」を学びます。

(3) 学修課程・成果の評価

入学者受入れの方針 (AP)

(1) 求める学生像:

同左

入学者受入れの方針 (AP)

(1) 求める学生像: 同左

入学者受入れの方針 (AP)

(1) 求める学生像:

同左

### 九州ルーテル学院大学 各学科・専攻の3つのポリシー

- 以下のような意欲・態度・資質を備えた人を学生として受け入れます。
- ①英語に興味があり、英語力を伸ばしたい人、英語力やデータサイエンスの知識を活かした職種に就きたい人
- ②ビジネス分野や持続可能な社会づくりに関心がある人
- ②異文化やグローバルな課題に関心があり、多様な環境で活躍し たい人
- ③学ぶ意欲があり、異なる人々と関わりながら、社会で活躍する ためのライフスキルを身に着けたい人
- ④英語教育(中・高教諭やこども英語教育)に関心がある人
- (2) 入学前までに身につけておくべき力
- ①知識・技能(調査書・学力試験・各種検定資格・面接) 高等学校までに共通して学ぶ教科・科目についてのバランスの とれた幅広い基礎学力。

基礎的な英語力に加え、高度な英語の学びや積極的なコミュニケーションへの意欲。

実用英語検定2級、GTEC for Students 960点〜取得が望ましい。

- ②思考力・判断力・表現力(面接・小論文) グローバルな社会課題に対する関心、多様性への理解と寛容な 姿勢。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(調査書、学校 長推薦書、志願理由書、各種検定資格)
- 自ら考え行動する力、さらに資格や検定等に積極的にチャレン ジする態度。
- ビジネスや持続可能な社会づくりに興味がある。

①子どもと子育て家庭への支援力を持った保育者を目指す人 ②保育・幼児教育に興味・関心をもって深く学び、専門的知識・ 技能を身につけ、将来保育者として活躍したい思いを持つ人 ③子どもを取り巻く世界や文化、保育・幼児教育に関心を持ちそ の成長を支援したい人

#### (2) 入学前までに身につけておくべき力

#### ①知識・技能

高等学校までに共通して学ぶ教科・科目についてのバランスの とれた幅広い基礎学力と基本的生活習慣

②思考力·判断力·表現力

聴く、話す、読む、書く力、他者との良好な関係を構築するためのコミュニケーション能力

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

音楽等の文化活動 ⇒面接、調査書

地域のボランティア活動への参加

①優れた洞察力と豊かな個性・行動力を持った人

- ②教師を目指す上で十分な基礎学力を身に付けている人
- ③知識や技能を活用して課題を探究し、その解決に向けて考察できる人
- ④児童等の成長を喜び、将来、教師として児童等の教育に関わり たいという強い意志を持っている人
- ⑤豊かなコミュニケーション能力を持ち、多様な人々と協働して 様々な問題に積極的に取り組める人
- ⑥教育に対する熱意と使命感を持っている人
- (2) 入学前までに身につけておくべき力
- ①知識·技能(調査書、学力試験)

高等学校までに共通して学ぶ教科・科目についてのバランスの とれた幅広い基礎学力と基本的生活習慣を身につけているこ と。

②思考力・判断力・表現力(面接、小論文)

社会に幅広い関心を持ち、主体的に考えようとする態度や聴く、話す、読む、書く力、他者との良好な関係を構築するためのコミュニケーション力を身につけていること。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(調査書、学校 長推薦書、志願理由書)

自分の考えを持ち、様々な活動へ積極的に参加していること。

- ①人の心と行動、人と社会との関係について関心を持っている人 ②ひとりひとりがかけがえのない存在であるという考えに基づ き、人間の尊厳に対して強い関心を持つ人
- ③心の問題・精神保健福祉・スクールソーシャルワーク・社会問題に関心を持っている人

#### (2) 入学前までに身につけておくべき力

#### ①知識・技能

高等学校までに共通して学ぶ教科・科目についてのバランスの とれた幅広い基礎学力 (調査書・学力試験で評価)

②思考力・判断力・表現力

自分の考えを適切に主張するとともに他者の意見に耳を傾けて共感する力 (面接で評価)・文章を読み解く力と論理的に表現する力 (面接・小論文で評価)

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ熊度

人々と社会の可能性についてリカバリーとエンパワーメント の視点で関心をもち、多様な幸福を理解するとともに人々と協 調し自らを活かす実践力(調査書(ボランティア参加を得点 化)・面接での評価)

				1					, I, III I			1/\.	/ \				, 13.	,,,,	1		+ 哩 □	1			_					_
	#8		月曜日		T	1	柑田	·	火曜日			I	ĦΒ	ı					ĦΒ	1	木曜日				ĦΒ	1	金曜日	1		
	間	区分	科目名	担当者	教 室	クラス	期間	区分	科目名	担当者	教 室	クラス	期間	区分	科目名	担当者	教室	クラス	期間	区分	科目名	担当者	教 室	クラス	間	区分	科目名	担当者	教 室	クラス
	前期	自然·情報』	情報基礎	富士川·富重	情報処理等	置 1H1⋅2业	前期	外国語必	英語I	城戸	2205	1児童必	前期	社会科学選	経済学	山川	1404	1全選	前期	導入教育必	フレッシュマン・ゼミ	学科教員	チャベル、Moodle	1必	前期	人文学系	ライティングメソッド	村田	1401	1全
	前期	保育專選、軟職必	保育内容(表現Ⅱ)	犬童	1301	1H4	前期	外国語必	英語 I	新任	1404	10必	前期	保育専必	こどもと言葉	金戸	2204	1保育必	前期	キャリア専選	Communication EnglishⅢ(週2回)	ウオ-タ-マン	2202	2キャリア	前期	外国語選	英語コミュニケーション I (2コマ)	コール	ECC	1全
	前期	キャリア専選	■ Advanced English CommunicationⅢ(週3回)	P.ベンケ	ECC	2+ャリブ	ア 前期	人文科学選	美術史	犬童	1301	2全選	前期	キャリア専選	マーケティング論	藤井	1405	2キャリア	前期	キャリア専選	Communication EnglishⅢ(週2回)	K.アクストン	2203	2キャリア	前期	自然·情報必	情報活用と情報デザイン	木下·小田	情報処理室	2全
	後期	児童専選	社会	小原	1406	2児童	前期	キャリア専選	Communication EnglishⅢ(週2回)	ウオ-タ-マン	2202	2キャリア	前期	保育専選	こどもの食と栄養	谷村	2202	2保育	前期	キャリア専選	Advanced English CommunicationⅢ(週3回)	P.ベンケ	ECC	2キャリア	前期	保育專選、軟職必修	保育内容(健康)	井﨑	1401	2保育
Ι	前期	心理専選	現代の精神保健の課題と支援I	服部	2204	2心理	前期	キャリア専選	Advanced English CommunicationⅢ(週3回)	P.ベンケ	ECC	2キャリア	前期	保育等必、軟職必信	教職論【幼】	緒方	1301	2保育必	通年	保育専選	保育内容の理解と方法Ⅰ	犬童・水町・三井	4301	2保育	前期	心理専選	障害者·障害児心理学	高野	1406	2C
	前期	キャリア専選	■ スピーチ&ディベート I @	久保田	ELC	3キャリブ	ア前期	キャリア専選	Communication EnglishⅢ(週2回)	K.アクストン	2203	2キャリア	前期	児童専必、軟職必修	教職論【小】	赤井	4301	2児童必	前期	児童専選	算数	赤井	1406	2児童、2T	前期	児童専選、教職必修	生徒指導論(進路指導を含む。)【小中高】	城戸	1406	3児童
限	前期	保育専選	保育ソーシャルワーク論	永野	1404	3保育	前期	保育専選	こどもの健康と安全(4/13~6/8)	赤木	4301	2保育	前期	キャリア専選	! ビジネス・イング リッシュ I	山本	ECC	3キャリア	前期	心理専選	健康·医療心理学	高野	1401	3C	前期	心理専選	精神疾患とその治療 I	有村·一美	1404	3C
	$\vdash$		知的障害教育総論Ⅱ	増本	1401	_	+		知的障害者の心理·生理·病理Ⅱ	河田	1401				社会保障 Ⅰ	川崎	1401		-		英語科教育法Ⅰ	島内	ELC	3T	-					
			心理学研究演習	和田·久崎	-	+	+		神経·生理心理学	和田	4301	_			·	小原			-		幼稚園教育実習I(事前·事後指導)									
	100,000	107 <del>2.4</del> 72	1.027W70X6	THE THE	1100	00	+		プログラミング応用		情報処理室	_	נאכנים	723.704	54 TA F1/A/56	-1-1/1/	1100	->==	227			日刊 水町	77 177 2	OWH						
							H11 797	1177 42	July Jay July m	75 779	月秋处生主	34777																		
	H		 礼拝 10:17~1	0.32			+		· 礼拝 10:17~10	0.32				<u> </u>	 礼拝 10:17~1	0.32			<del>                                     </del>		 礼拝 10:17∼1	0.32					礼拝 10:17~10	1.32		$\vdash$
	計期	外国語必		久保田	2202	1+4170	x 新期	外国語必		T.アクストン	2203	1 但 套 必	新畑	白ी: 体积器	1634 10・17 1 データサイエンス基礎 I		<b>椿叔加</b> 理索	14	新田	七ヵ川フ東選	Communication English I (週2回)	_	2202	1 t שור	台田	从国钰翠	英語コミュニケーション I (2コマ)	コール	ECC	14
					1	_	+					_	-	-																1旧辛心
	$\vdash$	外国語必		キャリア教員		_	+		Communication English I (週2回)			_			英語発音演習 [	J.ベンケ			-		Communication English I (週2回)				<del></del>	児童専必		森	音楽室	1児童必
			英語 I	田中(恵)	1404		+		Communication English I (週2回)		1308	_		児童専選	+	坂本					Advanced English Communication I (週3回)	K.アクストン				自然·情報必			情報処理室	
l _	前期	キャリア専业	⅓ リーディングをライティング演習Ⅲ(週2回)	馬渡	2204	2キャリア必	前期	キャリア専選	Advanced English Communication I (週3回)	K.アクストン	3303	1キャリア	前期	外国語選	国際理解英語	吉井			-		保育内容(表現Ⅱ)	犬童	1301		<b>-</b>	社会科学選		上野	1404	2全選
Ш	前期	保育專選、心理專	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	西	1308	2保育、20	C 後期	児童専選	生活【小】	久保	1301	1児童必	前期	児童専選、軟職必然	体育科教育法	坂下	1406体育館	3児童	前期	自然·情報必	情報基礎	未定	情報処理室	1C3必	前期	キャリア専選	英語文学概論Ⅱ	馬渡	1405	2+vJ7、2T
	前期	児童専選 教職必	* カリキュラム論【小】	岡村	1406	2児童	前期	キャリア専選	英語史	矢冨	1401	2キャリア	前期	保育専選	保育の心理学	金戸憲子	1404	3保育	前期	キャリア専選	英語発音演習I	J.ベンケ	2203	2T	前期	心理専選	発達障害教育総論(教育課程等)	増本	1406	2児童
限	前期	キャリア専選	データ解析演習	久保	情報処理室	室 3キャリブ	ア前期	児童専選、教職必修	家庭科教育法	岩下	1406	2児童	前期	心理専選	社会福祉調査の基礎	未定	2202	3C	前期	児童専必	知的障害者の心理・生理・病理Ⅰ	増本	1406	2児童	前期	心理専選	ソーシャルワークの理論と方法 [	岩永	1401	2C
	後期	心理専選	肢体不自由教育総論	栗原和弘	1405	3児童	前期	保育専選	こどもの保健	赤木	4301	2保育	前期	キャリア専選	Advanced English Project	K.アクストン	3303	4キャリア	前期	保育專選、軟體必修	幼児理解	三井	1404	3保育	前期	児童専選	病弱教育総論	栗原和弘	1308	3児童
	前期	教職必修	英語科教育実習 [	島内	ELC	4T	前期	心理専選	精神保健福祉の原理Ⅰ	名和	1404	2C							前期	心理選	教育·学校心理学(教育相談)	高野	1401	3C	前期	心理専選	精神分析学	古賀	4301	3C
1						1	+		日英語比較	松本	ELC	3キャリア																		
							1		,	,																				
昼休み							+						涌年	キリスト粉罩	↓ ■宗教音楽A(聖歌隊)(週2回)	J.ベンケ	音楽室	1~2全選							涌在	キリスト教選	宗教音楽A(聖歌隊)(週2回)	J.ベンケ	音楽室	1~2全選
至1107	計期	旧套車心	国語【小】	金戸	1404	1児童必	×		スポーツ実技(サッカー)	維士			$\vdash$		Advanced English Communication I (週3回)	_			_	七ヵ川フ東選	グローバルビジネス I	坂根	1/05	クセルリア	_	人文科学選		疋田	1406	1H選
	$\vdash$			1		+	┪ 前期	健康・スポーツ選		緒方	各体育施設	1全選										_	音楽室・		-					
	$\vdash$		こどもと表現Ⅰ	水町	プレイルーム		-		スポーツ実技(卓球)	井﨑				_	社会福祉	永野	4301			保育専必		水町・塩津星子・中村	ピア/室				リーテ・ィング・&ライティング・演習 I (週2回)	演田	4301	1キャリア必
	$\vdash$		熊本地域活動学(8週)	西	1406	_	+		リーテ・イング・&ライティング・演習 I (週2回)	演田	2202	_			保育原理	三井		_	+	_	臨床心理学概論	有村	1404		Н—		リーテ・ィング・&ライティング・演習 I(週2回)	松本ソ	2202	1キャリア必
_		教養コア		久崎·久保	1406	1全必	前期	キャリア専必	リーテ・ィング・&ライティング・演習Ⅲ(週2回)	馬渡	2205	2キャリア必	前期	児童専必、教職必然	知的障害教育総論I	河田	1406	2児童必	前期	保育・児童等心、根職必修	教育心理学【幼小】	緒方	1406	3保育·児童	前期	社会科学必	ボランティア学修論	西	1404	10必
Ш	前期	キャリア教達	ビジネスコミュニケーションa	富士川	情報処理等	2全選	前期	キャリア専必	リーテ・ィング・&ライティング・演習Ⅲ(週2回)	山本	2204	2キャリア必	前期	キャリア専選	Academic Writing I	P.ベンケ	2203	3++17、37	前期	心理専選	心理的アセスメント	石坂	4301	2C	前期	児童専選、教職必修	生活科教育法	久保	1301	2児童
	前期	キャリア専選	異文化理解Ⅰ	坂根	1405	2+ャリブ	ア 前期	保育専選	社会的養護 I	永野	4301	2保育	前期	キャリア専選	国際ビジネス論	石橋	1405	3キャリア	前期	心理専選	司法·犯罪心理学	田口	1301	3C	前期	キャリア専選	United State's History	K.アクストン	ELC	3キャリア
限	前期	保育専選	乳児保育Ⅰ	三井	4301	2保育	前期	キャリア専選	グローバルビジネスⅢ	坂根	1405	3キャリア	前期	心理専選	心理測定法@	久﨑	情報処理室	3C	前期	心理専選	ソーシャルワーク実習指導 Ⅱ	岩永·西·岡田	2205	4C	前期	保育専選	乳児保育Ⅱ	三井	1401	3保育
	34.H0	社会科学	<u> </u>	Wm 4= +#	1401	2H	前期	保育専選	こども家庭支援論	金戸	1401	3保育	前期	心理専選	ソーシャルワーク演習 Ⅱ (専門)	岡田·岩永·西	1308	4C	通年	特支免必	特別支援学校教育実習Ⅰ	栗原・河田・増本	1401	4児童	前期	心理専選	心理測定法 ⓑ	吉村	情報処理室	3C
	前期	心理選	→法学 	岡田行雄	1401	20	通年	児童専選、教職必修	小学校教育実習 I	児童教育専任	1406	3児童、3T	前期	教職	教育相談【幼小中高】	緒方	Moodle、他	4年17保育児童	t						前期	心理専選	学校ソーシャルワーク演習	岩永	2203	4C
	前期	キャリア専選	英語文学講読 I	松岡	1308	3+ャリブ	7 前期	心理専選	精神障害リハビリテーション論	岡田	1404	3C													通年	心理専選	学校ソーシャルワーク実習指導	岩永	2203	4C
			■ スピーチ&ディベート I ⑤	久保田	ELC	_	+		音楽表現Ⅲ		音楽室・プレールーム																			
			グローバル・スタディーズ									. 101.13	前期	人文科学選	基礎の数学	久保	1308	1소强	前期	外国語選	ハングルゴ	虚	1404	1 全選	前期	社会科学必	ボランティア学修論	西	1404	1H必
	$\vdash$		情報表現論	力但	情報処理室	B 11192	前期	健康・スポーツ選	スポーツ失攻(ハハレボール)		各体育施設	1全選	_		保育内容(総論)				-	児童専選		岩下	1406		-		人間と障害	栗原·河田·増本		10必
										井﨑	1405	14.117			-	三井		_	-											
	$\vdash$		保育実習指導Ⅰ	香﨑·永野	_	_	_		基礎英文法	山本	1405		_		教育方法【中高英】	緒方		_	-	外国語選		司馬			<b>├</b>		リーテ・ィング・&ライティング・演習Ⅲ(週2回)	山本	2205	2キャリア必
IV	$\vdash$		発達障害教育総論(心理等)	増本		_	+		公認心理師の職責	古賀	1401	_		_	保育内容(環境)	香﨑			削期	キャリア教選	ビジネスコミュニケーションb	富士川	情報処理室	2全選	<del>                                     </del>		小学校英語	松本ソ	1406	2児童
	$\vdash$		貧困に対する支援	高木		_	_		教職論【中高英】	島内	1301	_			音楽科教育法	志波	2205、音楽室								<del>                                     </del>	_	心理演習I	高野·古賀		_
阽	前期	教職必	教育心理学【中高英】	高野	1301	3+ャリブ	ア前期	自然·情報選	食育論	本田順子	1406	3全選	前期	心理専選	学習·言語心理学	和田	1406	2C							前期	児童専選	聴覚障害教育総論(心理等)	中島	1301	3児童
FA	前期	教職必修	英語科教育法Ⅲ	島内	ELC	4T	前期	キャリア専選	小学校英語フィールドワーク	松本ソ	ECC	3キャリア	前期	キャリア専選	英語通訳演習Ⅰ	松田	1405	3キャリア	1						前期	児童専選	聴覚障害教育総論(教育課程等)	中島	1301	3児童
							通年	保育専選	音楽表現Ⅱ	水町	音楽室・	3保育	前期	心理専選	ソーシャルワークの理論と方法 [ (専門	未定	4301	3C												
1							前期	心理専選	心理学外書講読I	松石	1404	3C	前期	児童専必、教職必修	ICT活用指導論 I	赤井	1308-情報処理室	3児童必												
1																														
	前期	教養コア	熊本地域活動学(8週)	西	1406	1全必	前期	心理専必	心理学概論	和田	1406	1C必	前期	キリスト教必	キリスト教 I	角本	1406	1H必	通年	キリスト教選	宗教音楽B(ハンドベル)	J.ベンケ	チャペル	1~2全選	前期	人文科学選	人間と障害	栗原・河田・増本	4301	1H選
	$\vdash$		データサイエンス概論(8週)	久崎·久保	_	_	+		リーテ・ィング・&ライティング・演習 I (週2回)	松本ソ	4301				⇒キリスト教Ⅱ	崔		_	_		家庭(実習時)				_		教育原論【幼小中高】	岡村	1308	1児童保育キャリア
			プロジェクトデザインⅡ	坂根	_	+	+		教育経営学【中高英】	城戸	1301				音楽表現Ⅰ	水町		_	+		キャリアデザインⅡ	河田			<del>                                     </del>		社会福祉の原理と政策Ⅰ	名和	1404	1C選
	$\vdash$		図画工作科教育法		<del> </del>	+	+		こどもと英語		プレイルーム				教育方法【小】		1301	от	נסכנייו			7-5-44	. 100	~ ± Æ	<del> </del>		レクリエーション論		プレイムール	_
V	$\vdash$			犬童		_	+					_				緒方	情報処理室		$\vdash$						_					_
限			特別活動・総合的な学習の時間の指導【小中高】	小原 古賀·有村·高	4301	_	_		福祉心理学	古賀	1401				国語科教育法	金戸	1401		_						<del>                                     </del>		小学校英語	松本ソ <sub>有村・古質・高野・</sub>	1406	2T
	前期	心理専選	心理実習Ⅲ	野・疋田・田中	1401	4C	+		幼稚園教育実習Ⅰ	香﨑·永野		_			Introducting Japan in English										前期	心理専選	心理実習I	疋田・田中	1405	3C
							前期	心理専選	心理学外書講読Ⅲ	田中(将)	1405	4C	前期	心理専選	精神保健福祉現場体験	西·岩永·岡田	4301	3C												
1						$\perp$																								
																									L					
		+1171 ***	*       田のウ北(一種)	L pp7	Macell																									_
遠		イリスト教徒	世界の宗教(三鷹)	上野	Moodle														-											+
隔	$\vdash \vdash$					-	+						<u> </u>						_						_					<b></b>
																			1											Ш
	前期	保育専選	障害児保育	山田	プレイルーム	2保育	前期	体験学修選	職場体験学修(インターンシップ)	河田	未定	2.3全選	通年	保育専選	保育実習指導I	永野·香﨑	未定	3保育	前期	教職必修	英語科教育実習Ⅱ	島内	未定	4T	通年	心理専選	ソーシャルワーク実習	岩永·西·岡田	未定	4C
集	$\vdash$		産業・組織心理学	平松	未定	+	+		異文化圏体験学修	坂根					保育実習Ⅱ	_			-		幼稚園教育実習Ⅱ	香﨑·永野			_	_	宗教音楽C(オルガン)	J.ベンケ	未定	1.2全選
中	$\vdash$		心理学統計法	久﨑·小手川		_	+		短期異文化圏体験学修	坂根		_			保育実習指導Ⅱ	永野·香﨑			-		心理実習I	有打・古英・東野・ズ田・田中	未定		_		子育て支援フィールドワーク	香崎	未定	4保育
	_		知覚·認知心理学	寺本	未定	+	+		短期異文化圏体験学修A	坂根		_			保育実習指導Ⅲ	永野·金戸					心理実習Ⅲ	古質·有村·高野·	未定	4C	~=+	N O TE	- 13 - WAS 1 141 / /	크레	-INAE	· NV 13
実				1	_	+	+					_				_		_	-	_		疋田-田中		4C	$\vdash$					+
習	泛州	拟拟山顶	熊本地域活動学サービスラーニングサポート	西	1400	∠ 3至達	_		短期異文化圏体験学修B	坂根 多照 委協		_			学校インターンシップⅠ~Ⅳ	坂本			週午	心理导選	学校ソーシャルワーク実習	岩水	未定	40						1
							囲年	休肖専選	保育実習I	水野 香崎	木疋	3保育	週年	秋職関連	介護等体験実習	四・栄原	未定	3	1											

## 授業時間割(再編後の完成年度)後期

		月曜日					火 曜 日						水曜日					木曜日	1			金曜日			
	期間	区分 科目名	担当者	教 室	クラス	期間	区分 科目名	担当者	教 室	クラス	期区	公分	科目名	担当者	教室	クラス	期区分	科目名	担当者	教 室	クラス	期 区分 科目名	担当者	教 室	クラス
		自然·情報必 生活と自然科学	坂本	1406	1全必	181	キャリア専選 応用英文法	山本	1405	1キャリア	IBI	b専選	こども家庭福祉	永野	1401	1保育、30	後期キリスト教必	キリスト教 [	角本	1406	1C必	後期 自然 情報選 情報活用基礎	久保	情報処理室	1キャリア
		児童専選、教職必修 算数科教育法	赤井	1404	_	-	自然·情報選 情報活用基礎	久保	情報処理室		後期 児童			赤井	1404		後期キリスト教必	-	崔	1401		後期 保育専必 こどもと表現Ⅱ	大童	1301	1H4必
	後期	心理専選 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(専門)	赤星	4301	3C	通年	保育専選 器楽Ⅱ	水町	音楽室	1保育	後期 心理	専選		久﨑	1406	1C	後期 キャリア専選	Communication EnglishIV(週2回)	) ウオ-タ-マン	2202	2キャリブ	前期 児童専必 障害者教育総論	河田	1401	1児童
	後期	保育専必 教育経営学【幼】	緒方	1405	3保育必	後期	キャリア専選 Communication EnglishIV(週2回)	ウオ-タ-マン	2202	2キャリア	後期 児童	専必	社会科教育法	小原	1308	2児童	後期 キャリア専選	Communication EnglishIV(週2回)	P.ベンケ	ELC	2キャリブ	後期 心理専選 障害者福祉	岩永	1406	1C
Ι	後期	教職必修 教職実践演習【中高】	島内·城戸	4301情報処理他	4T	後期	キャリア専選 Communication EnglishIV(週2回)	P.ベンケ	ELC	2キャリア	後期キャリア	ア専選	異文化理解Ⅱ	坂根	1405	2キャリア	後期 キャリア専選	Advanced English CommunicationIV(週3回)	K.アクストン	ECC	2キャリブ	後期 キャリア専選 Cultural Comparions	K.アクストン		3キャリア
						後期	キャリア専選 Advanced English CommunicationIV(週3回)	K.アクストン	ECC	2キャリア	後期キャリア	ア専選	企業経営論	藤井	4301	3キャリア	後期 児童専選 教職必修	教育法規	小原	1308	3児童	後期 心理専選 精神疾患とその治療Ⅱ	有村·一美	2202	3C
限						後期	心理専選 病弱者の心理・生理・病理(隔週)	甲斐	1404	3児童							後期 心理専選	ソーシャルワーク実習指導 [	岩水・西・岡田	フレイルーム	3C				
																	後期 児童専選 教職必修	教職実践演習【小】	版本·小原·城戸	4301、2204 情報処理室他	4こども、4 <sup>-</sup>				
																	後期 保育専必	教職·保育実践演習	全	1404	4保育				
		礼拝 10:17~10	):32				礼拝 10:17~10	0:32					礼拝 10:17~1	0:32				礼拝 10:17~1	0:32			礼拝 10:17~10	):32		
	後期	<sup>保育専選 教職必修</sup> 保育内容(表現Ⅰ)	三井	4301	1保育	後期	自然·情報選 情報活用基礎		情報処理室	1C	後期 外国	語必	英語Ⅱ	モロー	2203	1キャリア必	後期 キャリア専選	Communication English II (週2回)	ウオ-タ-マン	2202	1キャリフ	後期 自然·情報選 データサイエンス基礎Ⅱ	藤本	情報処理室	1全
	後期	児童専選 生活【小】	久保	1301	1児童必	後期	キャリア専選 Communication English II (週2回)	ウオ-タ-マン	2202	1キャリア	後期 外国	国語必	英語Ⅱ	キャリア教員	_	1キャリア必	後期 キャリア専選	Communication English II (週2回)	K.アクストン	2203	1キャリブ	後期 キャリア専選 こどもと環境	香崎	4301	1保育必
	後期	キャリア専選 英語発音演習Ⅱ②	コール	2202	2キャリア	後期	キャリア専選 Communication English II (週2回)	K.アクストン	2203	1キャリア	後期 外国	語必	英語Ⅱ	田中(恵)	1404	1C必	後期 キャリア専選	Advanced English Communication II (週3回)	P.ベンケ	ECC	1キャリフ	後期 児童専必 体育【小】	井﨑	体育施設	1児童
	後期	+バアキモ 元里キル、10日6年 道徳教育の理論と実践【小中】	岡村	1406	2キャリア・児童	後期	キャリア専選 Advanced English Communication II (週3回)	P.ベンケ	ECC	1キャリア	前期 児童等選	、軟職必修	理科教育法	坂本	多目的実習室	2児童	後期 キャリア専選	現代社会とメディア	土井	1404	1++リブ	後期 人文科学選 カウンセリング	古賀	1308	2H選
$\Pi$	後期	キャリア専選 スピーチ&ディベートⅡ	久保田	1405	3++17、3T	後期	外国語必 英語Ⅱ	Tアクストン	1405	1保育必	通年 保育	専選	保育実習指導I	永野·香﨑	プレイルーム	2保育	後期 保育専選	チャイルドケア・ゼミ	水野・井崎・金戸 三井・香崎・水町	プレイル-ム	1保育	後期 年前年退 教職必察 保育内容(人間関係)	香﨑	1404	2保育
	通年	特支免必 特別支援学校教育実習 [	栗原·河田·増本	1404	4児童	後期	外国語必 英語Ⅱ	城戸	2204				グローバルビジネスⅣ	坂根	1405		後期 児童専選 教職必修		緒方	1401	-	後期 心理専選 心理学研究法	和田	1406	2C
限						後期	外国語選 映画英語	山本	4301	_			社会保障Ⅱ	川崎	1401	30	後期 心理専選	感情·人格心理学	石坂·久﨑				井﨑	体育施設	2児童必
					1	-	児童専必 教育経営学【小】	緒方	1404	-		-		吉田道明	1406		後期 社会科学選		森口	_		後期 人文科学選 キリスト教と文学	金戸	1401	3全選
Ī					1	後期	社会科学選 ジェンダー学	谷口絹枝	1406	3全選	後期 心理	専選	視覚障害教育総論(教育課程等)	吉田道明	1406	3児童		英語文学講読Ⅱ(評論)	馬渡	_	3++リブ	前期 心理専選 権利擁護を支える法制度	紫藤	2202	3C
						_				$\sqcup$							後期 心理専選	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	岩永·西·岡田	1308	4C				
						-																			
昼休み												_	宗教音楽A(聖歌隊)(週2回)		音楽室	_						通年 キリスト教選 宗教音楽A(聖歌隊)(週2回)	J.ベンケ	音楽室	1~2全選
			井﨑・伊藤	1406	_	-	人文科学選 歴史学	安高	1404				リーテ・ィング・&ライティング 演習 Ⅱ (週2回)	演田				英語コミュニケーション II	久保田	ECC	-	後期 キャリア専必 リーディング・&ライティング・演習Ⅱ(週2回)	山本	2203	1キャリア必
		外国語選 英語コミュニケーションⅡ	久保田	ECC	+	+	外国語必 英語Ⅱ	渡田	2202	-			リーテ゚ィンケ゚&ライティンゲ演習Ⅳ(週2回)	山本			後期 保育専必		犬童	1301	1H3必	<b>★</b> 後期 ├─────	西	1406	1全選
	-	キャリア専選 英語発音演習 Ⅱ ⑥	コール	2202	+	+	キャリア専選 英語学概論	矢富	4301			_	リーテ・ィング・&ライティング・演習Ⅳ(週2回)	馬渡				心理臨床学の基礎	心理臨床学科教員			心理専選 ソーシャルワークの基盤と専門職			10必
$\coprod$		キャリア専選プログラミング応用	有馬		_	-	保育専必にどもと健康	井﨑	体育施設				社会的養護Ⅱ(9/29~12/1)	永野			後期キリスト教選		角本		-	後期 児童専必 図画工作【小】	大童	1301	1児童必
		保育専選 幼児教育方法	三井	1404	_	+	児童専必修 小学校英語教育法	松本ソ	1401				ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	未定	1401			グローバルビジネスⅡ	坂根			後期 保育専選 保育者論	三井	1405	2保育
限		専選、教職 体育科教育法	坂下	体育館		-	心理専選 社会・集団・家族心理学	疋田	1406			-	応用言語学	吉井			後期児童専選		小原			後期 心理専選 心理学的支援法	疋田	2204	2C
		キャリア専選プログラミング応用	有馬		_	-	教職必修英語科教育法Ⅳ	島内	ELC 1308	4T 4C	後期 心埋	- 専選	ソーシャルワーク演習 I (専門)	尚田·若永·西	フレイルーム	30	<b>-</b>	カリキュラム論【中高】	岡村		-	後期 キャリア専選 Global Issues in English	P.ベンケ	ECC	3キャリア
		保育専選 こども家庭支援の心理学 心理専選 関係行政論	永野	4301	3C	仮州	心理専選 ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)	间田, 石水, 四	1300	40							週午 休月导选	保育実習指導Ⅱ	水野 省岡	7 1/1/1-14	る休月	後期 心理専選 学校ソーシャルワーク論	岩永	1404	3C
	後期	心理导选   對係打政論	岡田行雄	2204	30	1																			
	後期	人文科学選 哲学	岡村	1404	1 소꺺	後期	  キャリア専必  リーテ・ィンケ・&ライティンケ・演習 II (週2回)	松木ソ	2205	1キャリアルス	後期 キャリ	ア南湿	エアライン・ツーリズム譜座	坂根	1404	1キャリア	後期 外国語選	ハングルⅡ	盧	1405	1 全選	後期 体験学修選 ボランティア体験学修	西	1406	1全選
		人文科学必 グローバル・スタディーズ	坂根	1406	_		キャリア専必 リーディング &ライティング 演習 II (週2回)	馬渡					本師力演習 教師力演習	緒方、城戸、			後期 外国語選		司馬			後期 心理専選 認知行動療法	有村	1404	2C
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		情報処理室	_		<sub>保育等選 枚類必参</sub> 保育内容(言葉)	金戸	プレイルーム	-			こどもと人間関係	*#、同村 永野				肢体不自由者の心理・生理・病理	本吉			後期 心理専選 心理学外書講読Ⅱ	和田	1308	3C
π,		心理専選 現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	服部	1401	+	-	心理専選・心理臨床学の展開	田中	1406	_		_	特別支援教育論[幼](9/29~12/1)	河田		1保育	<b>.</b>		1	1	-702				
1	-	教職必修 英語科教育実習 [	島内・		_	+	キャリア専必 リーディング & ライティング 演習 N (週2回)	演田	2202				特別支援教育論[小中高](12/8~1/26)	河田		1キャリア児童									
限		保育専選キリスト教保育	金戸、谷、栗原	4301	_	_	キャリア専必リーディング&ライティング演習Ⅳ(週2回)	山本	2204				精神保健福祉制度論	未定	1401	2C									
12	-	R童專選、教職選 ICT活用指導論 Ⅱ	赤井		+	+	心理専選 心理学実験		1401、1404、 1405、情報処理室	_			英語通訳演習Ⅱ	松田		3キャリア									
		心理専選(質的研究の技法	田中将	1405	3C	1							こどもの理解と援助	香﨑		3保育									
						t						-													
	後期	キャリア専選 Advanced English Communication II (週3回)	P.ベンケ	ECC	1キャリア	後期	<sup>保育専選 教職の修</sup> 保育内容(言葉)	金戸	プレイル-ム	1H3	後期キャリフ	ア専選	英語文学概論 [	難波	1405	1キャリア	通年 キリスト教選	宗教音楽B(ハンドベル)	J.ベンケ	チャペル	1~2全道	後期 体験学修選 ボランティア体験学修	西	1406	1全選
Ī	後期	社会科学選 日本国憲法	德永	1406		-	キャリア専 プロジェクトデザイン [	坂根	1406				社会福祉の原理と政策Ⅱ	名和	4301	1C選	後期 キャリア教選	キャリアデザイン [	河田他			後期 保育等選 飲職必修 幼児教育課程論	三井	1405	
Ī	後期	キャリア専選 Advanced English CommunicationIV(週3回)	K.アクストン	3303	2キャリア	後期	保育専選 保育内容の理解と方法Ⅱ	犬童·水町·三井	1301	-	後期 社会科	-		名和	1404	2全選						後期 キャリア専選 Academic Writing II	P.ベンケ	情報処理室	3キャリア、3T
V	後期	心理専選 刑事司法と福祉	岩永	1404	2C	後期	教職必修 特別活動・総合的な学習の時間の指導[小中高]	小原	4301	3児童、3キャリア	後期 保育	専選	保育内容の理解と方法Ⅱ	全	1406	3保育						後期 心理專選 心理実習Ⅱ	有村'白夏'同 野·	1404	3C
限	後期	キャリア専選 データサイエンス応用	小林	情報処理室	3キャリア	後期	心理専選 心理学実験	和田·久崎·松石	1401、1404、 1405、情報処理室			_	ビジネス・イング リッシュ Ⅱ	新任	ECC	3キャリア							as with with		
		保育専選 子育て支援	金戸	4301	_	_	教職必修 英語科教育法Ⅱ	島内	ELC	3T															
Ī	後期	心理専選 心理演習Ⅱ	古賀·有村	1401	3C	前期	児童専選 重複障害教育総論(心理等)	栗原和弘	1308	3児童															
						前期	児童専選 重複障害教育総論(教育課程等)	栗原和弘	1308	3児童															
遠					+					+									+						
隔	$\vdash$				+	$\vdash$				$\vdash$	<del></del>								+	-	<del>                                     </del>			-	
	H					<u> </u>						_						1				1			
		心理専選 臨床神経心理学	尾関	未定	+	+	教教コア選 熊本地域活動学サービスラーニング		1406				幼稚園教育実習Ⅱ	香﨑·永野			<del>                                     </del>	保育実習指導Ⅲ	永野·金戸						
中		心理専選 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	吉本	未定	_	1	体験学修選 職場体験学修(インターンシップ)	河田	未定				小学校教育実習Ⅰ	児童教育専任							-	後期 心理専選 人体の構造と機能及び疾病(医学一般)	谷口	未定	20
· •	_	キリスト教選 宗教音楽C(オルガン)	J.ベンケ	未定			体験学修選職場体験学修(ルーテル系幼稚園等)		未定			_	小学校教育実習Ⅱ	緒方、赤井			後期 心理専選		有村·古賀·高野· 疋田·田中	1404		通年 体験学修選 短期異文化圏体験学修A	坂根	未定	1~3全選
		体験学修選 異文化圏体験学修	坂根			-	体験学修選 職場体験学修(小学校観察実習)					_	特別支援学校教育実習Ⅱ	栗原·河田·増本	未定			ソーシャルワーク実習	岩永·西·岡田	-		通年 体験学修選 短期異文化圏体験学修B	坂根	未定	1~3全選
Ħ		体験学修選 海外留学A	坂根		_	1	教職関連 介護等体験実習	西・栗原	未定				保育実習I	永野·香﨑				学校ソーシャルワーク実習	岩永	未定		通年 体験学修選 短期異文化圏体験学修	坂根	未定	2·3全選
	後期	体験学修選 海外留学B	坂根	未定	2.3全選	Ĕ <b>I</b>					後期 保育	専選	保育実習Ⅲ	永野·金戸	未定	3保育	通年   心理専選	学校ソーシャルワーク実習指導	岩永	2203	4C				

## 8 学生の確保の見通し等を記載した書類

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・P2
(2)	人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・P3
(3)	別表 1~5・・・・・・P4、5

#### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

「7 学則の変更の趣旨等を記載した書類」のとおり、近年の志願状況等に鑑み、ニーズに即した収容定員の変更を行うとともに、免許・資格の再配置、免許・資格の追加、カリキュラムの改正等により、適切に志願者・入学者の確保に努めるものとする。

#### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

「7 学則の変更の趣旨等を記載した書類」の必要性で述べたとおり、本学においては、18 歳人口の減少をにらみ、高校生のニーズに即した改組、収容定員の変更等を行っており、人文学部の過去6年間の志願者数、合格者数、競争倍率は表1のとおり地方の私立大学として一定の水準で確保している。

その一方、文部科学省「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」の資料 (https://www.mext.go.jp/content/1413715\_013.pdf) のとおり、18歳人口の減少、大学進 学率の横ばい傾向等の環境下において、新型コロナウイルス感染症の影響により受験者の動 向に変化が見られた 2021 年度及び 2022 年度選抜においては、募集活動が大幅に制限される など今後の予測が不可能な状況であった。とりわけ、本学の 2022 年度入学者選抜において、 志願者が前年度から 108 名減(425 人 $\rightarrow$ 317 人)となるなど、早急な対応が必要である。そこで、本収容定員の変更及び組織再編により本学の更なる魅力発信を行い、志願者・入学者獲得につなげるものとする。

#### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、アドミッション・ポリシーに基づき、一般選抜及び学校推薦型選抜により入学者選抜を実施している。一般選抜においては、一般選抜(I期・II期)、大学入学共通テスト利用選抜を、学校推薦型選抜においては、学校推薦型選抜(指定校・併設校)、学校推薦型選抜(公募)をそれぞれ実施し、多様な学生を積極的に受け入れている。また、学校推薦型選抜(公募)と併せて奨学金大学給付型選抜を実施、一般選抜 I 期の上位者(若干名)を奨学金給付対象者とするなど、優秀な学生の確保に努めている。

学生確保に向けた取組としては、表 2 のとおりオープンキャンパス、個別相談会、施設見学会等の他、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ、Webオープンキャンパス(学科説明・模擬授業・在学生及び卒業生メッセージの動画配信)、オンライン交流会等を実施している。また、県内の高校訪問・進学ガイダンス参加、高校の校長・進路指導教員等に対する説明会、出前授業等を併せて実施している。これらの機会を通じて、本学の教育方針・特色や教育課程、卒業後の進路等の内容について、高校生をはじめとしたステークホルダーにきめ細かに情報提供し、また、志願者のニーズ把握と本学への理解を深めてもらうことに努めている。

なお、本収容定員変更、組織の再編について、「再編は予定であり、変更となる場合がある」とした上で、2022年3月には高校宛ての説明資料(7学則変更の趣旨の別添資料1参照)の送付、春のミニオープンキャンパス来場者への告知を行っている。今後、6月に高校向けの説明会、夏のオープンキャンパス、各種進路ガイダンスにおいて積極的に広報し、本学の再編後の魅力発信を行う。

#### (2) 人材需要の動向等社会の要請

#### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

人文学科保育・幼児教育専攻、児童教育専攻、心理臨床学科の人材養成に関する目的は、 学則第4条に規定しており、組織の再編に伴い表3のとおり変更を行った。

組織再編により、人文学科こども専攻を保育・幼児教育専攻及び児童教育専攻の2専攻とし、従前の「履修モデル」としてのコース制では設定できなかった入学定員を定め、それぞれの専攻が養成しようとする人材像に応じたカリキュラム編成、入学者選抜が実施できるよう工夫を行う。また、児童教育専攻においては、心理臨床学科に配置していた特別支援学校教職課程を移設し、小学校教職課程の学びに加え、多様な教育的ニーズに応じた指導・支援についての知識・技能を身に付ける。

一方、心理臨床学科では精神保健福祉士受験資格、認定心理士に加え、2018 年に国家資格である公認心理師養成課程設置が認可され、2022 年 4 月から大学院人文学研究科においても公認心理師養成課程を置き、心理学に特化した資格取得が可能となり、学部から大学院までの一貫したカリキュラムを確立させ、「心理学」のスペシャリストを養成するよう改善を図っている。また、取得者数が極めて少数であった高等学校教諭一種免許状(公民)を取り下げ、本免許状を基礎免許状としていた特別支援学校教職課程を児童教育専攻に移設する。

#### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

人文学部卒業者の過去5年間の就職率・進路の状況は表4及び5のとおりであり、人文学科こども専攻は就職率100%を維持し、かつ幼稚園教諭、保育士、小学校教諭への就職者がほとんどである。保育コースにおいては一定数の学生が公務員試験に合格し、児童教育コースにおいても一定数の学生が教員採用選考考査に合格し、保育・教育現場で活躍するなど本学における質の高い教育の成果であると考える。なお、心理臨床学科についても、高い水準で就職率を維持しており、免許資格を生かした就職(精神保健福祉士等)の他、一般企業等への就職、大学院等への進学が主となる。今後、本学大学院が公認心理師養成課程を2022年4月に開設したことにより、公認心理師の取得を希望する学生が大学院に進学するケースも多くなることが見込まれる。

ここから、専攻を新たに設置し、定員を増加する児童教育専攻に焦点をあてる。

文部科学省においては、免許取得に必要な総単位数を軽減する「義務教育特例」の新設など、小学校教員免許保有者の拡大が求められている。また、熊本県においては、くまもと「夢への架け橋」教育プラン(11ページ)のとおり、障がいや多様な教育的ニーズに応える「発達障がいを含む障がいのある児童生徒等の教育的ニーズに応えるため、すべての教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図る」ことを掲げている。免許取得者が少数であった高等学校教諭一種免許状(公民)を基礎免許状としていた特別支援学校教諭を児童教育専攻に移設し、小学校教諭一種免許状と併せて取得させることは、社会のニーズに即したものであると考える。

また、児童教育コース所属学生の2022年度(2021年度実施)教員採用選考考査の受験結果は1次試験100%(22名中22名合格)2次試験72.7%(22名中16名合格)と、良好な結果となっている。今後の採用の動向については、本学独自に熊本県教育庁学校人事課にヒアリングを行い、令和5年度(2023年度)以降の小学校教諭等の採用が150人程度、特別支援学校教諭の採用が40人程度見込まれる旨の回答を得ており、児童教育専攻において小学校教諭一種免許状及び特別支援学校一種の両方の免許が取得できること、入学定員を増加させることは、社会のニーズに即したものであると考える。

#### (表1) 過去6年間の入学者選抜の状況

			人文	学科(20	016年75	5 人→20	17年85	5人)			) *m m	*	(0010 F		0015
入学年	丰 <sub>ヤ</sub>	リア・インク゛	リッシュ専コ	攻(35人	)	こども 50 人)	,専攻(20	016年4	) 人→2(	)17年	7 年 年 65 人)				→2017
度	志願者数	合格者数	競争倍率	入学者数	入学定員超過率	志願者数	合格者数	競争倍率	入学者数	入学定員超過率	志願者数	合格者数	競争倍率	入学者数	入学定員超過率
2017	83	65	1. 27	45	1.28	152	102	1. 49	65	1. 30	175	102	1. 71	75	1. 15
2018	101	61	1.65	44	1.25	192	97	1.97	64	1. 28	191	105	1.81	73	1. 12
2019	142	58	2. 44	44	1.25	224	91	2.46	63	1. 26	191	106	1.8	84	1. 29
2020	109	52	2.09	44	1.25	187	93	2.01	51	1. 02	182	87	2. 09	64	0. 98
2021	72	52	1.38	38	1.08	172	97	1.77	56	1. 12	181	112	1.61	66	1.01
2022	59	58	1.01	37	1.05	125	117	1.06	65	1. 30	133	130	1. 02	85	1. 30

#### (表 2) オープンキャンパス来場者数

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
生徒参加数	511	676	589	551	72	163
保護者等数	82	107	141	139	_	56
全参加数	593	783	730	690	72	219

※2020年度は個別相談会による実施(第1回23人、第2回35人、第3回14人)

※2021 年度はオープンキャンパス生徒 99 人・保護者 56 人、オンライン交流会 41 人、個別相談会 23 人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、従来型の実施が困難となり、参加者数が減少している一方で、 オンライン交流会等の ICT を活用したきめ細かな募集活動を実施している。

#### (表3) 人文学部、人文学科保育・幼児教育学専攻、児童教育専攻、心理臨床学科の人材養成に関する目的

学科・専攻	新	学科・専攻	旧
人文学部	変更無し	人文学部	人文学部は、キリスト教主義に 沿った人格教育を基に、幅広い教 養教育と専門に関する基礎を身に 付け、グローバルな視野とボラン ティア精神を兼ね備えた人材を育 成することを目的とする。
保育・幼児教育学専攻	教育に携わる者としての使命 感を持ち、豊かな人間性と高い 専門的知識・技能を身に付け、 保育者として心身共に健全な人 材を育成する。	<u>こども専攻</u>	教育に携わる者としての使命感 を持ち、豊かな人間性と高い専門 的知識・技能を身に付け、教育 者・保育者として心身共に健全な
児童教育専攻	教育に携わる者としての使命 感を持ち、豊かな人間性と高い		人材を育成する。

	専門的知識・技能を身に付け、 教育者として心身共に健全な人 材を育成する。		
心理臨床学科	変更無し	心理臨床学科	心理学や所関連科学の幅広い知識を養い、豊かな知性と広い視野、人間味あふれるコミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成する。

### (表 4) 就職率一覧

	2016	2017	2018	2019	2020
保育コース	100%	100%	100%	100%	100%
児童教育コース	100%	100%	100%	100%	100%
心理臨床学科	95.3%	98.3%	100%	98.4%	98.5%

#### (表 5) 就職状況

### (保育コース:定員設定はないが、目安を30人としている)

	2016	2017	2018	2019	2020
保育者(私立等)	30	22	22	21	25
保育者(公務員)	1	3	5	5	5
福祉施設	0	0	2	0	1
その他 (民間企業等)	2	3	2	1	2

### (児童教育コース:定員設定はないが、目安を20人としている)

	2016	2017	2018	2019	2020
小学校(正採用)	4	4	6	8	13
小学校(臨採)	6	6	5	5	13
教育サービス	0	0	0	0	1 (大学)
進学	0	1	1	1	2
特別支援学校	2	0	0	0	0
その他 (民間企業等)	7	1	1	1	1

### (心理臨床学科:定員65人)

	2016	2017	2018	2019	2020
医療・福祉・施設	14	15	21	14	14
進学	6	5	10	3	5
その他 (民間企業等)	60	39	56	44	46

※大学からの就職斡旋を不要とする者を除く。

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教 員 名 簿

		学	長	の	氏	名	等
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>		年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長		本 充右 3年4月1日>		文学修士		学長 (2022年4月1日)

<sup>(</sup>注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。